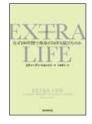
OOK NEWS from MARUZEN-YUSHODO

2022.06.01 作成

2022年5月新聞書評に掲載された本



EXTRA LIFE~なぜ 100 年間で寿命が 54 年も延びたのか~

スティーブン・ジョンソン 著

朝日新聞出版

寿命を縮める「災禍のリスト」をどれだけつぶしていけるか-。市井の人々がつない だ、一見地味な「死なない」ためのイノベーションの連鎖。その功罪から、この先も人 類が寿命を延ばすヒントを提供する。

2022:2./ 353p 978-4-02-331993-6 ¥2,970〔稅込〕

産経新聞 2022/05/01



ついでにジェントルメン

柚木 麻子 著

文藝春秋

菊池寛が他の男たちとちがうのは○○なところ…。なぜか微妙に社会と歯車の?み合わ ない人々のもどかしさを、しなやかな筆致とユーモアで軽やかに飛び越えていく短編 集。全7編を収録。『オール讀物』掲載をまとめて単行本化。

2022:4./ 260p 978-4-16-391523-4 ¥1,540〔稅込〕



産経新聞 2022/05/01



ちょっと方向を変えてみる~七転び八起きのぼくから 154 のエール~(文春新 書 1354)

辻 仁成 著

文藝春秋

ネガティブな自分を許してあげよう、過去に振り回されない、今日は思い切って自分を 大事にする…。困難なときを乗り越えるための、励ましと癒しの言葉集。ツイッターな どにつぶやいた言葉をまとめる。

2022:3./ 191p 978-4-16-661354-0 ¥858〔稅込〕



産経新聞 2022/05/01

- ●ご注文の際には、タイトル・出版社名・価格のほか、ISBN も併せてお知らせください。
- ●原価の改定、為替相場の変動などの理由により価格を変更する場合がございます。予めご了承の程お願い申し上げます。
- ●ご注文、ご照会は弊社本・支店・営業部(課)までお申し付けください。
- ●表示価格は 2022 年 6 月時点での税込み価格で

丸善雄松堂株式会社 [学術情報ソリューション事業部 企画開発統括部] M MARUZEN-YUSHODO



「ハコヅメ」仕事論~女性警察官が週刊連載マンガ家になって成功した理由~

泰 三子/山中 浩之 著

日経BP社

ドラマ化された「ハコヅメ?交番女子の逆襲」の作者・泰三子。元女性警察官である彼女が、2017年に『週刊モーニング』で連載を始めたいきさつや、大ヒットを果たすまでの経緯を語る。「ハコヅメ」の裏話も満載。

2022:3./ 321p 978-4-296-11185-5 ¥1,760〔税込〕

産経新聞 2022/05/01



昭和の大戦とあの東京裁判

平川 祐弘 著

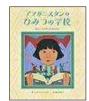
河出書房新社 満州事変勃発の年に生まれ、戦中に少年時代を過ごした比較史の大家が、昭和の戦争と 東京裁判の是非について、連合国側と日本側の異なる言語文化の資料を複眼的な視点で

再検証する。月刊『正論』連載をもとに単行本化。

978-4-309-03029-6 ¥2,970〔税込〕

2022:3./ 395p

産経新聞 2022/05/01



アフガニスタンのひみつの学校~ほんとうにあったおはなし~

ジャネット・ウィンター 著

さ・え・ら書房

今から 20 年ほど前、アフガニスタンはタリバンに支配され、女の子は学校に行くことができなくなりました。その中で、孫娘の心の窓を開きたいおばあちゃんの願いと、勇気と、「ひみつの学校」が呼び起こした小さな奇跡の物語。

2022:2./ 1 冊(ページ 付なし) 978-4-378-01530-9 ¥1,650〔税込〕

産経新聞 2022/05/01



中銀カプセルタワービル最後の記録

中銀カプセルタワービル保存・再生プロジェクト 編草思社

1972年、未来都市のプロトタイプとして黒川紀章により設計された「中銀カプセルタワービル」。これまで関係者以外見ることの出来なかった多数の内部写真、実測図面、論考、対談を収録。解体が決まった名建築の最後の記録。

2022:3./ 203p 978-4-7942-2559-7 ¥3,850〔稅込〕



産経新聞 2022/05/01



プーチンの戦争

ナザレンコ・アンドリー 著

ワック

「軍事力なき外交」はロシアと中国には通用しない! 在日ウクライナ人の政治・外交評論家が、2022年のロシアによるウクライナ侵攻や、難民と偽難民、日本の「危機管理」などについて語る。

産経新聞 2022/05/01

2022:4./ 247p 978-4-89831-959-8 ¥1,650〔稅込〕





陰謀論とニセ科学~あなたもだまされている~(ワニブックス|PLUS|新書 354)

左巻 健男 著 ワニブックス

UFO、水素水、人工地震、Qアノン、前世の記憶、反ワクチン、インチキがん治療…。 政治の有名陰謀論から二セ健康情報、都市伝説、オカルトまで、本当っぽいウソ・怪し げな情報を科学的に一刀両断する。 2022:4./ 309p 978-4-8470-6673-3 ¥1,045〔税込〕

産経新聞 2022/05/01、朝日新聞 2022/05/21



あの胸が岬のように遠かった~河野裕子との青春~

永田 和宏 著

新潮社

熱く、性急で、誠実でありたくて、傷つけあった-。未公開日記と手紙 300 通から初めて明かされる、歌人夫婦・河野裕子と永田和宏の蒼き愛の物語。『波』連載を改題し単行本化。

2022:3./ 312p 978-4-10-332642-7 ¥1,870〔税込〕

産経新聞 2022/05/01、毎日新聞 2022/05/07



アリのかぞく(かがくのとも絵本)

島田拓 著福音館書店

春、公園で巣を作り始めたクロオオアリの女王アリ。女王アリが生んだ卵からはたらき アリがたくさん生まれ…。家族で協力して暮らすアリの巣の中や引っ越しの様子を描い た絵本。 2022:4./ 27p 978-4-8340-8655-3 ¥990〔稅込〕

産経新聞 2022/05/05



威風堂々<上> 幕末佐賀風雲録

伊東 潤 著

中央公論新社

名君と謳われた九州佐賀藩主・鍋島直正(閑叟)に見いだされ、歴史の舞台に躍り出た大隈重信。動乱の幕末明治を駆け抜け、日本を近代国家へと導いた男の生涯を描く。『佐賀新聞』連載を加筆修正し単行本化。

2022:1./ 403p 978-4-12-005489-1 ¥1,980〔税込〕

産経新聞 2022/05/07



威風堂々<下> 明治佐賀風雲録

伊東 潤 著

中央公論新社

「日本」という新しい国家のために邁進する大隈重信。国会開設、内閣総理大臣就任、 早稲田大学創立…。数多の事績を残し、幕末、明治、大正と時代を駆け抜けた巨人の生 涯を描く。『佐賀新聞』連載を加筆修正し単行本化。

産経新聞 2022/05/07

2022:1./ 406p 978-4-12-005490-7 ¥1,980〔稅込〕





護衛艦あおぎり艦長早乙女碧(新潮文庫 と-34-1)

時武 里帆 著

新潮社

ヘリを搭載する本格的な護衛艦あおぎりの艦長に抜擢された早乙女碧二佐。艦乗りとし て胸の高鳴る職場だが、初出港直前に電測員1名が姿を消したことを知り…。元海上自 衛官が女性指揮官の誇りとリアルを描く、新たな組織小説。

2022:3./ 317p 978-4-10-103841-4 ¥649〔稅込〕

産経新聞 2022/05/08



核兵器について、本音で話そう(新潮新書 945)

太田 昌克、兼原 信克、髙見澤 將林、番匠 幸一郎 著

日本を射程に収める核ミサイルは中朝露で計数千発。核廃絶を望むならば、東アジアの 現状を踏まえたありうべき国家戦略を日本自身が構想しなければならない。核政策に深 くコミットしてきた専門家4人が、本音で語り合う。

2022:3./271p 978-4-10-610945-4 ¥946〔税込〕

産経新聞 2022/05/08



女人入眼

永井 紗耶子 著 中央公論新社

京の六条殿に仕える女房・周子は、源頼朝と北条政子の娘・大姫を入内させるという命 を受けて鎌倉へ。繊細な心を持つ大姫と、目的のためには手段を選ばない政子。周子が 辿り着いた、母子の間に横たわる悲しき過去とは-。

2022:4./ 307p 978-4-12-005522-5 ¥1.870〔稅込〕

産経新聞 2022/05/08



航空自衛隊副官怜於奈<3>(ハルキ文庫 あ 33-3)

数多 久遠 著

角川春樹事務所

南西航空方面隊司令官付き「副官」の斑尾怜於奈に、宗教団体に入信している隊員から 勧誘が!?そんな中、怜於奈は初体験の指揮所演習に戸惑いながら参加する。それがま た彼女には大きな試練だった。

2022:1./ 302p 978-4-7584-4453-8 ¥770〔稅込〕



産経新聞 2022/05/08



古楽の終焉〜HIP<歴史的知識にもとづく演奏>とはなにか〜(Books ウト)

ブルース・ヘインズ 著

アルテスパブリッシング

ピリオド・アプローチは本当に正しいのか。クラシック音楽に真の生命をあたえるもの はなにか-。音楽史のとらえ方を根底から更新し、クラシック音楽家の意識変革をうな がした名著の完訳。

産経新聞 2022/05/08

2022:4./ 407p,31p 978-4-86559-249-8 ¥4,180〔稅込〕





英語の階級〜執事は「上流の英語」を話すのか?〜(講談社選書メチエ 762)

新井 潤美 著

講談社

もうひとつの英語の世界にようこそ! 「執事の英語」を入り口に、アッパー・クラスや コックニーの英語から、アメリカ英語に英国人が抱く感情や BBC の英語まで、話し言 葉と「階級」が織りなす複雑で奥深い文化を描出する。

2022:4./ 201p 978-4-06-527707-2 ¥1,705〔稅込〕

産経新聞 2022/05/08、毎日新聞 2022/05/14



後宮の烏<7>(集英社オレンジ文庫 し 1-20)

白川 紺子 著

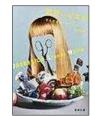
集英社

烏漣娘娘の半身を求めて幽宮と楽宮の神の境界である界島へ渡ろうとする寿雪だった が、海底火山の噴火の影響で海路が封鎖される。寿雪は己の内にいる烏に呼びかけ、現 状を打開する術を探ろうとし...。中華幻想譚、完結。

2022:4./ 209p 978-4-08-680441-7 ¥660〔税込〕



産経新聞 2022/05/14



気狂いピエロ(新潮文庫 ホ-23-1)

ライオネル・ホワイト 著

新潮社

おれはキッチンテーブルの椅子にすわって、ノートに文章をしたためる。アリーという たぐいなき魅力を秘めた娘との出会い、見知らぬ男の死体、白いジャガー、逃亡の旅 ...。一人の男の妄執を描いたゴダール映画の原作を本邦初訳。

2022:5./ 302p 978-4-10-240191-0 ¥693〔稅込〕



産経新聞 2022/05/14



隠し女小春

辻原 登 著 文藝春秋

大手出版社の校閲者、矢野聡には秘密があった。ラブドールを小春と名づけ、一緒に暮 らしているのだ。そんな聡が生身の女性と恋に落ち...。前途で聡を待ち受ける危険と陥 穽とは? 長篇サスペンス。『文學界』連載を単行本化。

2022:5./ 261p 978-4-16-391539-5 ¥1,760〔稅込〕



産経新聞 2022/05/14



低空飛行~この国のかたちへ~

原 研哉 著

岩波書店

日本各地をみずからの足で歩く。そしてデザイナーの目で、さながら高い解像度をもっ て自然に迫る。そこに発見されたのは、世界に開かれるべき日本の新たな価値である -。自身のブログを加筆し書籍化。

産経新聞 2022/05/15

2022:4./ 15p,221p 978-4-00-024064-2 ¥2,530〔稅込〕





刑事弁護人

薬丸 岳 著

新潮社

ある事情から刑事弁護に使命感を抱く持月凛子は、女性警察官が起こしたホスト殺害事件の弁護をすることになるが…。現代日本の「罪と罰」に挑んだリーガルミステリ。 『小説新潮』連載を大幅に加筆修正。 2022:3./ 504p 978-4-10-354451-7 ¥2,145〔稅込〕

産経新聞 2022/05/15



阿茶

村木 嵐 著

幻冬舎

美貌も有力な後ろ盾もないけれど、才を買われ、徳川家康の側室となった阿茶。だが、ただ一人の女性を彼女は愛し、最後まで信じた。それは、禁じられた宗教-。阿茶の知られざる真実に迫る歴史小説。

2022:3./ 315p 978-4-344-03911-7 ¥1,980〔稅込〕

産経新聞 2022/05/15



SDGs の教科書~10 代からの地球の守り方~

フジテレビ **CSR・SDG** s 推進プロジェクト 編 池上 彰 ほか **16** 名 著 誠文堂新光社

「SDGs(持続可能な開発目標)」の 17 の目標と 169 のターゲットを、ひとつ残らずわかりやすく解説する。アナウンサー・佐々木恭子やビル・ゲイツ、ホセ・ムヒカ、エマ・ワトソンらによる寄稿、取材記、演説等も掲載。

2022:3./ 340p 978-4-416-52216-5 ¥1,980〔税込〕

産経新聞 2022/05/15



天皇・コロナ・ポピュリズム〜昭和史から見る現代日本〜(ちくま新書 1648)

筒井 清忠、筒井 清忠 著 筑摩書房

議会制民主主義への懐疑、天皇をシンボルとしたポピュリズム…。昭和の戦争へ向かった時代に酷似している現代日本について、戦前のポピュリズムの過ちを教訓に考察する。『中央公論』等掲載をもとに書籍化。

2022:4./ 220p 978-4-480-07477-5 ¥880〔稅込〕

産経新聞 2022/05/15



東京五輪招致の研究

石元 悠生 著

成文堂

複数の国家が関与する五輪招致に焦点をあて、政治や行政、スポーツといった様々な領域が特定の政策行動に移るための方策を、各領域の諸アクターが有する資源(リソース)交換による相互作用、相互調整という観点から検討する。

産経新聞 2022/05/15

2022:2./ 10p,139p 978-4-7923-3417-8 ¥3,300〔稅込〕



ブランデンブルク隊員の手記〜出征・戦争・捕虜生活〜

ヒンリヒボーイ クリスティアンゼン 著

並木書房

これまで具体的な活動が知られていないドイツ特殊部隊「ブランデンブルク」の元隊員 による回想録。第二次世界大戦のソ連における対パルチザン活動、敗戦後の 10 年にわ たるソ連抑留など、自身の数奇な半生を伝え残す。

2022:4./ 241p 978-4-89063-418-7 ¥2,640〔稅込〕

産経新聞 2022/05/15



人生百年の教養(講談社現代新書 2656)

亀山 郁夫 著

講談社

老いてこそ真価を発揮する教養とは何か。ドストエフスキー研究の第一人者が、読書、 音楽、外国語など多角的な見地から真の「教養」に迫るとともに、教養と専門の習得を 進めるうえでの思考法などを語る。

2022:4./ 301p 978-4-06-527721-8 ¥1,100〔稅込〕

産経新聞 2022/05/22



辮髪のシャーロック・ホームズ〜神探福邇の事件簿〜

莫理斯 (トレヴァー モリス) 著

文藝春秋

阿片をくゆらし胡琴を奏でる辮髪の探偵が、借間人の医師とともに事件を解決し…。清 朝末期。英国統治下の香港に現れた博覧強記の諮問探偵・福邇が難事件に挑む。ホーム ズ・パスティーシュ全6編を収録。

2022:4./ 350p 978-4-16-391529-6 ¥2.200〔稅込〕

産経新聞 2022/05/22



剣持麗子のワンナイト推理

新川 帆立 著

宝島社

亡くなった町弁のクライアントを引き継ぐことになってしまった剣持麗子。大手法律事 務所で働くかたわら、主に深夜に一般民事の相談にも乗る羽目に…。「元彼の遺言状」 のヒロインが徹夜で謎解きするミステリー短編集。

2022:4./ 253p 978-4-299-02858-7 ¥1,540〔稅込〕

産経新聞 2022/05/22



弊社は買収されました!

額賀 澪著

実業之日本社

外資系企業に買収された花森石?。激務に耐えるベテラン、合理化を求める若手、謎多 き新社長…。モチベーションも立場も世代も違う両社の社員は、この激変を乗り越えら れるのか。愛社精神満点の総務部員・真柴の奮闘の行方は?

産経新聞 2022/05/22

2022:3./ 292p 978-4-408-53800-6 ¥1,760〔稅込〕





勉強する気はなぜ起こらないのか(ちくまプリマー新書 373)

外山 美樹 著

筑摩書房

自身の心の持ちようなど、ちょっとしたことで"やる気"は劇的に変わる! やる気のメカ ニズムを心理学の知見を踏まえてわかりやすく解説し、心理学の実験で明らかになった 意外で驚く発見も紹介する。

2021:4./ 183p 978-4-480-68397-7 ¥880〔税込〕



産経新聞 2022/05/22



物語のあるところ~月舟町ダイアローグ~(ちくまプリマー新書 400)

吉田 篤弘 著

筑摩書房

小説家の「ぼく」は、自分の描いた物語の中にある町「月舟町」におもむき、おなじみ の登場人物たちと語り合う。主題は「物語とはなんだろう」。対話で深まる、ひと味違 う物語論。

2022:4./ 143p 978-4-480-68427-1 ¥836〔稅込〕



産経新聞 2022/05/22



ソビエトアジアの建築物〜ソ連時代の中央アジアを巡る記録〜

ロベルト・コンテ/ステファノ・ペレゴ 編

グラフィック社

かつてソビエト連邦構成共和国であったカザフスタン、キルギス、ウズベキスタン、タ ジキスタン。1950年代からソ連崩壊に至るまで、この地に建造された数々のモダニズ ム建築を、2人のイタリア人写真家が写し取る。

2022:4./ 190p 978-4-7661-3382-0 ¥2.200〔稅込〕

産経新聞 2022/05/22



天使突抜おぼえ帖

通崎 睦美/通崎 睦美 著 集英社インターナショナル

お仏花はうちに回ってきてくださる「白川女」から買っていた。そんな京都の風物も見 られなくなり…。京都に実在する「天使突抜1丁目」に暮らす中で、聞いたこと、体験 したこと、さまざまな人たちとの出会いと別れを綴る。

2022:4./ 379p 978-4-7976-7410-1 ¥2,200〔稅込〕



産経新聞 2022/05/22



<知>の取扱説明書

仲正昌樹 著

作品社

タメになる「知」とダメになる「痴」の見破り方を初公開。「語学の具体的な学習法」 「独学の仕方」「身体を使った勉強法」など、"学び"を確実に身につけるためのテクニ ックを伝授する。

産経新聞 2022/05/22



爆弾

呉 勝浩 著

講談社

都民 1400 万人を人質にとる無差別爆破テロ。爆弾の在り処の手がかりは、容疑者と思しき中年男が出す"クイズ"のみ。狭小な取調室の中で、正体不明の容疑者と警察の戦いが始まる。『小説現代』掲載を単行本化。

2022:4./ 425p 978-4-06-527347-0 ¥1,980〔稅込〕

産経新聞 2022/05/22、朝日新聞 2022/05/28



台湾日本語世代からの遺言~トオサンの桜~(産経 NF 文庫 S-48 ひ)

平野久美子 著潮書房光人新社

1895?1945 年、台湾の日本統治時代に生まれ、日本式の教育を受け、現在も日本語を使いこなす「トオサン(多桑=父さんの台湾語)」たち。大和心を胸に秘め、戦後を生き抜いた「元日本人」の魂の叫びをまとめる。

2022:5./ 292p 978-4-7698-7048-7 ¥924〔稅込〕

産経新聞 2022/05/28



ハックされる民主主義~デジタル社会の選挙干渉リスク~

土屋 大洋/川口 貴久 著

千倉書房

民主主義は衰退するのか? 民主主義国家に政治への不信をもたらす、ネットワークを介した国外からの選挙干渉。世界各国の事例から、選挙介入の意図と実態を探る。

2022:3./ 222p 978-4-8051-1242-7 ¥3,300〔税込〕

産経新聞 2022/05/28



官邸主導と自民党政治~小泉政権の史的検証~

奥 健太郎/黒澤 良 編

吉田書店

官邸主導と構造改革で日本政治史に大きな足跡を残した 2001?2006 年の小泉純一郎内閣。当時、自民党は官邸主導と構造改革にどのような衝撃を受け、どのように対応し、いかにそれを受容していったのかを検証する。

2022:2./ 7p,533p 978-4-910590-00-4 ¥4,950〔税込〕

産経新聞 2022/05/28



妻はサバイバー

永田豊隆 著 朝日新聞出版

妻に異変が起きたのは、結婚 4 年目、彼女が 29 歳の時だった。精神疾患を抱えた妻の介護と仕事、その両立に悩み続けた 20 年近くにわたる日々を綴るルポルタージュ。 『朝日新聞デジタル』他掲載を単行本化。

産経新聞 2022/05/29

2022:4./ 141p 978-4-02-251819-4 ¥1,540〔稅込〕





画聖雪舟の素顔~天橋立図に隠された謎~(朝日新書 860)

島尾新 著

朝日新聞出版

雪舟が最晩年に描いた「天橋立図」は"諜報"の最高傑作!? 禅宗の世界と五山文学から、政治史、芸能、中世神話、日明交渉史や中国の地方誌・寺誌まで、さまざまな情報をもとに雪舟の人生と国宝の一幅の謎を読み解く。

2022:4./ 263p 978-4-02-295166-3 ¥935〔税込〕

産経新聞 2022/05/29



人生、山あり谷あり家族あり

岸田 ひろ実 著

新潮社

長男の障害、夫の死、自身は車椅子生活に。苦難を乗り越えられたのは家族のおかげ -。「案ずるより産むがやすし、横山やすし!」が家訓の岸田家の、元気おすそわけエッセイ。note 掲載に書き下ろしを加える。

2022:5./ 191p 978-4-10-354611-5 ¥1,540〔稅込〕

* 9 7 8 4 1 0 3 5 4 6 1 1 5

産経新聞 2022/05/29



北海道を味わう~四季折々の「食の王国」~(中公新書 2690)

小泉 武夫 著中央公論新社

豊饒の海と豊穣の大地、銀鱗煌めく清流と湖。四季それぞれに異なる食材や料理がはっきりと区別できる北海道。無類の食いしん坊を自認する発酵学の第一人者が、備忘録やメモをもとに、北の大地の食随想を四季別に綴る。

2022:3./ 8p,260p 978-4-12-102690-3 ¥990〔稅込〕

産経新聞 2022/05/29



孤剣の涯て

木下 昌輝 著

文藝春秋

大御所・徳川家康に「2年後に死ぬ」呪いがかけられた。その呪いを解くには、妖刀村正で呪詛者の首を刎ねなければならない。世を捨てると決めていた武蔵の元にその依頼が…。『別冊文藝春秋』連載を加筆し書籍化。

2022:5./ 326p 978-4-16-391536-4 ¥1,980〔税込〕

産経新聞 2022/05/29



全員がサラダバーに行ってる時に全部のカバン見てる役割

岡本 雄矢 著

幻冬舎

自転車が盗まれ借りた自転車が一週間後パンクしている 不幸に見舞われる日々を短歌にする「日本にただ一人の歌人芸人」が、世界の片隅で、とびきりの"トホホ"をつぶやく。『幻冬舎 plus』連載を加筆・修正し書籍化。

産経新聞 2022/05/29

2022:4./ 269p 978-4-344-03947-6 ¥1,650〔稅込〕





知っておきたい和食の文化

佐藤洋一郎 編

勉誠出版

日本人と外国人にとっての和食はどう違うのか。そもそも和食とは何か。伝統的な日本 の食文化を「和食文化」と定義し、様々な謎や疑問について、歴史や材料など多角的に 探り、文化を守る取り組みとともに紹介する。 2022:1./ 14p,373p 978-4-585-33001-1 ¥3,080〔税込〕

産経新聞 2022/05/29

犬身<上>(朝日文庫 ま 31-3)

松浦 理英子、松浦 理英子 著朝日新聞出版朝日新聞 2022/05/07

2019:12./ 344p 978-4-02-264945-4 ¥792〔稅込〕

* 9 7 8 4 0 2 2 6 4 9 4 5 4 *

犬身<下>(朝日文庫 ま 31-4)

松浦 理英子、松浦 理英子 著朝日新聞出版朝日新聞 2022/05/07

2019:12./ 296p 978-4-02-264946-1 ¥792〔稅込〕





満月と近鉄(角川文庫 ま 49-1)

前野 ひろみち 著

KADOKAWA

律令国家日本の誕生を大胆に再解釈する「ランボー怒りの改新」、誰にでも訪れる新緑の季節を鮮やかに切り取った「佐伯さんと男子たち 1993」等、奈良を舞台とする全 4 編を収録。森見登美彦との対談も掲載。

2020:5./ 235p 978-4-04-109276-7 ¥704〔税込〕



朝日新聞 2022/05/07



死者の書(角川ソフィア文庫 J119-8)

折口 信夫 著

KADOKAWA

水の音と共に闇の中で目覚めた死者・滋賀津彦(大津皇子)。その亡霊は、藤原南家豊成の娘・郎女の元を訪れ…。魂の神秘的な交感を描く折口信夫の代表的小説。池田弥三郎・関場武による詳細な補注、持田叙子による解説も掲載。

2017:7./ 378p 978-4-04-400204-6 ¥1,012〔税込〕



真夜中の訪問者~ハトリアヤコ作品集~(BEAM COMIX)

ハトリ アヤコ 著

KADOKAWA

引越し先に現れた同僚の生霊との奇妙な新生活——『真夜中の訪問者』 かつて傷つけてしまった同級生との望まぬ再会…——『カタツムリ溶かす』 教室の片隅で、ただ静かに送られる二人の青春——『鈴木と山田。』 孤独に苛まれる女性が拾った巨大タコは宇宙人!?——『日常ポリッジストーリー』 ほか 3 作品収録! 2017 年アフタヌーン四季賞 夏のコンテスト幸村誠特別賞受賞の著者による初コミックス。 忙しなく流れる日々の中では つい見過ごして、忘れてしまいそうな"私たち"—— そのカケラを拾い集めた、共感必至の作品集!!

2022:4./ 165p 978-4-04-737008-1 ¥814〔稅込〕



朝日新聞 2022/05/07



罪の声(講談社文庫 し 104-5)

塩田 武士 著

講談社

父の遺品の中からカセットテープを見つけた俊也。幼い自分の声の音声は **31** 年前の未解決事件で恐喝に使われた録音テープと全く同じだった…。「グリコ・森永事件」をモデルにした長編小説。

2019:5./ 535p 978-4-06-514825-9 ¥1,012〔稅込〕



朝日新聞 2022/05/07



朱色の化身

塩田 武士 著

講談社

父から、失踪したゲームプランナー辻珠緒に会えないかと依頼されたライターの大路 亨。行方を追い始めた亨は、彼女の人生に、昭和 31 年の福井の大火が大きな影響を及ぼしていることに気づき...。『小説現代』掲載を単行本化。

2022:3./ 313p 978-4-06-524999-4 ¥1,925〔税込〕



朝日新聞 2022/05/07



歪んだ波紋(講談社文庫 し 104-7)

塩田 武士 著

講談社

地方紙記者の沢村は、調査報道チームのデスクから一枚の写真を見せられる。同僚記者がひき逃げ事件の犯行車両とスクープしたものだ。沢村は取材へ急行するが-。「誤報」を通じて現代社会の虚と実に迫る。NHKドラマの原作。

978-4-06-526⁰35-7 ¥858〔稅込〕

2021:11./365p



ヒカリ文集

松浦 理英子 著

講談社

学生劇団で男とも女とも恋を重ねたヒカリは何者だったのか-。6人の男女が優しくて悲しくて、とてつもなく魅力的な"偽物の恋人"を語る新・恋愛小説。『群像』掲載を書籍化。

2022:2./ 247p 978-4-06-526746-2 ¥1,870〔税込〕

朝日新聞 2022/05/07



掃除婦のための手引き書~ルシア・ベルリン作品集~(講談社文庫 へ 11-1)

ルシア・ベルリン 著

講談社

多くの作家に影響を与えながらも、生前は一部にその名を知られるのみだったルシア・ベルリン。逝去から 10 年を経て出版され、ベストセラーとなった短篇集から、24 篇をよりすぐって収録する。

2022:3./ 367p 978-4-06-527307-4 ¥990〔税込〕

朝日新聞 2022/05/07

境界のRINNE<1>(少年サンデーコミックス)

高橋 留美子 著

小学館

全国民待望! NEW るーみっくわーるど開幕!! ▼第1話/謎のクラスメート▼第2 話/百葉箱の伝説▼第3話/体育館裏4時▼第4話/どこかで会った女▼第5話/お・ ね・え・さ・ん▼第6話/クラブ棟の怪▼第7話/契約黒猫▼第8話/眠るのがこわい ●主な登場人物/六道りんね(貧しき高校1年生。成仏できない霊を輪廻の輪に導く、 死神みたいな仕事をしている)、真宮桜(りんねのクラスメート。幼い頃に神隠しにあ い、それ以来幽霊が見えるように) ●あらすじ/高校1年生・真宮桜は、幼い頃あの 世に迷い込んで以来、幽霊が見えるようになった女の子。5月のある日、入学以来ずっ と欠席だった隣の席の生徒・六道りんねが登校してきた。真っ赤な髪、ジャージに羽織 姿の奇妙な恰好をした少年。だが、彼の姿は桜以外には見えていないらしく、また幽霊 かと思って眺めていると、今度は巨大なチワワの霊が教室に迷い込んできて…? (第1 ◆本巻の特徴/「霊的問題に悩まされているなら、百葉箱にお供え物とさい銭を 入れておけば解決する | という噂を自ら流し、死神みたいな仕事をしている少年・六道 りんね。幼い頃から幽霊が見える女子高生・真宮桜は、なんだかんだでりんねの仕事を 手伝うことに…? 死神少年×霊感少女の放課後レクイエムコメディー開幕! ●その他 の登場人物/魂子(りんねの祖母。幼い頃の桜を救った死神)、六文(死神の仕事をサ ポートする黒猫族、りんねの契約黒猫) 【編集担当からのおすすめ情報】 高橋 留美子最新作は『らんま 1/2』から およそ 12 年ぶりとなる学園コメディー!! 主人公 もヒロインも徹底してクール ギャグも温度低めでシュールな NEW るーみっくわーる どは キャラクターコメディーの新境地★

2009:10./ 179p 978-4-09-121773-8 ¥471〔稅込〕 ** 9 7 8 4 0 9 1 2 1 7 7 7 3 8 *

犬夜叉<1>(少年サンデーコミックススペシャル)

高橋 留美子 著

小学館

画業 35 周年記念出版 四魂の玉に導かれ、現代から戦国時代にやってきた少女・かごめ。封印されていた半妖・犬夜叉と出会い、砕け散った玉を集める二人が織りなす冒険活劇。 【編集担当からのおすすめ情報】 <全巻収録の必見おまけページ>・作者インタビュー&描き下ろしイラスト・犬夜叉わーるど徹底解説

2013:1./ 342p 978-4-09-124122-1 ¥900〔稅込〕



朝日新聞 2022/05/07

らんま 1/2(少年サンデーコミックス)

高橋 留美子 著

小学館

格闘ラブコメディー、参上! 3姉妹の許婚として 天道家にやってきた早乙女乱馬! 厳しい中国の修行で、格闘技の達人となった乱馬。 でも、水をかぶるとなんと―― 女の子に変身!? 武闘派な登場人物達が繰り広げる 格闘ラブコメディーが B6 版大型 判型で再来!!!!! 【編集担当からのおすすめ情報】 特別コラム付き

2016:7./ 344p 978-4-09-127270-6 ¥906〔税込〕



朝日新聞 2022/05/07



裏ヴァージョン(P+D BOOKS)

松浦 理英子 著

小学館

家賃代わりに短篇小説を差し出す書き手と、それに対して辛辣コメントを浴びせかける 読み手。やがてコメントは書き手の神経を抉るような質問状となり、青春を共に過ごし た中年女性二人の愛憎が垣間見える展開に...。 2017:9./ 237p 978-4-09-352313-4 ¥550〔税込〕

朝日新聞 2022/05/07



橋のない川<1> 改版(新潮文庫)

住井すゑ 著新潮社

朝日新聞 2022/05/07

2002:6./ 672p 978-4-10-113702-5 ¥1,045〔稅込〕



奇貨(新潮文庫 ま-44-1)

松浦 理英子 著

新潮社

「恋人と女同士のようにつき合いたい」と望む中年男・本田と、レズビアン七島の女同士の世界とが織り成す、類い稀なる男と女、女と女の友愛小説と、著者 26 歳の時に書かれた危うい思春期小説を併録。

2015:2./ 208p 978-4-10-126671-8 ¥506〔税込〕





日本アニメ史~手塚治虫、宮崎駿、庵野秀明、新海誠らの 100 年~(中公新書 2694)



2022:4./ 3p,304p

津堅 信之/津堅 信之 著

中央公論新社

今や日本を代表するポップカルチャーとなったアニメ。1917年の国産第1作、「鉄腕 アトム」や「風の谷のナウシカ」、「新世紀エヴァンゲリオン」など、画期となった名 作を取り上げ、その歴史と現在を描く。

朝日新聞 2022/05/07



動物園を考える~日本と世界の違いを超えて~

佐渡友 陽一著

東京大学出版会

動物園の現場、市役所の行政事務、大学教員として動物園を見つめてきた著者が、アニ マルウェルフェアなどの新しい潮流にスポットをあて、世界の最先端の動物園と比較し ながら、日本の動物園のあり方を考察する。

2022:3./ 6p,165p 978-4-13-062232-5 ¥2,970〔稅込〕



朝日新聞 2022/05/07



言語学バーリ・トゥード<Round1> AI は「絶対に押すなよ」を理解できるか

川添 愛著 東京大学出版会

ラッシャー木村の「こんばんは」になぜファンはズッコケたのか。AI は「絶対に押すな よ」を理解できるか。日常にある言語学の話題を、ユーモアあふれる巧みな文章で綴 る。『UP』連載に書き下ろしを加え書籍化。

2021:7./ 5p,210p 978-4-13-084101-6 ¥1.870〔稅込〕



朝日新聞 2022/05/07



最愛の子ども(文春文庫 ま 20-2)

松浦 理英子 著 文藝春秋

<パパ>日夏と<ママ>真汐と<王子>空穂。それぞれのかかえる孤独ゆえに、家族のよう に親密な三人の女子高校生。同級生の「わたしたち」の見守る中、愛も性も手探りの三 人の関係はしだいに揺らぎ、変容してゆく。

2020:5./ 239p 978-4-16-791488-2 ¥803〔稅込〕



朝日新聞 2022/05/07



親指Pの修業時代<上>(河出文庫)

松浦 理英子 著 河出書房新社

無邪気で平凡な女子大生、一実。眠りから目覚めると彼女の右足の親指はペニスになっ ていた。驚くべき奇想とユーモラスな語り口でベストセラーとなった衝撃の作品が待望 の新装版に!

朝日新聞 2022/05/07

2006:4./ 365p 978-4-309-40792-0 ¥946〔稅込〕





ナチュラル・ウーマン(河出文庫)

松浦 理英子 著

河出書房新社

「私、あなたを抱きしめた時、生まれて初めて自分が女だと感じたの」――二人の女性 の至純の愛と実験的な性を描いた異色の傑作が、待望の新装版で甦る。

2007:5./ 227p 978-4-309-40847-7 ¥682〔税込〕

朝日新聞 2022/05/07



鹿男あをによし(幻冬舎文庫)

万城目 学著 幻冬舎 朝日新聞 2022/05/07 2010:4./ 454p 978-4-344-41466-2 ¥754〔稅込〕



じゅうぶん豊かで、貧しい社会~理念なき資本主義の末路~(ちくま学芸文庫 ス 27-1)

ロバート・スキデルスキー、エドワード・スキデルスキー 著 筑摩書房

日々の暮らしに、そして人生に、何を求めるのか、お金は何のためにあるのか、よい暮 らしとはどのようなものか。ケインズ研究の世界的権威が、「足るを知る」について、

広く古典を渉猟し、先哲の知恵を探りつつ誠実に議論する。

2022:3./ 413p 978-4-480-51111-9 ¥1,540〔稅込〕

朝日新聞 2022/05/07



火定(PHP 文芸文庫 さ 5-1)

澤田 瞳子 著

PHP研究所

藤原四兄弟をはじめ寧楽の人々を死に至らしめた天然痘の蔓延を食い止めようとする医 師たちと、偽りの神を祀り上げて混乱に乗じる者たち-。「天平のパンデミック」を舞 台に人間の業を描き切った傑作長編。

2020:11./ 442p 978-4-569-90084-1 ¥968〔税込〕



朝日新聞 2022/05/07



じい散歩

藤野 千夜 著

双葉社

明石家は夫婦あわせてもうすぐ 180 歳。3人の息子は全員独身で...。家族の可笑しみ、 さりげない優しさを描き出した、現代家族小説。『小説推理』『文學界』掲載を単行本 化。

朝日新聞 2022/05/07

2020:12./ 269p 978-4-575-24357-4 ¥1,760〔稅込〕





法と力~戦間期国際秩序思想の系譜~

西 平等 著

名古屋大学出版会

第一次大戦後の国際法学の中から誕生した「国際政治学」的思考。「国際紛争は裁判可能なのか」という連盟期の最重要課題を軸に、法と力の関係をダイナミックに捉える諸学説の系譜を辿り、モーゲンソーらの思想を位置づけ直す。

2018:9./ 6p,297p,92p 978-4-8158-0919-5 ¥7,040〔稅込〕

朝日新聞 2022/05/07



グローバル・ヘルス法~理念と歴史~

西 平等 著

名古屋大学出版会

国際的な保健協力が目指す「健康」とは何か。その実現のために、どのような法や制度が創出されてきたのか。「社会医学」と「生物医学」の対抗関係を軸に、グローバルな「健康」体制のあり方を問い直す。

2022:2./ 4p,343p 978-4-8158-1056-6 ¥5,940〔稅込〕

朝日新聞 2022/05/07



速読日本史~2倍速で読めて、忘れない~

金谷 俊一郎 著ワニブックス

訓練不要で文章を読むスピードを最大 2 倍速に向上させる文字レイアウト変換技術を使って、2000 年の歴史を倍速インプット! 弥生時代から現代までの日本の歴史を論理的にわかりやすく解説する。

2022:5./ 510p 978-4-8470-7184-3 ¥2,178〔税込〕

朝日新聞 2022/05/07



ABSCURA

リリー・ナイト 著

赤々舎

空間に乗り込む身体、身体を切り開く行為、行為から生起するイメージ。切り結び、折り畳まれていく時間。物語なき叙事詩…。東京で一人暮らしをする部屋に、中国から両親(親密な他者)が訪れたことを契機に制作した写真集。

2022:2./ 1 冊(ページ 付なし) 978-4-86541-140-9 ¥4,950〔税込〕

朝日新聞 2022/05/07



団地のふたり

藤野 千夜 著 U-NEXT

フリマアプリで生計を立てるイラストレーター・奈津子と、ストレスを抱える非常勤講師ノエチは 50 歳、独身、幼なじみ。生家の団地に戻ってきた 2 人の友情をユーモラスに温かく描く。2022 年 3 月刊行の電子書籍を書籍化。

朝日新聞 2022/05/07

2022:3./ 191p 978-4-910207-32-2 ¥1,760〔稅込〕

17



映画を早送りで観る人たち〜ファスト映画・ネタバレ-コンテンツ消費の現在 形〜(光文社新書 1192)

2022:4./ 302p 978-4-334-04600-2 ¥990〔稅込〕



稲田豊史 著 光文社

つまらないと感じたら後はずっと 1.5 倍速、会話のないシーンは即飛ばす、観る前にネタバレサイトをチェック...。一体何がそうした映画や映像の視聴スタイルを生んだのか? あまりに巨大すぎる消費社会の実態をあぶり出す。

朝日新聞 2022/05/07、朝日新聞 2022/05/28



クルト・ヴァイルの世界〜実験的オペラからミュージカルへ〜

大田 美佐子 著

岩波書店

「三文オペラ」で知られるクラシック音楽の作曲家クルト・ヴァイル。亡命後、アメリカのミュージカル界で活躍するも、「大衆迎合主義」と批判される。没後 70 年を経て再評価が進む「二つのヴァイル」の実像を描出する。

2022:3./ 8p,465p,21p 978-4-00-022645-5 ¥4,840〔税込〕



朝日新聞 2022/05/07、東京・中日新聞 2022/05/08



あなたが私を竹槍で突き殺す前に(河出文庫 い 46-2)

李 龍徳 著

河出書房新社

日本初の"嫌韓"女性総理が誕生し、韓国人街でのヘイトクライムが激化していく近未来の日本で、1人の若者が立ち上がる。彼と6人の仲間たちが画策する、禁断の「反攻」計画とは? 怒りと悲しみの青春群像。

2022:3./ 459p 978-4-309-41874-2 ¥1,155〔稅込〕



朝日新聞 2022/05/07、読売新聞 2022/05/29



格差と闘え〜政府の役割を再検討する〜

オリヴィエ・ブランシャール/ダニ・ロドリック/月谷 真紀 編 慶應義塾大学出版会

格差をなくすための具体的思索から哲学・政治論まで。サエズ、ズックマンをはじめ、 世界トップレベルの経済学者らが、格差の現状、その弊害から具体的な政策論の意見を 闘い合わせたシンポジウムの記録。 2022:3./ 22p,318p,50p 978-4-7664-2805-6 ¥3,520〔稅込〕



朝日新聞 2022/05/07、日本経済新聞 2022/05/07



ハッシュタグだけじゃ始まらない~東アジアのフェミニズム・ムーブメント~

熱田 敬子/金 美珍/梁永山 聡子/張 ?容/曹 曉?編 大月書店

東アジアに鳴り響くフェミニストたちの変革の声。中国、韓国、台湾、香港の 4 地域で 沸き起こっているフェミニズム運動を紹介する。豊富な写真と当事者の寄稿で伝える、 苦闘と創造の記録。

朝日新聞 2022/05/07、毎日新聞 2022/05/14

2022:3./ 175p 978-4-272-35057-5 ¥1,980〔稅込〕





沖縄の歩み(岩波現代文庫 社会 313)

新川 明/鹿野 政直 編 国場 幸太郎 著

岩波書店

古代の沖縄と琉球国の成立、沖縄戦の悲劇…。米軍占領下の沖縄で、圧政への抵抗運動に理論・実践の両面で献身した著者が、沖縄の日本復帰直後の時期に、若い世代に向けてやさしく説き明かした、鮮烈な沖縄通史。

2019:6./ 11p,357p 978-4-00-603313-2 ¥1,452〔税込〕

朝日新聞 2022/05/14



オッサンの壁(講談社現代新書 2658)

佐藤 千矢子 著

講談社

なぜ、永田町と政治メディアにオッサンが多いのか? 幾多の壁に直面してきた全国紙初の女性政治部長が、「日本一のオッサン村」永田町・政治メディアの実態を明かす。男性優位主義の本丸で考えた、日本社会への処方箋。

2022:4./ 234p 978-4-06-527753-9 ¥990〔稅込〕

* 9 7 8 4 0 6 5 2 7 7 5 3 9 *

朝日新聞 2022/05/14



少年(新潮文庫 か-1-23)

川端 康成 著

新潮社

旧制中学の美しい後輩、清野少年との特別な関係と青春の懊悩。互いにゆるしあった胸や唇、震えるような時間、唐突に訪れた別れ…。50歳の川端康成が、かけがえのない日々を綴った、人生の愛惜と寂寞が滲む名編。

2022:4./ 178p 978-4-10-100106-7 ¥539〔税込〕

* 9 7 8 4 1 0 1 0 0 1 0 6 7 *

朝日新聞 2022/05/14



ブラッディ・ファミリー〜警視庁人事一課監察係黒滝誠治〜(新潮文庫 ふ-54-2)

深町 秋生 著

新潮社

女性刑事を死に追い詰めた不良警官・伊豆倉陽一。陽一の父、伊豆倉知憲は警視庁長官の座を約束されたエリートだった。正義を貫く相馬警視と非合法な手段を辞さぬ黒滝警部補は、監察として日本警察最大の禁忌に足を踏み入れ…。

2022:5./ 414p 978-4-10-120972-2 ¥781〔稅込〕

* 9 7 8 4 1 0 1 2 0 9 7 2 2 *

朝日新聞 2022/05/14



思考力を磨くための社会学~日常こそが教科書~

岩本 茂樹 著中央公論新社

「社会学」は、身近にたくさんある! 文学や映画のメディア作品を採り上げ、そこから 人間の営みや文化とはどのようなものかを社会学的につかみ取り、導き出された知で私 たちの社会や生活を見直すことに?げる。

朝日新聞 2022/05/14

2018:12./ 237p 978-4-12-005150-0 ¥1,650〔稅込〕





「コミュ障」のための社会学~生きづらさの正体を探る~

岩本 茂樹 著中央公論新社

異文化理解のカギは生育歴の理解、自分だけのストーリーを生きる、敵のおかげで自分を知る、違いがあるから面白い…。視野を広げて「コミュニケーションの壁」を取り払うポイントを、社会学の視点で解説する。

2022:3./ 253p 978-4-12-005518-8 ¥1,650〔税込〕

朝日新聞 2022/05/14



アメリカ外交史

西崎 文子 著 東京大学出版会

アメリカは世界とどう関わってきたか。建国期から 21 世紀初頭までのアメリカ外交史を、アメリカ史全体とグローバルな国際関係史の文脈に関連づけながら叙述。アメリカ外交の「現在」を重層的な歴史的背景から読み解く。

2022:3./ 18p,370p 978-4-13-032234-8 ¥4,180〔稅込〕

* 9 7 8 4 1 3 0 3 2 2 3 4 8 8

朝日新聞 2022/05/14



楽園の真下(文春文庫 お 56-5)

荻原 浩 著 文藝春秋

多くの自殺者が発見され、「死出島」とも呼ばれる志手島。その島で世界最大級のカマキリが見つかり、フリーライターの藤間は現地へ。なぜ自殺者が続くのか?なぜカマキリは巨大化したのか?パニック・ホラー長編。

2022:4./ 537p 978-4-16-791855-2 ¥935〔税込〕

* 9 7 8 4 1 6 7 9 1 8 5 5 2 *

朝日新聞 2022/05/14



観覧車は謎を乗せて(宝島社文庫 このミス大賞 C と-4-2)

朝永 理人/朝永 理人 著

宝島社

観覧車のゴンドラに閉じ込められた 6 組の乗客。自分を殺した犯人がいかにゴンドラから脱出したか考えてほしいという幽霊、観覧車の最高地点からの狙撃を依頼された殺し屋…。同一円周上に配置された、それぞれの事件の行方は?

2022:5./ 287p 978-4-299-02882-2 ¥770〔稅込〕

* 9 7 8 4 2 9 9 0 2 8 8 2 2 *

朝日新聞 2022/05/14



四角六面~キューブとわたし~

エルノー・ルービック/エルノー・ルービック 著 光文社

累計 3 億 5000 万個を売り上げ、世界の 7 人に 1 人が遊んだことがあるというルービックキューブ。その数奇な運命と尽きせぬ魅力を、発明者エルノー・ルービックみずから人生哲学とともに語る。

朝日新聞 2022/05/14

2022:3./ 259p 978-4-334-96254-8 ¥2,090〔稅込〕



沖縄文学全集<第8巻> 小説(3)

沖縄文学全集編集委員会 著

国書刊行会

内容:骨 嶋津与志著. 海辺の生と死 島尾ミホ著. 伐られたガジュマル 安達征一郎著. 不始末の責任 阿嘉誠一郎著. 蘇鉄の村 新崎恭太郎著. カーニバル闘牛大会 ジョージが射殺した猪 又吉栄喜著. 銀のオートバイ 中原晋著. ロスからの愛の手紙 下川博著. 馬走らす 宮里尚安著. 海はしる 仲若直子著. お墓の喫茶店 玉木一兵著. デブのボンゴに揺られて 比嘉秀喜著. 母たち女たち 仲村渠ハツ著. 一九七〇年のギャング・エイジ 上原昇著

1990:8./ 316p 978-4-336-03028-3 ¥4,057〔稅込〕

朝日新聞 2022/05/14



一九三九年誰も望まなかった戦争

フレデリック・テイラー 著

白水社

「誰も望まなかった戦争」がなぜ起きたのか。「1939 年」は今まさに再現しつつあるのか-。第二次世界大戦開戦の前夜の1年間、英独の普通の人びとの日常生活と心情、その変化を、英国の歴史家が活写する。

2022:3./ 528p,53p 図版 16p 978-4-560-09892-9 ¥6,380〔稅込〕

朝日新聞 2022/05/14



米国の沖縄統治と「外国人」管理〜強制送還の系譜〜

土井 智義 著

法政大学出版局

米国統治下の沖縄では、1953年以降、被統治者が「市民=琉球住民」と「外国人=非琉球人」に区別され、出入管理令違反となった非琉球人は強制送還された。強制送還に着目し、非琉球人を生み出した管理制度を検証する。

2022:2./ 12p,367p,42p 978-4-588-32709-4 ¥7,590〔稅込〕

* 9 7 8 4 5 8 8 3 2 7 0 9 4 *

朝日新聞 2022/05/14



政治学者、PTA 会長になる

岡田 憲治 著

毎日新聞出版

選考と内定にまつわる血みどろの闘い、スリム化を阻む不安の正体、「止めよう」が言えない…。踏み込んだ先は魔界だった!うっかり PTA 会長を引き受けた政治学者が見た PTA の実態と失敗だらけの 3 年間を描いた奮闘記。

朝日新聞 2022/05/14

2022:2./ 277p 978-4-620-32730-3 ¥1,760〔稅込〕





なぜリベラルは敗(ま)け続けるのか

岡田 憲治 著

集英社インターナショナル

リベラル派の論客として知られる政治学者が書き下ろす警世の書。いつまでも「オトナ」になれない野党勢力の病弊をえぐり出し、「安倍一強」に翻弄される日本の民主主義に活を入れる。

2019:5./ 248p 978-4-7976-7373-9 ¥1,760〔稅込〕

朝日新聞 2022/05/14



基地社会・沖縄と「島ぐるみ」の運動~B52 撤去運動から県益擁護運動へ~

秋山 道宏 著

八朔社

日常化する基地被害、**B52** の爆発炎上、準備されるゼネスト…生活と生命を前に揺れる沖縄の住民たち。日本復帰直前の時期を対象に、保守や革新といった政治的立場に還元できない人々の想いと、「島ぐるみ」の運動を読み解く。

2019:3./ 224p 978-4-86014-091-5 ¥3,080〔稅込〕

朝日新聞 2022/05/14



春はまた巡る~デイヴィッド・ホックニー芸術と人生とこれからを語る~

デイヴィッド・ホックニー/マーティン・ゲイフォード 著 青幻舎

人はどのように生きるのか。現代アートの巨匠デイヴィッド・ホックニーのノルマンディーからのメッセージ。コロナ禍、美術評論家ゲイフォードに宛てて発信した手紙や SNS のやりとりを収録。関連図版約 140 点も掲載。

2022:2./ 280p 978-4-86152-869-9 ¥3,850〔稅込〕

* 9 7 8 4 8 6 1 5 2 8 6 9 9 *

朝日新聞 2022/05/14



つながる沖縄近現代史~沖縄のいまを考えるための十五章と二十のコラム~

前田勇樹 /古波藏契/秋山道宏 著 ボーダーインク

気鋭の若手研究者たちがまったく新しい視点で沖縄の歴史をつなぐ入門書。日清・日露戦争、沖縄戦、島ぐるみ闘争、復帰運動など、復帰 50 年を迎える今だからこそ知りたい沖縄近現代の歴史を解説する。

2021:11./ 231p 978-4-89982-416-9 ¥2,420〔稅込〕



朝日新聞 2022/05/14



プリズン・サークル

坂上 香 著

岩波書店

受刑者が互いの体験に耳を傾け、本音で語りあう更生プログラムをもつ男子刑務所がある。日本で初めて「塀の中」を長期撮影した著者が、「語ること」の繊細なプロセスを伝えるノンフィクション。『世界』連載をもとに単行本化。

朝日新聞 2022/05/14、東京・中日新聞 2022/05/29

2022:3./ 22p,278p 978-4-00-061526-6 ¥2,200〔税込〕





「米留組」と沖縄〜米軍統治下のアメリカ留学〜(集英社新書 1113)

山里 絹子 著

集英社

戦後の沖縄から、米国陸軍による留学制度でアメリカ留学した若者たち、「米留組」。 彼らの葛藤や想い、そして遺したものとは。「米留二世」でもある著者が丹念に聞き取 った留学経験者たちのライフストーリー。

2022:4./ 254p 978-4-08-721213-6 ¥946〔稅込〕



朝日新聞 2022/05/14、東京・中日新聞 2022/05/29



鹿の王<1>(角川文庫 う 25-1)

上橋 菜穂子 著

KADOKAWA

帝国から故郷を守るため、絶望的な戦いを繰り広げた戦士団の頭ヴァンは岩塩鉱に囚わ れていた。ある夜、不思議な犬たちが岩塩鉱を襲い、謎の病が発生する。その隙に逃げ 出したヴァンは幼子を拾い、ユナと名付け、育てるが...。

2017:6./ 296p 978-4-04-105489-5 ¥704〔税込〕



朝日新聞 2022/05/21



初恋、ざらり<上>

ざくざくろ 著

KADOKAWA

「必要とされると、拒めない…」 主人公・上戸有紗は、「コレ」でしか役に立てない と、 求めてくる男性につい体を許してしまう日々を送っていた。 軽度の知的障害が ある自分に自信が持てない有紗は、 新しく始めたバイト先の優しくしてくれる社員・ 岡村さんが気になり始めて...。 不安定な二人の行き先から目を離せなくなる、切なく も愛おしい恋のものがたり。 【「必要とされると拒めない女の子が恋をする話」とし て、SNS で話題沸騰】 ・私の話かと思った ・心がぎゅーっとなる ・誰かに必要とさ れる事を求めてしまう気持が痛いほどわかる ・どうにかして、二人に幸せになってほ しい 【紙書籍版限定、描き下ろしマンガ付き!】

2022:4./ 195p 978-4-04-811175-1 ¥1,100〔稅込〕



朝日新聞 2022/05/21



初恋、ざらり<下>

ざくざくろ 著

KADOKAWA

「ただ好きで一緒にいるだけじゃだめなの…?」 バイト先の社員・岡村さんに人生で 初めて恋をした有紗。 ついに自分に軽度の知的障害があることを告白したが、 そのこ とが二人の関係に微妙な影を落とす... そんなとき、有紗は岡村さんの両親に紹介され ることになり―― 不安定な二人の行き先から目を離せなくなる、 切なくも愛おしい 恋のものがたり、ついに完結。 果たして二人は一緒に歩いていけるのか――?

【「必要とされると拒めない女の子が恋をする話」として、SNS で話題沸騰】 ・私の 話かと思った ・心がぎゅーっとなる ・誰かに必要とされる事を求めてしまう気持が痛 いほどわかる ・どうにかして、二人に幸せになってほしい 【紙書籍版限定、描き下 ろしマンガ付き!】

朝日新聞 2022/05/21

2022:4./ 219p 978-4-04-811176-8 ¥1.100〔稅込〕





獣の奏者<1> 闘蛇編(講談社文庫)

上橋 菜穂子 著

講談社

王国の矛盾を背負い、兵器として育成される凶暴な蛇——闘蛇。 各界で話題騒然!傑 作ファンタジー巨編、ついに文庫化。 リョザ神王国。闘蛇村に暮らす少女エリンの幸 せな日々は、闘蛇を死なせた罪に問われた母との別れを境に一転する。母の不思議な指 笛によって死地を逃れ、蜂飼いのジョウンに救われて九死に一生を得たエリンは、母と 同じ獣ノ医術師を目指すが――。苦難に立ち向かう少女の物語が、いまここに幕を開け る!

2009:8./ 357p 978-4-06-276446-9 ¥748〔稅込〕



朝日新聞 2022/05/21



遺伝子とは何か?~現代生命科学の新たな謎~(ブルーバックス B-2198)

中屋敷 均 著

講談社

研究が進み、詳細な情報が増えた結果、「遺伝子とは何か」が明確にわからなくなって しまった。そんな「混迷の現状」にたどり着くまでの歴史的経緯を振り返り、「遺伝子 とは何か」を一から考える。

2022:4./ 270p 978-4-06-527766-9 ¥1,100〔稅込〕

朝日新聞 2022/05/21



燃えよ、あんず(小学館文庫 ふ 10-11)

藤谷 治 著

小学館

一癖も二癖もある面々が集う、下北沢の小さな書店。「ロリータ」愛読者、大麻合法を 主張する男、そして本を買わずに店で油を売る久美ちゃん。そんな彼女に新婚間もなく 不幸が訪れる。それから十数年が経過したある日...。

2022:5./ 541p 978-4-09-407144-3 ¥1,034〔稅込〕

朝日新聞 2022/05/21



精霊の守り人(新潮文庫)

上橋 菜穂子 著 新潮社 朝日新聞 2022/05/21 2007:3./ 360p 978-4-10-130272-0 ¥693〔稅込〕



精霊の木(新潮文庫 う-18-31)

上橋 菜穂子 著

新潮社

環境破壊で地球が滅び、様々な星へ移住した人類。少年シンと先住異星人の超能力が目 覚めた従妹リシアが住む星で、過去と現在が交叉し浮かび上がる真実とは-。宇宙を舞 台に展開する壮大な冒険譚。

¥693〔稅込〕

978-4-10-132085-4

2019:5./ 364p



ハレルヤ(新潮文庫 ほ-11-5)

保坂 和志 著

新潮社

生きている時間も死んでいる時間も、光や歓びや恩恵に満ちている-。片目の猫、花ちゃんとの最後の日々を描いた表題作のほか、川端康成文学賞受賞作「こことよそ」など、生きること・死ぬことの発見を描いた 4 つの短篇を収録。

2022:5./ 179p 978-4-10-144925-8 ¥539〔税込〕

朝日新聞 2022/05/21



砂まみれの名将~野村克也の 1140 日~

加藤 弘士 著

新潮社

阪神の指揮官を退いた後、野村克也にはほとんど触れられていない「空白の3年間」があった。当時の番記者が関係者の証言を集め、悪夢の辞任劇からプロ球界に返り咲くまでを描くノンフィクション。

2022:3./ 253p 978-4-10-354511-8 ¥1,650〔税込〕

* 9 7 8 4 1 0 3 5 4 5 1 1

朝日新聞 2022/05/21



教養としてのアメリカ短篇小説

都甲 幸治 著

NHK出版

戦争、奴隷制、禁酒法…。アメリカとそこに暮らす人々の特異な歴史的・文化的・社会的背景を踏まえ、珠玉のアメリカ短篇小説 13 作品を読み解く。NHK ラジオ第二「カルチャーラジオ文学の世界」の講座をもとに加筆・再構成。

2021:10./ 285p 978-4-14-081871-8 ¥1,870〔稅込〕

朝日新聞 2022/05/21



プロジェクト・ヘイル・メアリー<上>

アンディ・ウィアー 著

早川書房

たった 1 人で目を覚ましたグレース。ここは宇宙船。ペトロヴァ問題と呼ばれる災禍によって太陽エネルギーが減少し、存亡の危機に瀕した人類は「プロジェクト・ヘイル・メアリー」を発動。遠い宇宙へ恒星間宇宙船を放ち…。

2021:12./ 323p 978-4-15-210070-2 ¥1,980〔稅込〕

* 9 7 8 4 1 5 2 1 0 0 7 0 2 *

朝日新聞 2022/05/21



プロジェクト・ヘイル・メアリー<下>

アンディ・ウィアー 著

早川書房

「プロジェクト・ヘイル・メアリー」の目的は、太陽エネルギーを食べる未知の地球外生命体アストロファージに感染していないタウ・セチに赴き、その理由を探し出すこと。グレースはこの不可能ミッションに挑むことに…。

朝日新聞 2022/05/21

2021:12./ 315p 978-4-15-210071-9 ¥1,980〔稅込〕





香君<上> 西から来た少女

上橋 菜穂子 著

文藝春秋

奇跡の稲、オアレ稲をもたらし、香りで万象を知るという活神<香君>の庇護のもと、帝 国は発展を続けてきた。あるとき、オアレ稲に虫害が発生する。人並外れた嗅覚をもつ 少女アイシャは、オアレ稲に秘められた謎と向き合い...。

2022:3./ 435p 978-4-16-391515-9 ¥1,870〔稅込〕

朝日新聞 2022/05/21



香君<下> 遙かな道

上橋 菜穂子 著

文藝春秋

オアレ稲に依存してきた帝国に危機が訪れる。次々と災いの連鎖が起きていくなかで、 アイシャは、仲間たちとともに、必死に飢餓を回避しようとするのだが...。異郷から風 が吹くとき、アイシャたちの運命は大きく動きはじめる。

2022:3./ 460p 978-4-16-391516-6 ¥1,870〔稅込〕



朝日新聞 2022/05/21



かか(河出文庫 う 17-1)

宇佐見 りん 著 河出書房新社

19歳の浪人生うーちゃんの大好きな母親=かかは、離婚を機に徐々に心を病んでいっ た。自分を縛るすべてが恨めしいう一ちゃんは、ある無謀な祈りを抱え、熊野へと旅立 つ-。表題作に書き下ろし短編「三十一日」を併録。

2022:4./ 162p 978-4-309-41880-3 ¥594〔稅込〕



朝日新聞 2022/05/21



ほねがらみ(幻冬舎文庫 ろ-1-1)

芦花公園 著

幻冬舎

数々の記録に登場する、呪われた村、手足のない体、白蛇の伝説、そして…。安易な気 持ちで、恐怖の実話を集めてはいけない! 「怖すぎて眠れない」と悲鳴が起きたドキュ メント・ホラー小説。

2022:5./ 333p 978-4-344-43194-2 ¥825〔稅込〕



朝日新聞 2022/05/21



小さな習慣

スティーヴン・ガイズ、田口 未和 著 ダイヤモンド社

自分の生活に健康的な習慣を取り入れ、長く続けるためには。毎日これだけはやると決 めて必ず実行する、ちょっとしたポジティブな行動「小さな習慣」と、成功させるため の心構えや実践方法、失敗させないルール等を紹介する。

朝日新聞 2022/05/21

2017:4./ 222p 978-4-478-06577-8 ¥1,540〔稅込〕





積み重なる差別と貧困~在日朝鮮人と生活保護~(サピエンティア 64)

金耿昊 著

法政大学出版局

在日朝鮮人と生活保護の歴史についての研究。苦難にみちた生活と民族運動の軌跡をたどり、根拠のないヘイトスピーチへの反証を行う。月別帰国者数と帰国者の被保護率・被保護者数推計も収録。

2022:3./ 7p,369p,12p 978-4-588-60364-8 ¥4,180〔稅込〕

朝日新聞 2022/05/21



居場所なき革命~フランス 1968 年とドゴール主義~

吉田徹 著 みすず書房

世界中の学生と労働者が異を唱え、現代政治の諸問題を提起し、社会と国家が正面から 衝突した 1968 年。各国で起きた運動は何だったのか。その本拠地フランス五月革命の 意味を、反革命としてのドゴール政治を通して探り出す。 2022:4./ 231p,49p 978-4-622-09081-6 ¥4,180〔稅込〕

朝日新聞 2022/05/21



エフォートレス思考~努力を最小化して成果を最大化する~

グレッグ・マキューン 著

かんき出版

もっとも効率のいいポイントを見つけて、余裕で最高の成果を出す。行動を自動化し、成果が勝手についてくるしくみをつくる…。無駄な努力を 0%にして、成果を 100%に するエフォートレス思考を紹介する。

2021:12./ 280p,14p 978-4-7612-7581-5 ¥1,760〔税込〕

朝日新聞 2022/05/21



僕の狂ったフェミ彼女

ミン・ジヒョン 著 イースト・プレス

「普通の」韓国人男性が、フェミニストになった初恋の人と再会。ジェンダー・イシューはどのように恋愛の妨げになるのか…。韓国の若者の恋愛、性、愛、結婚に対する葛藤を、主人公「僕」の視点でリアルに描く。

2022:3./ 335p 978-4-7816-2063-3 ¥1,760〔稅込〕

朝日新聞 2022/05/21



不揃いな身体でアフリカを生きる~障害と物乞いの都市エスノグラフィ~

仲尾 友貴恵 著

世界思想社

福祉制度が実動しないタンザニアで、「ふつう」に働けない障害者たちは、いかに生計を立ててきたのか。障害学、都市下層研究、地域研究の枠組みを越え、植民地期から現在までの彼らの姿を追ったフィールドワークの精華。

朝日新聞 2022/05/21

2022:3./ 26p,363p 978-4-7907-1769-0 ¥3,960〔稅込〕





ははとははの往復書簡~2018.01.31-2022.01.30~

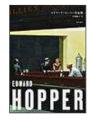
長島有里枝/山野アンダーソン陽子 著

晶文社

共感できなくても、?み合わなくても、対話はできる。日本に住む写真家とスウェーデ ンに住むガラス作家が、お互いの考え、経験、葛藤を交わし合う往復書簡。ウェブメデ ィア『Fasu』等の連載を加筆・修正し単行本化。

2022:4./ 205p 978-4-7949-7306-1 ¥1,870〔稅込〕

朝日新聞 2022/05/21



エドワード・ホッパー作品集

江崎聡子 著

東京美術

アメリカ美術の巨匠エドワード・ホッパーの作品 100 点近くを収めた画集。鑑賞の助け として、気鋭のアメリカ視覚文化研究者である著者による、疎外や孤独の観点から語ら れがちなホッパーに新鮮な視点を吹き込む解説を付す。

2022:3./ 191p 978-4-8087-1237-2 ¥3,850〔稅込〕

朝日新聞 2022/05/21



なぜ僕は瞑想するのか~ヴィパッサナー瞑想体験記~

想田 和弘 著

ホーム社

毎日 10 時間以上、ひたすら座って修行し、驚くべき体験をした…。2600 年前、ブッダ が実践し、解脱に至ったという「ヴィパッサナー瞑想」を体験した 10 日間のルポルタ ージュ。『週刊金曜日』連載を書籍化。

2021:4./ 124p 978-4-8342-5347-4 ¥1,870〔稅込〕

朝日新聞 2022/05/21



数字はつくられた~統計史から読む日本の近代~

佐藤 正広 著

東京外国語大学出版会

近代西欧で生み出され、その時々の関心と合理性にしたがって実施されてきた統計制 度。21世紀の「統計不信問題」にも通底する統計のあり方から、日本における近代化 の意味を問う。歴史的統計データの利用法も解説。

2022:3./ 339p 978-4-904575-95-6 ¥3,080〔稅込〕

朝日新聞 2022/05/21



AI 研究者と俳人~人はなぜ俳句を詠むのか~

川村 秀憲/大塚 凱 著

dZERO

人工知能・一茶くんの開発者と気鋭の若手俳人が、俳句を媒介として知能の深淵を探 「知能とは何か」「人はなぜ俳句を詠むのか」という問いの答えを求めた対話の記 録。

978-4-907623-50-0 ¥2,090〔稅込〕

2022:3./ 205p





人類冬眠計画〜生死のはざまに踏み込む〜(岩波科学ライブラリー 311)

砂川 玄志郎 著

岩波書店

人は本当に冬眠できるのか? 人工冬眠の実現を目指して日々研究開発に挑む研究者が、 自身の体験や想いをふんだんに交えながら、これまでの知見とこれからの可能性をわか りやすく解説する。

2022:4./ 7p,112p,3p 978-4-00-029711-0 ¥1,320〔稅込〕

朝日新聞 2022/05/28



人種主義の歴史(岩波新書 新赤版 1930)

平野 千果子 著

岩波書店

ナショナリズムや植民地主義、反ユダヤ主義と結びつき、近代世界に計りしれぬ惨禍を もたらし、現代にも深い影を落している人種主義(レイシズム)。大航海時代から今日ま で、その思想と実態を世界史的視座からとらえる入門書。

2022:5./ 2p,245p,21p 978-4-00-431930-6 ¥1,034〔稅込〕



朝日新聞 2022/05/28



生皮~あるセクシャルハラスメントの光景~

井上荒野 著

朝日新聞出版

小説講座の人気講師がセクハラで告発された。家族たちは事件をいかに受け止めるの か?被害者の傷は癒えることがあるのか?ハラスメントが醸成される空気を重層的に活 写する。『小説トリッパー』連載を単行本化。

2022:4./ 293p 978-4-02-251816-3 ¥1.980〔稅込〕

朝日新聞 2022/05/28



スワン

呉 勝浩 著

KADOKAWA

ショッピングモールで起きた無差別銃撃事件。事件の渦中にいながら生き残った少女、 いずみのもとに、ある日招待状が届く。生存者たちを集めた"お茶会"、その目的は? 『カドブンノベル』掲載を単行本化。

2019:10./380p 978-4-04-108639-1 ¥1,870〔稅込〕



朝日新聞 2022/05/28



賤ケ岳の鬼(中公文庫 よ 63-1)

吉川 永青/吉川 永青 著 中央公論新社

本能寺の変後、風雲急を告げる戦国の世。主君・織田信長に献身し、その武勇から「鬼 玄蕃|と恐れられた男・佐久間盛政は、秀吉の天下取りに待ったをかける。「賤ケ岳の 戦い」を真正面から描く本格歴史長編。

朝日新聞 2022/05/28

2022:4./ 314p 978-4-12-207204-6 ¥880〔稅込〕





おれたちの歌をうたえ

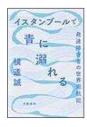
呉 勝浩 著

文藝春秋

友が遺した五行の詩。連絡を待ちわびていた元刑事は、それが自分達への伝言だと気づ く。40年前のあの日の真実を求めて、執念の捜査が始まった。友情を諦めなかった男 たちの、悔恨と希望の物語。

2021:2./ 598p 978-4-16-391327-8 ¥2,200〔稅込〕

朝日新聞 2022/05/28



イスタンブールで青に溺れる〜発達障害者の世界周航記〜

横道 誠 著

文藝春秋

ウィーンの夜道を"反復"徘徊し、月面世界と接続する、バンコクの寺院で「失感情症」 を発動する...。自閉スペクトラム症と注意欠如・多動症とを併発した文学研究者が、25 の街や地域を旅した回想録。

2022:4./ 286p 978-4-16-391532-6 ¥1,870〔稅込〕



朝日新聞 2022/05/28



二刀の竜(徳間文庫 徳間時代小説文庫 し 42-3)

志木沢郁 著 徳間書店

同門の朋輩を刃にかけてしまった竜崎竜次郎は、師匠の悪謀に嫌気が差し、剣術を捨て て天賦の才を持つ料理の道に生きることを決意する。戦国の世に「天下一味勝負」の旗 を立て、包丁の腕での仕官の途を求め諸国をさすらい...。

2022:5./ 404p 978-4-19-894741-5 ¥880〔稅込〕



朝日新聞 2022/05/28



天命~毛利元就武略十番勝負~(光文社文庫 光文社時代小説文庫 い 44-8)

岩井三四二 著

光文社

大内、尼子の二大勢力に翻弄される弱小国人・毛利家の次男に生まれた元就。兄を亡く し、図らずも大将となった元就は、幾度も哀しみから立ち上がり、武略に長けた逞しい 武将となっていく-。毛利元就の戦いの生涯を描く。

2022:4./ 571p 978-4-334-79350-0 ¥1,012〔稅込〕



朝日新聞 2022/05/28



東京タワーに住む少年

山口 理著

国土社

東京タワーのトップデッキの上に隠されたレインボー・センターでは、科学オタクの小 学生・健人たちが、夢の実現に向けて秘密の研究を続け...。科学の最先端技術に挑みな がら、夢を追い続ける少年の成長物語。見返しに図あり。

朝日新聞 2022/05/28

2022:3./ 223p 978-4-337-33653-7 ¥1,540〔稅込〕





赤へ(祥伝社文庫 い 21-2)

井上 荒野 著

祥伝社

ふいに思い知る、すぐそこにあることに。時に静かに、時に声高に…。「死」を巡って 炙り出される人間の"ほんとう"。「虫の息」「時計」「どこかの庭で」など、死を巡る 10 の物語を収録した傑作短編集。 2019:6./ 244p 978-4-396-34533-4 ¥682〔税込〕

朝日新聞 2022/05/28



日米交流史の中の福田なをみ~「外国研究」とライブラリアン~

小出いずみ 著

勉誠出版

第二次大戦前、戦中・戦後の時代を通して活動した、日本研究ライブラリアンの草分け、福田なをみ。日米の多様なライブラリーで仕事をしたという経歴をもつ彼女の足跡をたどり、初発期「外国研究」の様相と展開を解明する。

2022:2./ 13p,344p,162p,13p 978-4-585-30004-5 ¥7,700〔税込〕

朝日新聞 2022/05/28



アーカイブの思想~言葉を知に変える仕組み~

根本彰 著みすず書房

日本ではアーカイブが必須の社会基盤とみなされていないのではないか-。社会におけるアーカイブの意味と重要性を思想・文化・教育史から跡づけ、デジタルネットワーク社会の開かれた知の源泉としての課題と可能性を照らす。

2021:1./ 296p,13p 978-4-622-08970-4 ¥3,960〔税込〕

朝日新聞 2022/05/28



理想の図書館とは何か〜知の公共性をめぐって〜

根本 彰著

ミネルヴァ書房

文化交流拠点、情報発信拠点、アーカイブ、電子図書館など、各地の図書館の先端的事例を紹介しつつ、図書館は情報ストックをもとにしたサービスを展開し、知の大海に乗り出すためのツールとなるべきとの位置づけを行う。

2011:9./ 16p,208p,6p 978-4-623-06097-9 ¥2,750〔税込〕

朝日新聞 2022/05/28



武士の奉公本音と建前〜江戸時代の出世と処世術〜(歴史文化ライブラリー 393)

高野 信治 著 吉川弘文館

平和の続く江戸時代、戦功をあげる機会がなくなり、「役人」として生きることになった武士たち。上司に取り入り出世を勝ち取る者、保身や人間関係に配慮する者など、したたかに生きようとした彼らの「働く思い」を読み解く。

朝日新聞 2022/05/28

2015:1./ 6p,205p 978-4-642-05793-6 ¥1,870〔稅込〕





攻撃される知識の歴史~なぜ図書館とアーカイブは破壊され続けるのか~

リチャード オヴェンデン 著

柏書房

土に埋もれた粘土板のかけら、焚きつけにされたパピルス、2度焼かれた図書館…。過 去に起きた図書館や公文書館の破壊だけでなく、ライブラリアンやアーキビストがそれ にどう立ち向かったか、彼らの功績を取り上げる。

2022:4./ 392p 978-4-7601-5442-5 ¥3,300〔稅込〕

朝日新聞 2022/05/28



公共図書館を育てる

永田 治樹 著

青弓社

デジタル時代の公共図書館のあり方とは。海外の図書館経営の手法を紹介し、公共図書 館とコミュニティの関わりをイギリスの事例をもとに検討。家庭と職場以外の心地よい 空間として世界的に有名な北欧の図書館も取り上げる。

2021:10./ 219p 978-4-7872-0078-5 ¥2,860〔稅込〕

朝日新聞 2022/05/28



ヒップホップ・モンゴリア〜韻がつむぐ人類学〜

島村一平 著

青土社

伝統文化とヒップホップの文化的連続性、ヒップホップとディアスポラ問題…。現代モ ンゴル社会とヒップホップのラッパーたちとの関係の中で織りなされてきた世界-ヒッ プホップ・モンゴリアを描く、異色の人類学ドキュメント。

2021:2./ 421p 978-4-7917-7351-0 ¥2.860〔稅込〕

朝日新聞 2022/05/28



憑依と抵抗~現代モンゴルにおける宗教とナショナリズム~

島村一平 著

晶文社

高級・高層ビルが乱立し加速度的に情報化する都市を「感染するシャーマン現象」が侵 食しているのはなぜか。「排除/憑依/反抗 | をキーワードに、現代モンゴルの深層を明 らかにする。『季刊民族学』など掲載を単行本化。

2022:3./ 395p 978-4-7949-7303-0 ¥2,420〔稅込〕

朝日新聞 2022/05/28



草のふえをならしたら(福音館創作童話シリーズ)

林原玉枝 著

福音館書店

お味噌汁を作っているまこちゃんが、ふと思いついてねぎの青いところを笛のように鳴 らすと、「特技は味見」というブタが現れて…。8種の植物の笛の音色が結ぶ、子ども たちと動物との交流の物語。全8話収録。

朝日新聞 2022/05/28

2022:4./ 123p 978-4-8340-8657-7 ¥1,760〔稅込〕





神になった武士~平将門から西郷隆盛まで~(歴史文化ライブラリー 546)

高野 信治 著

吉川弘文館

平将門、菅原道真、徳川家康...。彼らはなぜ、死後、あるいは生きているうちから<神> として祀られたのか。祭祀・神格化の過程を読み解き、地域守護、治病利益、国家の忠 臣など、さまざまな役割を担った<神>の全体像に迫る。

2022:4./ 7p,257p 978-4-642-05946-6 ¥1,980〔稅込〕



朝日新聞 2022/05/28、東京・中日新聞 2022/05/29



なきむしせいとく〜沖縄戦にまきこまれた少年の物語〜(童心社の絵本)

たじま ゆきひこ 著

童心社

1945年の沖縄。いつも泣いているので、みんなから「なちぶー」と呼ばれている少年 「せいとく」は、母と妹の3人で、南へ逃げることになり…。平和を願い、沖縄を見つ め続けてきた田島征彦が描く「沖縄戦」の絵本。

2022:4./ 49p 978-4-494-01248-0 ¥1,760〔稅込〕



朝日新聞 2022/05/28、毎日新聞 2022/05/28



大花野~句集~

小山 正見 著

朔出版

ここはどこあなたはだあれ大花野 「あなたのは」とばかり訊く妻さくらんぼ 梅雨明け てわたしにできることは何 認知症を発症した妻との暮らしと、ありのままの命を見つ めた俳句集。全36句を収録する。

2022:2./ 45p 978-4-908978-73-9 ¥1.650〔稅込〕

朝日新聞 2022/05/29



最期の声~ドキュメント災害関連死~

山川 徹著

KADOKAWA

東日本大震災、熊本地震、新潟県中越地震など、阪神大震災以降の災害で「災害関連 死」とされた人の数は 5000 人以上。死者たちの残した声なき声をきき、災害支援の道 を照らすノンフィクション。

2022:2./ 365p 978-4-04-400630-3 ¥1,870〔稅込〕

東京・中日新聞 2022/05/01



人でなしの櫻

遠田 潤子 著

講談社

日本画家の竹井清秀が急な電話に駆けつけると、長らく絶縁したままの天才料理人の父 の遺体があり、全裸で震える少女、蓮子がいた。11年にわたり父が密かに匿っていた のだ。激しい嫌悪を覚える一方で、蓮子に惹かれていき...。

東京・中日新聞 2022/05/01

2022:3./ 293p 978-4-06-526981-7 ¥1,760〔稅込〕





高鳴る心の歌~ヒット曲の伴走者として~

朝妻一郎 著

アルテスパブリッシング

数々の大ヒット曲誕生に携わり音楽著作権の価値を知り尽くす業界のパイオニアが、音楽出版ビジネスの草創期から未来までを 55 年の現場経験とともに語る。『ミュージック・リポート』連載に書き下ろしを加えて単行本化。

2022:2./ 300p,17p 978-4-86559-251-1 ¥2,200〔税込〕

東京・中日新聞 2022/05/01



音が語る、日本映画の黄金時代~映画録音技師の撮影現場 60 年~

紅谷 愃一 著河出書房新社

黒澤明、今村昌平、石原裕次郎や高倉健…。日本映画の黄金期を経験した映画録音技師・紅谷愃一が、60年にわたる映画人生の中で出会った人と作品を振り返る。『キネマ旬報』連載を加筆し書籍化。

2022:2./ 323p 978-4-309-29186-4 ¥2,970〔稅込〕

東京・中日新聞 2022/05/01、読売新聞 2022/05/15



ドンキにはなぜペンギンがいるのか(集英社新書 1104)

谷頭 和希 著 集英社

ディスカウントストア「ドン・キホーテ」から見えてきた、現代日本の姿と未来の可能性とは?街歩きライターがフィールドワークを行い、その歴史や経営戦略を社会学や建築の視点から読み解く。『ゲンロン α 』掲載を大幅加筆。

2022:2./ 231p 978-4-08-721204-4 ¥924〔稅込〕

東京・中日新聞 2022/05/08



幸村を討て

今村 翔吾 著 中央公論新社

何年にもわたる真田父子の企みを読めず翻弄される諸将。徳川家康、織田有楽斎、伊達政宗、ついには昌幸の長男信之までもが叫ぶ。「幸村を討て!」と…。エンターテインメント巨篇。『読売新聞オンライン』連載を加筆し書籍化。

2022:3./ 527p 978-4-12-005515-7 ¥2,200〔税込〕

東京・中日新聞 2022/05/08



いきもの六法~日本の自然を楽しみ、守るための法律~

山と溪谷社いきもの部 編 中島 慶二、益子 知樹 著 山と渓谷社

その生き物、採っても大丈夫? ペット関連を除く、自然の生き物たちに関する法律を、生物・環境ごとに章分けした上で、法規制が「種・場所・種と場所・その他」のどれに対してかかっているかで分類し、わかりやすく紹介する。

東京・中日新聞 2022/05/08

2022:3./ 127p 978-4-635-59051-8 ¥1,980〔稅込〕





中央線がなかったら 見えてくる東京の古層(ちくま文庫 し 55-1)

陣内 秀信、三浦 展 著

筑摩書房

近代の産物「中央線」を視界から取り去ると、武蔵野・多摩地域の原構造が浮かび上が る! 陣内秀信と三浦展が、古地図を手に中野、高円寺、阿佐ケ谷、国分寺・府中、日野 を歩き、近代以前の東京の原形を探る。

2022:1./ 235p 図版 8 978-4-480-43788-4 ¥990〔稅込〕

東京・中日新聞 2022/05/14



中野ブロードウェイ物語

長谷川 晶一/長谷川 晶一 著

屋上プール付き分譲マンションと「まんだらけ」などのサブカル店舗群が同居した異空 間「中野ブロードウェイ」。中央線文化圏を先導し、今なおアメーバ的進化を続ける巨 大建造物の全貌に、当地に暮らす著者が迫った異色ルポ。

2022:4./ 285p 978-4-7505-1738-4 ¥1,870〔稅込〕

東京・中日新聞 2022/05/14、朝日新聞 2022/05/28、日本経済新聞 2022/05/28



写真はわからない〜撮る・読む・伝える-「体験的」写真論〜(光文社新書 1193)

小林紀晴 著

光文社

初心者からプロまでに向けての写真論。「いい写真」とは何か、人物・風景をどう撮る か、自分の「思い」をどう伝えるか、自身の「撮る者」としての体験や写真教育に携わ った経験を踏まえて語る。

2022:4./ 264p 978-4-334-04601-9 ¥1.078〔稅込〕

東京・中日新聞 2022/05/15



来たれ、新たな社会主義~世界を読む 2016-2021~

トマ・ピケティ 著

みすず書房

激動する世界のただ中で、格差と闘うエコノミストは何を訴えたのか?ピケティが構想 する「新たな社会主義」とは? 2016年から21年初頭にかけて『ルモンド』紙に寄稿し た時評44本を精選し、新たに「序文」を付す。

2022:4./ 226p,9p 978-4-622-09073-1 ¥3.520〔稅込〕

東京・中日新聞 2022/05/15



自衛隊海外派遣 隠された「戦地」の現実(集英社新書 1112)

布施 祐仁 著

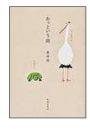
集英社

自衛隊の海外派遣について定めた国際平和協力法(PKO法)が 1992 年に制定・施行され てから30年。これまでの自衛隊海外派遣の「リアル」を総検証して問題点を整理した うえで、今後の派遣のあり方をも提案する。

東京・中日新聞 2022/05/22

2022:4./ 317p 978-4-08-721212-9 ¥1,034〔稅込〕





あっという間

南伸坊 著 春陽堂書店

電車内のエチケット、賽銭ドロボーの作法、ボケ防止の呪文、はじめての大腸検査、お じいさんのお正月...。どこかクリエイティブで冗談みたいなホントの話を綴る。月刊 『日本橋』連載などを単行本化。

2022:4./ 250p 978-4-394-77004-6 ¥1,760〔稅込〕

東京・中日新聞 2022/05/22



いのちの秘義~レイチェル・カーソン『センス・オブ・ワンダー』の教え~

若松 英輔 著 亜紀書房

「ただ、相手と共にいて、一緒に驚き、よろこぶこと」が育む未来を切り開くちからと は-。不朽の名著「センス・オブ・ワンダー」に秘められた危機の時代を生きるための ヒントを、批評家が読み解く。

2022:4./ 139p 978-4-7505-1737-7 ¥1,650〔稅込〕

東京・中日新聞 2022/05/22



満洲国グランドホテル

平山周吉 著 芸術新聞社

ニキ三スケ(東条英機、星野直樹、松岡洋右、岸信介、鮎川義介)だけで満洲は語れない -。既存の満洲国イメージを覆す、満洲の土を踏んだ日本人の奇妙にして、真剣なる 「昭和史」物語。芸術新聞社ウェブサイト連載を書籍化。

2022:4./ 565p 978-4-87586-639-8 ¥3.850〔稅込〕

東京・中日新聞 2022/05/22



ふたつの波紋

伊藤 比呂美/町田 康 著

文藝春秋

現代詩が目指すべきは自己からの脱却か、意味からの飛躍か。山頭火・中也・太宰の魅 力とは…。文学の最前線で活躍し続けてきたふたりによる、詩・朗読・古典翻訳をめぐ る文学対談。『文學界』掲載ほかを書籍化。

2022:2./ 168p 978-4-16-391498-5 ¥1,650〔稅込〕

東京・中日新聞 2022/05/28



舞踏馬鹿~土方巽の言葉とともに~

正朔著

論創社

舞踏家・土方巽の晩年の言葉に密接に触れ、強く影響を受けた正朔の記した文章をまと めて収録。「舞踏譜」では、土方巽を継承した正朔の舞踏メソッドをわかりやすく伝え る。長年舞踏に併走した批評家・國貞陽一との対談も掲載。

東京・中日新聞 2022/05/29

2022:2./ 238p 図版 16p 978-4-8460-2138-2 ¥2,420〔稅込〕





正岡子規伝~わが心世にしのこらば~

復本 一郎 著

岩波書店

俳句を世に広め、短歌革新運動に取り組み、俳諧研究家としても多大な業績を残した正岡子規。その複雑かつ多面的な魅力の全体像を、子規周辺の人物たちの動向をも含めて、総合的に叙述する。

2021:12./ 6p,355p,22p 978-4-00-024833-4 ¥4,070〔税込〕



読売新聞 2022/05/01



夫婦商売~時代小説アンソロジー~(角川文庫 時-さ 86-11)

末國 善己 編

青山 文平/宇江佐 真理/澤田 瞳子/諸田 玲子/山本 一力/山本 兼一 著 KADOKAWA

江戸の海産物問屋で奉公する与茂吉は、上方へ旅立つ女将のお供を申しつけられた。与茂吉には主から命じられた仰天の使命があって…。澤田瞳子「痛むか、与茂吉」など、"夫婦"と"お店"を題材にした時代小説アンソロジー。

2022:3./ 264p 978-4-04-112251-8 ¥704〔稅込〕

読売新聞 2022/05/01



俳句と川柳(講談社学術文庫 2246)

復本 一郎 著

講談社

ともに 17 音の文芸である俳句と川柳。「風景を詠むと俳句、笑いを詠むと川柳」なのか? 俳句と川柳のルーツを探り、新旧の名句を鑑賞し、また俳人や川柳作家の創作観を紹介しながら、それぞれの本質を探り境界線を問う。

2014:7./ 270p 978-4-06-292246-3 ¥1,012〔稅込〕

読売新聞 2022/05/01



窓ぎわのトットちゃん 新組版(講談社文庫 く 10-2)

黒柳 徹子 著

講談社

「きみは、本当は、いい子なんだよ!」 校長先生はトットちゃんにいつもそう言った-。 トモエ学園の個性を伸ばす教育と、そこに学ぶ子供たちを生き生きと描いた名作。字が 大きくて読みやすく、絵も鮮明に美しくなった新組版。 2015:8./ 377p 978-4-06-293212-7 ¥880〔稅込〕



読売新聞 2022/05/01



浅草キッド(講談社文庫 ひ 65-1)

ビートたけし 著

講談社

昭和 47 年の真夏。大学を中退した「たけし」は、浅草六区に降り立った。ストリップ劇場の幕間に演じられるコントで修業し喜劇役者を目指すのだが…。天才芸人が自らの青春を明かす。NETFLIX 映画の原作。

読売新聞 2022/05/01

2022:3./ 268p 978-4-06-527695-2 ¥770〔稅込〕





星三百六十五夜<春・夏>

野尻 抱影/野尻 抱影 著中央公論新社

浮き立つような春の夜空に輝く幾千の星。夏の夜空に数多の伝説が浮かび上がる-。古今東西の詩文をまじえて綴る星日誌。春・夏は、3?8 月を収録。国立天文台副台長・渡部潤一による解説も収録。

2022:4./ 254p 978-4-12-005533-1 ¥1,980〔税込〕

読売新聞 2022/05/01



星三百六十五夜<秋・冬>

野尻 抱影/野尻 抱影 著中央公論新社

虫の音を聞きながらほの青く光る秋空を眺め、息づまるように美しい冬の星空に出会う-。古今東西の詩文をまじえて綴る星日誌。秋・冬は、9?2月を収録。国立天文台副台長・渡部潤一による解説も収録。

2022:4./ 253p 978-4-12-005534-8 ¥1,980〔税込〕

読売新聞 2022/05/01



諜報の技術〜CIA 長官回顧録〜(中公文庫 タ 10-1)

アレン・ダレス 著 中央公論新社

盗聴、暗殺、煽動、密告…。兄の国務長官ジョン・ダレスとともに冷戦外交を主導した CIA 長官アレン・ダレスが、スエズ動乱、朝鮮戦争、キューバ危機、U-2 事件の対 KGB 謀略戦の実態を告白。情報機関の在り方を問う。

2022:3./ 458p 978-4-12-207195-7 ¥1,430〔稅込〕

* 9 7 8 4 1 2 2 0 7 1 9 5 7 *

読売新聞 2022/05/01



原郷の森

横尾 忠則 著文藝春秋

原郷とは、人間の魂の古里みたいな場所であり、時間。そこでは、なんでも起こりうる-。ダ・ビンチ、ピカソ、北斎、三島、黒澤ら、芸術家たちが時空を超えて語り合う、 異色の芸術小説。『文學界』掲載を単行本化。 2022:3./ 512p 978-4-16-391520-3 ¥4,180〔税込〕

読売新聞 2022/05/01



迫害された移民の経済史~ヨーロッパ覇権、影の主役~

玉木 俊明 著

河出書房新社

ユダヤ人、アルメニア人、イエズス会士…。近世ヨーロッパに繁栄をもたらしたのは、 迫害され、祖国を追われた人々「ディアスポラ」だった-。歴史の皮肉を描き、新たな 解釈を提供する、逆説の経済史。

読売新聞 2022/05/01

2022:2./ 230p 978-4-309-22843-3 ¥2,805〔稅込〕





世界推理短編傑作集<6>(創元推理文庫 Mン1-6)

戸川 安宣 編

東京創元社

珠玉の推理短編を年代順に集成し、1960年の初版以来、版を重ね現在に至る傑作アン ソロジーをリニューアル。6 は、「九マイルは遠すぎる」など全 13 編を収録し、1?5 に漏れた名作を拾遺する。

2022:2./ 725p 978-4-488-10012-4 ¥1,650〔稅込〕

読売新聞 2022/05/01



夜ふけに読みたいはじまりのイソップ物語

田野崎 アンドレーア嵐/和爾 桃子 編 平凡社

夜ふけにぴったりの、声に出しても楽しいイソップ物語を、イギリスの人気挿絵画家ア ーサー・ラッカムの絵をふんだんに盛り込んで紹介。「きつねとぶどう」「金の卵を産 むガチョウ」など 100 話以上を収録する。

2022:2./ 230p 978-4-582-83887-9 ¥2,200〔稅込〕

読売新聞 2022/05/01



ミーニング~人間の知的自由について~

マイケル・ポランニー/ハリー・プロシュ 著 ミネルヴァ書房

科学主義と客観主義に破壊された「意味」を再建する試み。暗黙知理論を詩や芸術、そ して神話、宗教の分野へと拡大し、ポランニー哲学の奥深さ、幅広さを通観する。ポラ ンニー最晩年の思想の集大成。

2022:1./ 9p,331p,2p 978-4-623-08930-7 ¥4.950〔稅込〕

読売新聞 2022/05/01



デザインマネジメント論のビジョン~デザインマネジメント論をより深く学び たい人のために~

後藤 智/安藤 拓生 著

新曜社

組織を活性化し商品価値を高めるスキルとして、新入社員から経営者まで必須の知識と なったデザインマネジメント。その手法と最新理論を具体例を挙げながらわかりやすく 説明し、今後の新たな方向性も示す。

2022:3./ 10p,237p,11p 978-4-7885-1766-0 ¥2,640〔稅込〕



読売新聞 2022/05/01



まだ誰も見たことのない「未来」の話をしよう(SB新書 574)

オードリー・タン、近藤弥生子 著 SBクリエイティブ

環境問題、民主主義の危機…。「それでも未来は明るい」と、オードリー・タンが信じ る理由とは。台湾の天才デジタル担当大臣が、デジタル化の進む未来と、その中で果た すべき役割、SDGs と経済の両立などについて語る。

読売新聞 2022/05/01

2022:3./ 222p 978-4-8156-1222-1 ¥990〔稅込〕





あったこほうさ~東北歌姫?エッセイ集~

白崎 映美 著 ぱるす出版

故郷への限りなき愛、歌への燃える情熱-。日々の生活に幸せを見つけ、心が温かくなる、元「上々颱風」白崎映美による珠玉のエッセイ集。『山形新聞』連載他に加筆。

2022:4./ 230p 978-4-8276-0264-7 ¥1,650〔税込〕

読売新聞 2022/05/01



捨てない生きかた(マガジンハウス新書 001)

五木寛之 著マガジンハウス

愛着ある"ガラクタ"は人生の宝物。モノが捨てられない、それもまたいいではないか-。 著者自身の「捨てない生活」から「この国が捨ててきたもの」までを語り、モノを捨て ることがブームとなっている現代社会に一石を投じる。 2022:1./ 197p 978-4-8387-7501-9 ¥999〔稅込〕

* 9 7 8 4 8 3 8 7 7 5 0 1 9

読売新聞 2022/05/01



都筑道夫創訳ミステリ集成

ジョン・P・マーカンド/カロリン・キーン/エドガー・ライス・バローズ/新保博久 /堀燐太郎/平山雄一 著

作品社

作家・都筑道夫が手がけた、翻訳にして創作"創訳"ミステリ小説作品を集成。「銀のたばこケースの謎」など児童向け翻訳全3作を収録。底本の書影/口絵、挿絵のほか、堀 燐太郎のエッセイ、新保博久による解説も掲載。 2022:2./ 476p 978-4-86182-888-1 ¥6,160〔稅込〕

* 9 7 8 4 8 6 1 8 2 8 8 8 1 *

読売新聞 2022/05/01



通達/謁見(東欧の想像力 20)

ヴァーツラフ・ハヴェル 著

松籟社

チェコスロヴァキアの民主化運動を牽引し、のちに大統領に就任したヴァーツラフ・ハヴェルの戯曲集。官僚組織に人工言語が導入される?末を描く「通達」、ビール工場で 上司が部下に奇妙な取引を持ち掛ける「謁見」を収録。 2022:1./ 245p 978-4-87984-416-3 ¥2,420〔稅込〕



読売新聞 2022/05/01



屈辱の数学史~A COMEDY OF MATHS ERRORS~

マット・パーカー、夏目 大著

山と渓谷社

現代人の生活は数学に依存している。インターネット、ビッグデータ、選挙、道路標識、宝くじ、オリンピック、古代ローマの暦…。数学のミスによる喜劇的、ときに悲劇的な事例の数々を皮肉たっぷりに紹介する。

読売新聞 2022/05/01、日本経済新聞 2022/05/07

2022:3./ 478p 978-4-635-31040-6 ¥3,190〔稅込〕





恋空~切ナイ恋物語~<上> 新装版(メディアワークス文庫 み 15-1)

美嘉 著

KADOKAWA

高校生の美嘉は、あるきっかけから同級生のイケメン・ヒロと知り合う。見た目は派手だが中身は誠実で真面目な彼に惹かれ、2人は恋人同士に。しかし、数々の衝撃的な出来事が美嘉を襲い…。美嘉直筆のポエム付き。

2021:12./ 346p 978-4-04-914173-3 ¥737〔税込〕

読売新聞 2022/05/08



恋空~切ナイ恋物語~<中> 新装版(メディアワークス文庫 み 15-2)

美嘉 著

KADOKAWA

恋人同士になった美嘉とヒロ。辛い出来事の数々を乗り越えていくが、突如ヒロは別れを告げ、2人は別の道を歩み始める。そんな中、美嘉はどこかヒロに似た大学生・優と出会い…。美嘉直筆のポエム付き。

2022:1./ 298p 978-4-04-914174-0 ¥737〔稅込〕

* 9 7 8 4 0 4 9 1 4 1 7 4 0 *

読売新聞 2022/05/08



恋空~切ナイ恋物語~<下> 新装版(メディアワークス文庫 み 15-3)

美嘉 著

KADOKAWA

年上の恋人・優と幸せな時間を過ごす美嘉。そんな矢先にノゾムから告げられたのは、 ヒロが病に侵されているという衝撃の事実。美嘉に突然別れを告げた、ヒロの本当の想 いが明かされ-。美嘉直筆のポエム付き。 2022:2./ 276p 978-4-04-914175-7 ¥737〔税込〕

* 9 7 8 4 0 4 9 1 4 1 7 5 7 *

読売新聞 2022/05/08



水納島再訪

橋本 倫史 著

講談社

沖縄のやんばるにある小さな離島・水納島。開拓から戦争、産業、海洋博、そして現在までを、再訪を重ねてきた気鋭のライターが綴ったノンフィクション・エッセイ。『群像』連載を加筆し書籍化。

2022:2./ 236p 978-4-06-526939-8 ¥1,760〔稅込〕

読売新聞 2022/05/08



雨心中(集英社文庫 ゆ 5-29)

唯川 恵/唯川 恵 著

集英社

実の姉弟のように身を寄せ合って生きてきた、施設育ちの芳子と周也。周也を甘やかし、駄目にしてきたのは自分だと芳子はわかっていた。そう、周也が「罪」を犯した時でさえ…。究極の恋愛小説。

読売新聞 2022/05/08

2022:3./ 372p 978-4-08-744361-5 ¥858〔稅込〕



走ることについて語るときに僕の語ること(文春文庫)

村上 春樹 著

文芸春秋

走ることについて語りつつ、小説家としてのありよう、創作の秘密、そして「彼自身」 を初めて説き明かした画期的なメモワール。

2010:6./ 262p 978-4-16-750210-2 ¥737〔稅込〕



読売新聞 2022/05/08



出発点~1979~1996~

宮崎駿 著

徳間書店

アニメーション映画監督・宮崎駿の書いたエッセイ、企画書、演出覚書、司馬遼太郎ら との対談、インタビュー等90本を収録。また互いに日本のアニメを進化させてきた高 畑勲が、素顔の宮崎駿を綴る。

1996:7./ 580p 978-4-19-860541-4 ¥2,860〔稅込〕



読売新聞 2022/05/08



シリーズ<日本語の語彙><6> 近代の語彙(2)

佐藤 武義 編

朝倉書店

日本語語彙の変遷を歴史的・地理的にたどる。6 は全国各地の方言による伝達の困難を 克服するために、規範性をもつ用語、すなわち国家の決定した日本語のできるまでの実 態と、国定教科書の用語と東京語との相互影響を解明する。

2022:3./ 10p,193p,8p 978-4-254-51666-1 ¥4,070〔稅込〕



読売新聞 2022/05/08



私の好きな孤独(潮文庫 お-2)

長田弘 著

潮出版社

何もすることがないときは、言葉で旅をする。一冊の本と一杯のコーヒー。騒がしい街 の店のかたすみに座って、一人ぶんの沈黙を探す-。日々の付きあい、なりわいの内に ひそむ明るい孤独と静けさのなかへと誘う、緑陰の書。

2022:4./ 287p 978-4-267-02340-8 ¥990〔税込〕



読売新聞 2022/05/08



女の子の謎を解く

三宅香帆 著

笠間書院

男女逆転モノが少女漫画に多いのはなぜか。なぜ大人数のアイドルが流行ったのか。小 説や漫画、ドラマ、映画、アイドルに描かれる「ヒロイン」を読み解き、今の世の中を

考察する。文春オンラインほか掲載を加筆し書籍化。

978-4-305-70950-9 ¥1,650〔稅込〕

2021:11./ 281p

読売新聞 2022/05/08



成功者 K(河出文庫 は 12-5)

羽田 圭介 著 河出書房新社

ある朝目覚めると K は有名人になっていた。世界は夢のように一変したが、めくるめく 日々は、不気味な迷宮への入口だった...。成功者の恍惚と不安を"ありのまま"作品化し た怪作。

2022:4./ 363p 978-4-309-41881-0 ¥924〔稅込〕

読売新聞 2022/05/08



はじめてのトライアスロン(幻冬舎新書 く-5-5)

倉阪鬼一郎 著 幻冬舎

46歳まで運動経験皆無、52歳までカナヅチだった著者によるトライアスロン入門書。 オリンピック・ディスタンスの大会で完走するまで、どんなステップアップをしていっ たのかをわかりやすく伝える。

2022:3./ 263p 978-4-344-98647-3 ¥1,034〔稅込〕

読売新聞 2022/05/08



ホモ・エコノミクス~「利己的人間」の思想史~(ちくま新書 1637)

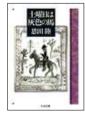
重田 園江著

筑摩書房

富の追求が経済の自明なあり方になったのはどうしてなのだろう? 「金儲け」が道徳的 に蔑まれた古代・中世から、「自己利益の追求」が当たり前の価値となった現代まで を、思想史の視座から解明する。

2022:3./ 317p 978-4-480-07464-5 ¥1,034〔稅込〕

読売新聞 2022/05/08



土曜日は灰色の馬(ちくま文庫 お 74-1)

恩田 陸著

筑摩書房

顔は見えないけれど、おはなしの神様は確かにいる-。さまざまな物語を書き分ける小 説家・恩田陸が大好きな小説、少女漫画、映画などについて、自身の遍歴とともに語る エッセイ集。

2020:3./ 289p 978-4-480-43647-4 ¥792〔稅込〕

読売新聞 2022/05/08



ドライブイン探訪

橋本 倫史 著

筑摩書房

道路沿いにひっそりと佇むドライブイン。クルマ社会、外食産業の激変を受けながら、 ドライバーたちに食事を提供し続けた人々の人生と思いに迫る。『月刊ドライブイン』 連載を加筆し書籍化。

読売新聞 2022/05/08

2019:1./ 315p 978-4-480-81850-8 ¥1,870〔稅込〕





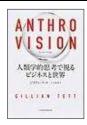
新しい世界の資源地図~エネルギー・気候変動・国家の衝突~

ダニエル・ヤーギン 著

東洋経済新報社

地政学とエネルギー分野の劇的な変化によって、どのような世界地図が形作られようとしているのか。エネルギー問題の世界的権威が、エネルギー革命と気候変動との闘い、 環境問題をめぐる各国の動きを鋭く分析する。 2022:1./ 9p,536p,51p 978-4-492-44466-5 ¥3,520〔稅込〕

読売新聞 2022/05/08



ANTHRO VISION~人類学的思考で視るビジネスと世界~

ジリアン・テット 著

日本経済新聞出版社

なぜ経済学やビッグデータ分析は問題解決に失敗するのか。社会科学とデータサイエンスの融合で人類学的知見が果たすべき役割とは。「虫の目」で世界を視て「鳥の目」で 集めた情報と組み合わせる「人類学的視野」を紹介する。 2022:1./ 353p 978-4-532-32448-3 ¥2,420〔税込〕

読売新聞 2022/05/08



あのひととここだけのおしゃべり~よしながふみ対談集~(白泉社文庫 よ-4-9)

よしなが ふみ 著

白泉社

語れども語れども…。マンガ界の名手・よしながふみが、萩尾望都、志村貴子、羽海野チカ、堺雅人らとマンガについて語り合った対談集。ファン垂涎の貴重な話が満載。

2013:5./ 375p 978-4-592-89027-0 ¥869〔税込〕

* 9 7 8 4 5 9 2 8 9 0 2 7 0 *

読売新聞 2022/05/08



最高の敵~冷戦最後のふたりのスパイ~

ガス・ルッソ/エリック・デゼンホール 著 ハーパーコリンズ・ジャパン

米ソ冷戦下、CIA と KGB のスパイに生まれた"大胆不敵"な友情。その固い絆は、やがて世界を揺るがす二重スパイ摘発という事件の引き金となり…。激動の時代を駆け抜けた型破りな男たちの 40 年におよぶ軌跡を描く。

2022:3./ 460p 978-4-596-42758-8 ¥3,080〔稅込〕

読売新聞 2022/05/08



給料はあなたの価値なのか~賃金と経済にまつわる神話を解く~

ジェイク・ローゼンフェルド 著 みすず書房

給料の額=市場価値なのか。なぜ年収は増えず、仕事によって収入格差が生まれるのか。様々な企業・業界の実態調査に基き、世にはびこる誤解を正し、公平な賃金制度への道筋を示す。コロナ危機を踏まえた「エピローグ」も収録。

読売新聞 2022/05/08

2022:2./ 260p,50p 978-4-622-09055-7 ¥3,960〔稅込〕

* 9 7 8 4 6 2 2 0 9 0 5 5 7 *



古本食堂

原田 ひ香 著 角川春樹事務所

本が好きだという想いは強いが、進路に悩む国文科の学生、美希喜。そんな時、大叔父の古書店を、彼の妹の珊瑚さんが継ぐことに。美希喜は珊瑚さんの手伝いをするようになり…。『ランティエ』連載を改題、加筆修正し単行本化。

2022:3./ 290p 978-4-7584-1416-6 ¥1,760〔稅込〕

読売新聞 2022/05/08



それを読むたび思い出す

三宅香帆 著

青土社

幼かったときの言葉の記憶、地元・高知との距離感、京都で過ごした青春時代、東京で働きながら文章を書く日々、書くことと誰かの孤独に寄り添うこと…。本とともに生きる気鋭の書評家による、自伝的エッセイ集。

2022:2./ 193p 978-4-7917-7442-5 ¥1,540〔税込〕

読売新聞 2022/05/08



野生動物の法獣医学~もの言わぬ死体の叫び~

浅川 満彦 著地人書館

大量死、中毒死、虐待が疑われる不審死…。様々な動物で「剖検」の記録を積み重ねてきた著者が、獣医学においても人間社会の法医学に相当する分野が必要だと主張する。動物の死体の写真あり。

2021:12./ 254p 978-4-8052-0957-8 ¥1,980〔税込〕

読売新聞 2022/05/08



天才たちの日課<女性編> 自由な彼女たちの必ずしも自由でない日常

メイソン・カリー 著 フィルムアート社

草間彌生、フリーダ・カーロ、ヴァージニア・ウルフ、ミランダ・ジュライ…。創作の妨げに直面する毎日を乗り越えてきた天才女性 **143** 人のフラストレーションや妥協、後悔、覚悟、そして希望に満ちた日常を紹介する。

2019:9./ 405p,23p 978-4-8459-1637-5 ¥1,980〔稅込〕



読売新聞 2022/05/08



フィールド・レコーディング入門~響きのなかで世界と出会う~

柳沢 英輔 著

フィルムアート社

木々のざわめきに、都市の喧騒に、民族音楽の背後に、固体を伝う振動に、水中の音環境に、何を聞き取ることができるのか。実践と鑑賞を通じて、音の可能性を拡張する音響文化論。音源が聴ける QR コード付き。

読売新聞 2022/05/08

2022:4./ 302p 978-4-8459-2124-9 ¥2,640〔稅込〕





東京の古本屋

橋本倫史 著

本の雑誌社

開発、オリンピック、感染症-。揺れ動く東京で商いを続ける 10 軒の古本屋に 3 日間密着し、その仕事と暮らしを記録するルポルタージュ。WEB『本の雑誌』連載を書籍化。

2021:10./ 343p 図版 8 枚 978-4-86011-462-6 ¥2,200〔税込〕



読売新聞 2022/05/08



人生を狂わす名著 50

三宅 香帆 著

ライツ社

京大院生の書店スタッフが、社会や世界に流されることのなくなる本 50 冊を紹介。本の予備知識、人生を狂わすフレーズ、次に読むおすすめ本などを掲載。「天狼院書店」のウェブ掲載記事をもとに書籍化。見返しに記事あり。

2017:9./ 392p 978-4-909044-06-8 ¥1,760〔稅込〕

読売新聞 2022/05/08



中国経済の謎~なぜバブルは弾けないのか?~

トーマス・オーリック/藤原 朝子 著

ダイヤモンド社

いま最も優れた資本主義経済の担い手は「中国共産党」である-。中国政府は、世界金融危機や株バブルの崩壊、不動産市場の不安、シャドーバンクの台頭などをどのように乗り越えたのか? 現代中国の経済史を詳細に解説する。

2022:3./ 334p 978-4-478-11341-7 ¥1,980〔税込〕

読売新聞 2022/05/08、日本経済新聞 2022/05/28



おんなの女房

蝉谷 めぐ実 著

KADOKAWA

歌舞伎を知らないままに、喜多村燕弥のもとへ嫁いだ武家の娘・志乃。夫となった燕弥は評判の女形。家でも女としてふるまう夫を前に落ち着ける場所がわからない志乃は…。やがて惹かれあう夫婦を描くエモーショナルな時代小説。

2022:1./ 269p 978-4-04-111442-1 ¥1,815〔税込〕

読売新聞 2022/05/15



海蝶〜海を護るミューズ〜(講談社文庫 よ 45-6)

吉川 英梨 著

講談社

女性初の潜水士として注目を集める、横浜海上保安部所属・忍海愛。兄は特殊救難隊、 父もベテラン海保潜水士で血筋は折り紙付き。そんな愛を待ち受けていたのは、とんで もない事件だった…。挑戦と勇気の物語。

読売新聞 2022/05/15

2022:4./ 433p 978-4-06-527612-9 ¥924〔稅込〕





編集者という病い(集英社文庫)

見城 徹 著 集英社 読売新聞 2022/05/15 2009:3./ 347p 978-4-08-746418-4 ¥748〔税込〕



アントワネット

ロベルト・ヴェラーヘン/ 國森 由美子 著 集英社

几帳面な「ぼく」と自由なアントワネットは、愛に満ちた理想の二人だった。子供に恵まれないことをのぞいては。原因が不明のまま時はいたずらに過ぎ、夫婦の間の亀裂は少しずつ広がっていき...。

2022:1./ 156p 978-4-08-773516-1 ¥1,870〔稅込〕

読売新聞 2022/05/15



その名を暴け〜#MeToo に火をつけたジャーナリストたちの闘い〜(新潮文庫カ-34-1)

ジョディ・カンター/ミーガン・トゥーイー 著

新潮社

映画界で「神」とも呼ばれた有名プロデューサー、ハーヴェイ・ワインスタインは、長年、女優や女性従業員に権力を振りかざし、性的暴行を重ねてきた。その実態を炙り出し、世界を動かした調査報道の軌跡を描く。

2022:5./ 603p 978-4-10-240181-1 ¥1,045〔税込〕



読売新聞 2022/05/15



津田梅子~科学への道、大学の夢~

古川 安著

東京大学出版会

優れた生物学研究者だった津田梅子。一次史料にもとづいて、科学史の視点からこれまでの伝記とは異なる津田梅子像を描出し、梅子と科学の関わりを、当時の日本の科学・教育・社会の文脈から分析。その意味を考察する。

2022:1./ 2p,198p,12p 978-4-13-023078-0 ¥3,080〔税込〕



読売新聞 2022/05/15



ひとりの双子

ブリット・ベネット 著

早川書房

アメリカ南部の故郷をいっしょに飛び出した 16歳の双子。やがて姉のデジレーは失意のうちに貧しい町に帰るが、妹のステラは白人になりすまし、裕福に暮らす。つながりは切れたかに見えた。あの日までは-。

読売新聞 2022/05/15

2022:3./ 478p 978-4-15-210090-0 ¥2,310〔税込〕





石原慎太郎短編全集<1>

石原 慎太郎 著

幻冬舎

研ぎ澄まされた「文学」の刃、抉り出される人間の業-。1993年以降に発表された石原慎太郎の秀作を厳選した短編全集。1は、「聖餐」「山からの声」「沢より還る」「わが人生の時の生と死」など全11編を収録。

2021:12./ 446p 978-4-344-03891-2 ¥3,300〔税込〕

読売新聞 2022/05/15



石原慎太郎短編全集<2>

石原 慎太郎 著

幻冬舎

研ぎ澄まされた「文学」の刃、抉り出される人間の業-。1993年以降に発表された石原慎太郎の秀作を厳選した短編全集。2は、「青木ケ原(完全版)」「やや暴力的に」「僕らは仲が良かった」など全18編を収録。

2021:12./ 510p 978-4-344-03892-9 ¥3,630〔稅込〕

読売新聞 2022/05/15



永遠の仔<1> 再会(幻冬舎文庫)

天童 荒太 著

幻冬舎

霊峰の頂上で神に救われると信じた少女・久坂優希と二人の少年は、下山途中優希の父を憑かれたように殺害する。十七年後、再会した三人を待つのは......。

2004:9./ 396p 978-4-344-40571-4 ¥781〔税込〕

読売新聞 2022/05/15



ブックセラーの歴史〜知識と発見を伝える出版・書店・流通の 2000 年〜

ジャン=イヴ・モリエ 著

原書房

知識や情報の集積であり、思考と記憶を深めるツールとして、時代や地域を超えて伝わってきた書籍は、どのように人から人へと受け渡され、交換、販売されてきたのか。書籍販売業の長い歴史を、多数の事例とともにたどる。

2022:2./ 357p 978-4-562-05976-8 ¥4,620〔税込〕

読売新聞 2022/05/15



星守る犬

村上 たかし 著

双葉社

朽ち果てた車中で寄り添うように亡くなっていた男性と1匹の犬。そこは、残された僅かな時を生き抜いた哀しくも愉快な旅の終着点。

読売新聞 2022/05/15

2009:7./ 124p 978-4-575-30143-4 ¥838〔税込〕





ピノ:PINO

村上たかし 著

双葉社

世界で初のシンギュラリティに到達した AI を搭載した、量産型人型ロボットのピノ。 ある貧民街で認知症のおばあさんの介護をしていたピノにコンピューターウイルスが侵 入し…。『漫画アクション』連載を単行本化。

2022:3./ 323p 978-4-575-31708-4 ¥1,210〔稅込〕



読売新聞 2022/05/15



テレビの「すごい!」を 10 年記録~バラエティー番組 2012?22 年の定点観測

松田健次 著

双葉社

テレビはどんな番組を作ってきたのか? 現役放送作家による 2012?22 年のバラエティ 一番組批評。「すごい!」と思った番組を多数取り上げ、テレビ激動の10年を綴る。 『読売新聞』連載を単行本化。

2022:4./ 277p 978-4-575-31713-8 ¥2,035〔稅込〕



読売新聞 2022/05/15



いかにして問題をとくか 第 11 版

ポリア, G. 著

丸善出版

未知の問題に出会った場合どのように考えたらよいか,??問題を解くすじみちを,数学 者として著名なポリア教授が,やさしい数学を例にとって興味深く説明.新しい創造力 に富んだ発想法、考え方を本書はあざやかに示す.

1975:4./ 248p 978-4-621-04593-0 ¥1,650〔稅込〕



読売新聞 2022/05/15



パッシング/流砂にのまれて

ネラ・ラーセン 著

みすず書房

黒人文化が開花し、街にジャズとダンスが溢れた 1920 年代のニューヨーク。混血ゆえ 肌の白い黒人が白人になりすまして生きる姿を描いた「パッシング」と「流砂にのまれ て | の全 2 編を収録。ハーレム・ルネサンスの傑作小説。

2022:3./ 411p 978-4-622-09074-8 ¥4,950〔稅込〕



読売新聞 2022/05/15



ハッと驚くお弁当づくり(ハルキ文庫 こ 14-1)

小林 カツ代 著

角川春樹事務所

冷めても美味しいレシピが満載! お弁当づくりの基本とコツが詰まった、小林カツ代の 「読むレシピ本」が、小林の弟子で家庭料理家として活躍する本田明子の監修で復活。 本田によるおまけのレシピも掲載する。

読売新聞 2022/05/15

2022:4./ 263p 978-4-7584-4471-2 ¥924〔稅込〕





アリたちの美しい建築

ウォルター・R・チンケル 著

青土社

アリの巣に設計図はあるのか? 巣の構造は種によってどう異なるのか? 巣は環境にどんな影響を与えるのか? アリの巣にまつわる疑問を掘り下げ、地球上で最も成功した生き物についての科学的発見と博物学的知識を提供する。

2022:2./ 307p,14p 978-4-7917-7448-7 ¥3,300〔稅込〕

読売新聞 2022/05/15



言葉の周圏分布考(インターナショナル新書 099)

松本 修 著

集英社インターナショナル

全国市町村アンケートから作成した 50 枚超のカラー方言分布図を掲載し、楽しく深く解説。「源氏物語」の「戻る」の謎を解く壮大な知の旅に誘い、京都を中心に同心円を描く分布図で日本語の「周圏分布」についても論じる。

2022:4./ 301p 978-4-7976-8099-7 ¥1,430〔税込〕

読売新聞 2022/05/15

近代中国と海関

岡本 隆司 著

名古屋大学出版会

西洋近代と中国はどういった関係にあるのか。ふたつの交渉の場であった海関制度を軸として、16.20世紀にわたる中国の国家構造とその変遷を、西洋近代モデルによる枠組を批判しつつ実証的に解明する。

1999:1./ 607,81p 978-4-8158-0357-5 ¥10,450〔税込〕



読売新聞 2022/05/15



属国と自主のあいだ〜近代清韓関係と東アジアの命運〜

岡本 隆司 著

名古屋大学出版会

従来注目されることの少なかった清韓関係を日本・アメリカ・イギリス・ロシアなどとの交渉の中で捉え、19世紀半ばから日清戦争にいたる東アジアの構造変動を、多言語にわたる徹底的な史料分析によって描き出した画期的書。

2004:10./ 487,24p 978-4-8158-0494-7 ¥8,250〔稅込〕

* 9 7 8 4 8 1 5 8 0 4 9 4 7 *

読売新聞 2022/05/15



中国の誕生~東アジアの近代外交と国家形成~

岡本 隆司 著

名古屋大学出版会

明治日本の登場から、琉球、ヴェトナム、朝鮮、チベット、モンゴルへと続く属国・藩部の再編を、沿海と草原オアシス世界の双方から?み、現代中国の原型が浮かび上がる過程を詳述。「中国」誕生の全体像に迫る。

読売新聞 2022/05/15

2017:1./ 11p,514p,33p 978-4-8158-0860-0 ¥6,930〔税込〕





明代とは何か~「危機」の世界史と東アジア~

岡本 降司 著

名古屋大学出版会

現代中国の原型をかたちづくり、東アジア史の転機ともなった「明代」。世界的危機の 狭間で展開した財政経済や社会集団のありようを描き、民間から朝廷まで全体を貫く構 造を鋭くとらえ、新たな時代像を提示する。

2022:5./ 12p,296p,14p 978-4-8158-1086-3 ¥4,950〔稅込〕



読売新聞 2022/05/15



アメリカ左派の外交政策

マイケル・ウォルツァー、萩原 能久 著 風行社

外交政策や安全保障政策について、決してよくは理解していないアメリカ左派。原理原 則を振り回し、口先だけのきれいごとですまそうとする左派を批判しながら、左派にと っての対外政策の理念を提示する。

2018:11./ 8p,266p,11p 978-4-86258-114-3 ¥3.850〔稅込〕



読売新聞 2022/05/15



聖徒の革命~急進的政治の起源~

マイケル・ウォルツァー 著

風行社

ウォルツァー初期の大著の完訳。イギリス革命を主題に、近代の急進的な革命政治を準 備することになった政治思想としてピューリタニズムに焦点を当て、その具体的内実を 論じるとともに、近代化のイデオロギーとして描出する。

2022:3./ 7p,493p,18p 978-4-86258-141-9 ¥8.250〔稅込〕



読売新聞 2022/05/15

弟(幻冬舎文庫)

石原 慎太郎 著

幻冬舎

栄光と比例するように襲いかかる病魔との闘いの日々。たった一人の弟・石原裕次郎の 光と影を秘められたエピソードで描く石原文学、最初で最後の私小説。ミリオンセラー 待望の文庫化。

1999:6./ 430p 978-4-87728-736-8 ¥825〔稅込〕



読売新聞 2022/05/15



議員外交の世紀~列国議会同盟と近現代日本~

伊東 かおり 著

吉田書店

主権国国会議員の国際組織「列国議会同盟(IPU)」に加入した日本と、組織との関りを 検討。19世紀後半にヨーロッパで誕生した多国間議員外交を日本が受容した経緯と、 IPU を通じた議員の様々な国際活動を明らかにする。

読売新聞 2022/05/15

2022:3./ 283p,5p 978-4-910590-02-8 ¥4,400〔稅込〕





正しい戦争と不正な戦争

マイケル・ウォルツァー、萩原 能久 著風行社

「戦争は緊急事態だから何でもあり」という軍事的リアリズムに抗し、他方で絶対平和 主義も採らずギリギリまで道徳を貫きつつリアルに戦争を見つめ、その重みと責任に耐 えようとするウォルツァーの代表作。 2008:11./ 605,16p 978-4-938662-44-8 ¥4,400〔税込〕

読売新聞 2022/05/15

夕べの雲(講談社文芸文庫)

庄野 潤三 著

講談社

何もさえぎるものない丘の上の新しい家。主人公はまず"風よけの木"のことを考える。 家の団欒を深く静かに支えようとする意志。季節季節の自然との交流を詩情豊に描く、 読売文学賞受賞の名作。 1988:4./ 325p 978-4-06-196015-2 ¥1,430〔稅込〕



読売新聞 2022/05/22



明夫と良二(講談社文芸文庫 し A14)

庄野 潤三 著

講談社

磊落な浪人生の兄と、気立ての優しい中学生の弟。ふたりのおかしみに満ちたやりとりを見守る姉は、間もなく嫁いでゆく…。作家一家の何気ない一瞬に焼き付けられた、はかなく移ろいゆく幸福なひとときを描いた家族小説の傑作。

2019:2./ 311p 978-4-06-514722-1 ¥1,980〔稅込〕



読売新聞 2022/05/22



焦土の刑事(講談社文庫 と 55-18)

堂場 瞬一 著

講談社

1945年東京大空襲の日、防空壕で女性の遺体が発見される。首には刃物による切り傷が。犯罪として捜査を進める京橋署刑事の高峰だが、署長から「空襲の被害者だ」と言われる。殺人事件のもみ消し、そしてまた殺人が起き…。

2022:4./ 484p 978-4-06-527653-2 ¥990〔稅込〕



読売新聞 2022/05/22



百舌落とし<上>(集英社文庫 お 16-24)

逢坂 剛/逢坂 剛 著

集英社

元民政党の議員が殺された。現役を退いた彼の殺害理由は何か。探偵となった元警視庁の大杉、彼の娘で現役警官のめぐみ、公共安全局にいる倉木美希はそらぞれ独自に捜査を始める-。MOZUシリーズ完結。

読売新聞 2022/05/22

2022:3./ 271p 978-4-08-744358-5 ¥726〔稅込〕





百舌落とし<下>(集英社文庫 お 16-25)

逢坂 剛/逢坂 剛 著

集英社

元議員殺害を皮切りに続く事件と、現場に残された百舌の羽根。捜査を進めるうちに浮 かび上がって来たのは、軍事技術の極秘開発が疑われる、とある研究機関だった-。真 の黒幕はいったい誰なのか。MOZU シリーズ完結。

2022:3./ 294p 978-4-08-744359-2 ¥726〔稅込〕

読売新聞 2022/05/22



ミシンと金魚

永井 みみ 著 集英社

「みっちゃん」たちから介護を受けて暮らす認知症を患うカケイ。今までの人生しあわ せだったかと、みっちゃんの一人から尋ねられ...。暴力と愛情、諦念と悔悟。絡まりあ う記憶の中から語られる、凄絶な「女の一生」。

2022:2./ 138p 978-4-08-771786-0 ¥1,540〔稅込〕



読売新聞 2022/05/22



プールサイド小景・静物 改版(新潮文庫)

庄野 潤三 著 新潮社 読売新聞 2022/05/22 2002:5./ 318p 978-4-10-113901-2 ¥605〔稅込〕



死の棘 改版(新潮文庫)

島尾 敏雄著

新潮社

思いやりの深かった妻が、夫の〈情事〉のために突然神経に異常を来たした。狂気のと りことなって憑かれたように夫の過去をあばきたてる妻。ひたすら詫び、許しを求める 夫。日常の平穏な刻は止まり、現実は砕け散る。狂乱の果てに妻はどこへ行くのか?-ぎりきりまで追いつめられた夫と妻の姿を生々しく描き、夫婦の絆とは何か、愛とは何 かを底の底まで見据えた凄絶な人間記録。

2003:2./ 620p 978-4-10-116403-8 ¥924〔稅込〕



読売新聞 2022/05/22



百歳いつまでも書いていたい~小説家・瀬戸内寂聴の生きかた~(NHK 出版新 書 672)

瀬戸内 寂聴 著

NHK出版

「生きているかぎり、書き続ける。だって、それが楽しいから」 小説家で僧侶の瀬戸 内寂聴が 1998 年から 2021 年にかけて出演した NHK ラジオ番組での「語り」を再構成 し書籍化。その肉声を再現する。

読売新聞 2022/05/22

2022:3./ 231p 978-4-14-088672-4 ¥968〔稅込〕





フェイスブックの失墜

シーラ・フレンケル/セシリア・カン 著

早川書房

フェイスブック(現 Meta)社内には、交わることのないふたつの指揮系統が存在する。人 と人をつなぐ同社の至上命題をめぐる、両陣営の対立とは。400人以上の関係者の証言 を基に、ビッグ・テックの「醜い真実」を暴く。

2022:3./ 394p 978-4-15-210094-8 ¥2,420〔稅込〕

読売新聞 2022/05/22



坂の上の雲<1> 新装版(文春文庫)

司馬 遼太郎 著

文芸春秋

松山出身の歌人正岡子規と軍人の秋山好古・真之兄弟の三人を軸に、維新から日露戦争 の勝利に至る明治日本を描く大河小説。

1999:1./ 350p 978-4-16-710576-1 ¥803〔稅込〕

読売新聞 2022/05/22



看守の信念

城山 真一 著

宝島社

模範囚の失踪、集団食中毒事件、火の気のないところで起きた火災...。刑務官たちの信 念が問われる事件たち。その時、敏腕刑務官・火石に不穏な噂が-。人間ドラマ×刑務所 ミステリー。

2022:3./ 353p 978-4-299-02644-6 ¥1,760〔稅込〕

読売新聞 2022/05/22



折れない心を育てる仏教語〜悩みが気づきに変わる80のヒント〜(河出文庫 ま 14-4)

枡野 俊明 著

河出書房新社

大丈夫、有り難い、自由、どっこいしょ...。毎日の暮らしに溶け込んだ意外な仏教由来 の言葉を、禅僧の教えとともに80語紹介する。人生の支えとなる仏教語が満載。

2022:4./ 197p 978-4-309-41884-1 ¥715〔稅込〕

読売新聞 2022/05/22

読売新聞 2022/05/22



年中行事百科~有職故実から学ぶ~

八條忠基 著

淡交社

元日節会、土用丑、十三夜、着袴、直衣始...。総数 130 以上の日本の年中行事・通過儀 礼を、文献資料や図版を交えてその起源からひもとく。有識の食材図鑑、平安の食器図 鑑なども収録。

2022:1./ 239p 978-4-473-04489-1 ¥2,640〔稅込〕





縄文と世界遺産~人類史における普遍的価値を問う~(ちくま新書 1646)

根岸 洋、根岸 洋 著 筑摩書房

2021年7月「北海道・北東北の縄文遺跡群」が世界遺産に加わった。海外にある同時代の世界遺産との比較などを通して、「縄文」を新たな視点から読み解く。さらに、「縄文」の人類史における普遍的価値について考える。

2022:4./ 223p,23p 978-4-480-07472-0 ¥924〔稅込〕

読売新聞 2022/05/22



有職装束大全

八條 忠基 著平凡社

朝廷・公家社会における服装「有職装束」をまとめる。史料を丹念にたどり、各時代の スタンダードといえる代表的な装束の決まりや着用例を、豊富な写真とともに紹介す 2018:6./ 319p 978-4-582-12432-3 ¥7,480〔稅込〕

読売新聞 2022/05/22



小さな平屋に暮らす~もしも私が家を建てるなら。~(別冊太陽)

る。装束の歴史や構成具、有職の色彩と文様も収録。

別冊太陽編集部 編

平凡社

風景に溶け込み、深い庇に守られた「家の原型」のように思える小さな平屋。歴史的名邸から、作家・庄野潤三邸、堀田善衞邸、「30坪」暮らしまで、その豊かな魅力を解き明かす。

2022:4./ 143p 978-4-582-94612-3 ¥1,760〔税込〕

読売新聞 2022/05/22



寝る脳は風邪をひかない

池谷 裕二 著

扶桑社

上流階級はモラルが低い? 脳、遺伝子、AI など最先端の科学の知見から、「科学的な発見とは何か」といった哲学的な問いまで楽しく綴ったエッセイ集。「脳には妙なクセがある」に続く書。『週刊エコノミスト』連載を書籍化。

2022:2./ 253p 978-4-594-09064-7 ¥1,760〔税込〕

読売新聞 2022/05/22



「加速思考」症候群~心をバグらせる現代病~

アウグスト・クリ 著

ハーパーコリンズ・ジャパン

急にデジタル化が進んだ現代、脳は休まることなく思考が加速し続け、若者から大人までつねに不安にさいなまれている。現代病、加速思考症候群のメカニズムをわかりやすく解説し、その対処法を説く。

読売新聞 2022/05/22

2022:4./ 191p 978-4-596-42890-5 ¥1,760〔稅込〕





日本の装束解剖図鑑~古代から現代までイラストで読み解く有職故実の世界~

八條 忠基 著 エクスナレッジ

朝廷や公家、武家の人びとが身にまとっていた「装束」に隠されたルーツや着こなし、 文様の意味、時代背景をオールカラーイラストで徹底解説。古代から現代に至るまでの 有職故実の世界を色鮮やかに紐解く。 2021:3./ 127p 978-4-7678-2861-9 ¥1,760〔税込〕

読売新聞 2022/05/22



鈴木英人 ALL TIMES 作品集

鈴木 英人 著

玄光社

山下達郎をはじめ「シティ・ポップ」の音楽ジャケット、ポスター、雑誌の表紙など、1980年代から幅広く活躍を続ける鈴木英人。40年を超えるキャリアの中から、代表作をセレクトしたベスト作品集。インタビューも収録。

2022:4./ 207p 978-4-7683-1614-6 ¥3,960〔稅込〕



読売新聞 2022/05/22



核の大分岐〜既存秩序の溶解か新規秩序の形成か〜

太田 昌克 著かもがわ出版

核軍縮・不拡散強化の国際協調に失敗する NPT 体制、インドとパキスタンの「二頂点 危機」、脅威が増大し続ける北朝鮮の核…。核の現代史を俯瞰し、「大きな分岐点に立 つ世界」を活写する。 2021:6./ 191p 978-4-7803-1159-4 ¥1,650〔稅込〕



読売新聞 2022/05/22



日米中枢 9 人の 3.11~核溶融 7 日間の残像~

太田 昌克 著かもがわ出版

10年過ぎたから語れる原発事故対応の深層とは。当時の日米両政府で政策決定の中枢にいた人物、事故収束の鍵を握った専門家を中心に9人の証言をストーリー仕立てで収録する。共同通信社の連載を書籍化。

2022:3./ 255p 978-4-7803-1209-6 ¥1,980〔稅込〕



読売新聞 2022/05/22



フランスの高校生が学んでいる 10 人の哲学者

シャルル・ペパン 著

草思社

理想主義者・プラトン、現実主義者・アリストテレス、革命的哲学者・カント、過激な思想家・フロイト…。フランスの人気哲学者が、ギリシャ時代から近代までの西欧哲学者 10 人をコンパクトかつ通史的に紹介する。

読売新聞 2022/05/22

2022:2./ 163p 978-4-7942-2557-3 ¥1,650〔稅込〕





本気出せばお前殺せる 1(ジャンプコミックス)

屋根裏 シスコ 著

集英社

倉橋桜子、18歳。控えめで大人しい大学1年生。厳格な家庭で育った彼女には、ある 秘密があった。「本気出せば誰だって殺せる」そんな圧倒的な強さを誇る桜子は恋に落 ちて…愛と真実のメロドラマが始まる!

2021:11./ 192p 978-4-08-882862-6 ¥660〔稅込〕

読売新聞 2022/05/29



本気出せばお前殺せる 2(ジャンプコミックス)

屋根裏 シスコ 著

集英社

倉橋桜子、18歳。圧倒的な強さを誇る大学1年生。決死の覚悟で告白をして、藤崎ト オルと付き合うことに! そんな二人に待ち構えていた困難とは...? 私らしく生きるため のメロドラマ、ここに完結!

2022:3./ 184p 978-4-08-883065-0 ¥693〔稅込〕

読売新聞 2022/05/29



恋する検事はわきまえない

直島 翔 著

小学館

特捜部初の女性検事・常盤春子は、着任早々、下水道事業の5社談合事件を任されるが ...。表題作など全4話+αを収めた連作短編集。「転がる検事に苔むさず」の続編。 『STORY BOX』掲載に書きおろしを加えて単行本化。

2022:3./ 266p 978-4-09-386636-1 ¥1.760〔稅込〕

読売新聞 2022/05/29



さっきまでは薔薇だったぼく

最果 タヒ 著

小学館

私はきみが好きではない、とあなたが言った、傷ついているのに、その傷口から芽が出 て花が咲くとおもい、ぼくはじっとしていた。(「冬の薔薇」より) 斬新な日本語が心に 沁みる最果タヒの詩集。

2022:4./ 93p 978-4-09-388856-1 ¥1,320〔稅込〕

読売新聞 2022/05/29



怪異猟奇ミステリー全史(新潮選書)

風間 賢二 著

新潮社

心霊主義、疑似科学、進化論・退化論、エログロ・変態性欲など、西洋のあらゆる奇想 から生まれた日本のミステリー。ポーからドイル、乱歩、京極夏彦へ、連綿と受け継が れるその流れを、あらゆる学問・思想をスパイスに語る。

読売新聞 2022/05/29

2022:1./ 271p 978-4-10-603875-4 ¥1,650〔稅込〕





一汁一菜でよいと至るまで(新潮新書 950)

土井 善晴 著

新潮社

レストランで食べるものと区別し、家庭では簡素なものを食べればよい「一汁一菜」ス タイルを築いた料理研究家・土井善晴。父と同じ道を歩み、家庭料理の斬新なスタイル を構築するまでの道のりを綴る。『波』連載を新書化。

2022:5./ 238p 978-4-10-610950-8 ¥902〔稅込〕



読売新聞 2022/05/29



日本の国会議員~政治改革後の限界と可能性~(中公新書 2691)

濱本 真輔/濱本 真輔 著

中央公論新社

見えにくい国会議員の活動・役割。人材、選挙、政策形成、価値観、資金、国際比較な ど、あらゆる観点から国会議員の実態をデータに基づいて描く。多くの問題と原因を指 摘し、日本政治に何が必要か、改革の方向性を示す。

2022:4./ 7p,282p 978-4-12-102691-0 ¥990〔稅込〕



読売新聞 2022/05/29



開化の殺人~大正文豪ミステリ事始~(中公文庫 ち 8-11)

中央公論新社 編 江戸川 乱歩 著 中央公論新社

阿片に溺れた友人の謎、遺書が語る恋と殺人、妻への妄執が生んだ惨劇-。大正7年刊 行の幻のミステリ特集『中央公論 秘密と開放号』掲載の作品を中心に創作7篇、随筆 2篇を収録したアンソロジー。

2022:3./ 317p 978-4-12-207191-9 ¥924〔稅込〕



読売新聞 2022/05/29



世界を変えた 12 の時計~時間と人間の 1 万年史~

デイヴィッド・ルーニー 著

河出書房新社

より精密で正確な時を安定的に刻むための技術が生まれるたびに、時計が刻む「時間| は人間の暮らしをどう変えてきたのか。時計が登場して以来の文明の歴史の一端を、日 時計から原子時計まで、12の時計を中心に語る。

2022:2./ 294p,31p 978-4-309-22844-0 ¥2,970〔稅込〕



読売新聞 2022/05/29



真似のできない女たち~21 人の最低で最高の人生~(ちくま文庫)や 57-1)

山崎 まどか 著 筑座書房

路上で死んだフォーク・シンガー、アーティストたちを虜にした美神、ソフトコア・ポ ルノ映画の女性監督...。己の人生を思う存分、燃えるように生き抜いた女性たちの姿を 紹介する。書き下ろしを加えて文庫化。

読売新聞 2022/05/29

2022:4./ 253p 978-4-480-43731-0 ¥924〔稅込〕



あの図書館の彼女たち

ジャネット・スケスリン・チャールズ 著 東京創元社

1939年パリ。20歳のオディールは、アメリカ図書館の司書に採用された。彼女は熱心 に仕事に取り組むが、やがてドイツとの戦争がはじまり...。人々にかけがえのない本を 届け続けた、図書館員たちの勇気と絆を描く。

2022:4./ 460p 978-4-488-01113-0 ¥2,420〔稅込〕

読売新聞 2022/05/29



<洗う>文化史~「きれい」とは何か~

国立歴史民俗博物館/花王株式会社 編 吉川弘文館

私たちはなぜ「洗う」のか。古代?現代の様々な事例を取り上げ、文献・絵画・民俗資 料から分析。日本人にとって「きれい」とは何かを考え、現代の清潔志向の根源を探 る。国立歴史民俗博物館と花王株式会社の共同研究の成果。

2022:2./ 8p,211p 978-4-642-08406-2 ¥2,420〔稅込〕

読売新聞 2022/05/29



谷川俊太郎詩集(にほんの詩集)

谷川 俊太郎 著 角川春樹事務所

昭和、平成、令和の三時代を通して第一線で活躍を続ける国民的詩人・谷川俊太郎の自 選詩集。「生きる」「朝のリレー」「さよならは仮のことば」などのほか、初期詩篇や 未刊詩篇も収録。覚和歌子による巻末エッセイ付き。

2022:4./ 159p 978-4-7584-1397-8 ¥1.980〔稅込〕

読売新聞 2022/05/29



長田弘詩集(にほんの詩集)

長田 弘 著 角川春樹事務所

誰の心の中にもある風景や人生を、平易な言葉で美しくすくいとる詩人・長田弘。「最 初の質問 | 「おおきな木 | など、身近なもの・ことを題材に、安らぎと深い思索を与え てくれる詩の数々を収録。東直子による巻末エッセイ付き。

2022:4./ 159p 978-4-7584-1398-5 ¥1,980〔稅込〕

読売新聞 2022/05/29



中島みゆき詩集(にほんの詩集)

中島 みゆき 著 角川春樹事務所

時代に向き合い、愛すること、生きること、そして生きていくために必要なものについ て問い続けるシンガーソングライター中島みゆき。「糸」「時代」など人生の詩そのも のである作品を収めた詩集。桜木紫乃の巻末エッセイ付き。

読売新聞 2022/05/29

2022:4./ 157p 978-4-7584-1399-2 ¥1,980〔稅込〕





死んでしまう系のぼくらに

最果 タヒ 著

リトル・モア

恋がぼくを殺しにきました。うつくしい風が、ほほを撫でる。(「ライブハウスの詩」より) 鋭利かつ叙情的な言葉で?き出しの感情と誰もが抱える孤独を浮き彫りにする、書き下ろしを含む 44 篇を収録。

2014:9./ 95p 978-4-89815-389-5 ¥1,320〔税込〕

読売新聞 2022/05/29



共有地をつくる~わたしの「実践私有批判」~

平川克美 著

ミシマ社

競争社会を駆動している無際限な私有化をやめて、本来、社会の共有物であるべきものを元のとおり共有物に戻そう-。現代社会を隘路に追い込んでいる「私有制」を論理的に批判し、非私有的な生き方への可能性を探る。

2022:2./ 223p 978-4-909394-63-7 ¥1,980〔税込〕

読売新聞 2022/05/29



高度成長期からポスト冷戦期の外交・安全保障〜国際秩序の担い手への道〜 (外交証言録)

竹内 行夫/中北 浩爾/若月 秀和/蔵前 勝久 著

岩波書店

高度成長期からポスト冷戦期へと至る過程において、誰が、何を、どのように決定して きたのか。日本のあり方をめぐって、何が問われてきたのか。数多くの課題に直面して きた元事務次官が、舞台裏を克明に明かす。 2022:4./ 11p,474p 978-4-00-022978-4 ¥7,480〔税込〕

* 9 7 8 4 0 0 0 2 2 9 7 8 4 *

読売新聞 2022/05/29、読売新聞 2022/05/29

新編 東洋的な見方(岩波文庫 青 323-2)

上田 閑照 編

鈴木 大拙 著

岩波書店

鈴木大拙(1870-1966)の最晩年-驚くべし、90 歳前後-に書かれた思想的エッセイを収録した『東洋的な見方』を中心に、同時期の好文章を加えて再編成。世界にとって失われてはならない「東洋のよきもの」とは何か-文字通り世界に出て西洋を自らの生活世界とした著者が、身をもって探求しつつ生きたそのドキュメント。

1997:4./ 350p 978-4-00-333232-0 ¥1,067〔稅込〕

日本経済新聞 2022/05/07



タリバン台頭~混迷のアフガニスタン現代史~(岩波新書 新赤版 1920)

青木 健太 著

岩波書店

「テロとの戦い」において「敵」だったはずのタリバンが、再びアフガニスタンで政権 を掌握した。なぜタリバンは民衆たちに支持されたのか。恐怖政治で知られたタリバン の多面性に光を当て、現代世界の矛盾を解く。 2022:3./ 3p,214p,2p 978-4-00-431920-7 ¥924〔稅込〕



日本経済新聞 2022/05/07



成りあがり〜矢沢永吉激論集〜(角川文庫)

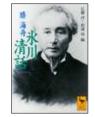
矢沢 永吉/角川書店装丁室 著 角川書店

おれは音楽をやる、スターになる! 広島から夜汽車に乗って上京した少年。くやしさも、みじめさも、すべて吐き出し、泣いている、笑っている、叫んでいる。この一冊は矢沢永吉の歌!

2004:4./ 301p 978-4-04-148303-9 ¥748〔税込〕



日本経済新聞 2022/05/07



氷川清話(講談社学術文庫)

江藤 淳/松浦 玲 編 勝 海舟 著

講談社

完全校訂版 江藤淳・松浦玲編、未収録談を大量増補 海舟が自在に語る談話の数々 幕 藩体制瓦解の中、勝海舟は数々の難局に手腕を発揮、江戸城を無血開城に導いて次代を 拓いた。晩年、海舟が赤坂氷川の自邸で、歯に衣着せず語った辛辣な人物評、痛烈な時 局批判の数々は、彼の人間臭さや豪快さに溢れ、今なお興味が尽きない。本書は、従来 の流布本を徹底的に検討し直し、疑問点を正し、未収録談を拾い上げ再編集した決定 版。 2000:12./ 400p 978-4-06-159463-0 ¥1,375〔稅込〕



日本経済新聞 2022/05/07



姑獲鳥(うぶめ)の夏(講談社文庫)

京極 夏彦 著

講談社

この世には不思議なことなど何もないのだよ——古本屋にして陰陽師(おんみょうじ)が憑物を落とし事件を解きほぐす人気シリーズ第 1 弾。東京・雑司ヶ谷(ぞうしがや)の医院に奇怪な噂が流れる。娘は 20 箇月も身籠ったままで、その夫は密室から失踪したという。文士・関口や探偵・榎木津(えのきづ)らの推理を超え噂は意外な結末へ。京極堂、文庫初登場!

日本経済新聞 2022/05/07

1998:9./ 630p 978-4-06-263887-6 ¥1,012〔税込〕





歴史とは靴である(講談社文庫 い 150-1)

磯田 道史 著

講談社

過去の人々と、いま生きている自分に通い合うモノとコト。歴史はむしろ実用品であって、靴に近いものではないか-。歴史家の問いかけに、女子高生が真剣に考える。2019年に鎌倉女学院高校で行われた特別講義。

2022:4./ 175p 978-4-06-527619-8 ¥660〔税込〕

日本経済新聞 2022/05/07



西行花伝(新潮文庫)

辻 邦生 著 新潮社

日本経済新聞 2022/05/07

1999:6./ 718p 978-4-10-106810-7 ¥1,089〔稅込〕



樅ノ木は残った 上(新潮文庫)

山本 周五郎 著 新潮社

日本経済新聞 2022/05/07

2003:3./ 464p 978-4-10-113464-2 ¥737〔稅込〕





樅ノ木は残った(中)(新潮文庫)

山本 周五郎 著

新潮社

奴等の企みを潰すため、俺は鬼になろう。仙台藩六十二万石を寸断—。酒井雅楽頭と伊達兵部とで交された密約が明らかになった。嫡子を藩主の座に据えることに血眼になる兵部だが、藩の取潰しを目論む幕府にとってはその駒に過ぎない。罠に気付いた原田甲斐はあえて兵部に取り入り、内部から非謀を破却。風前の灯となった伊達家の安泰のため、ひたすら忍従を装う。

2003:2./ 448p 978-4-10-113465-9 ¥737〔税込〕



日本経済新聞 2022/05/07



樅ノ木は残った(下)(新潮文庫)

山本 周五郎 著

新潮社

お前の目論見は終わる。この命と引き替えだ! 切腹、闇討ち、毒殺。親しき友が血を流す様を「主家大切」一義のため原田甲斐はひたすら堪え忍ぶ。藩内の権力をほしいままにする伊達兵部は他の一門と激しく対立し、ついに上訴へと発展する。評定の場で最後の賭けに出る甲斐。すべては仙台藩安堵のために一。雄大な構想と斬新な歴史観の下に、原田甲斐の肖像を刻んだ歴史長編。

日本経済新聞 2022/05/07

2003:2./ 512p 978-4-10-113466-6 ¥781〔税込〕



スキップ(新潮文庫)

北村 薫 著

新潮社

日本経済新聞 2022/05/07

1999:6./ 571p 978-4-10-137321-8 ¥935〔税込〕



シッダールタ 改版(新潮文庫 へ-1-11)

ヘルマン・ヘッセ 著

新潮社

生に苦しみ出離を求めたシッダールタは、苦行に苦行を重ねたあげく、ついに一切をあるがままに愛する悟りの境地に達する。悟りに至るまでの求道者の体験の奥義を探る、 ヘッセ芸術のひとつの頂点。 2012:6./ 200p 978-4-10-200111-0 ¥572〔税込〕



日本経済新聞 2022/05/07



ギリシア人の物語<2> 民主政の成熟と崩壊

塩野 七生 著

新潮社

大国ペルシアを打破した民主政アテネ。ペリクレスの手腕によりエーゲ海の盟主として 君臨し、その栄光は絶頂をむかえた。だが、デマゴーグが煽動するポピュリズムが台頭 すると、アテネはスパルタとの泥沼の戦争へと突き進み…。 2017:1./ 413p 978-4-10-309640-5 ¥3,300〔稅込〕



日本経済新聞 2022/05/07



武士の家計簿~「加賀藩御算用者」の幕末維新~(新潮新書)

磯田 道史 著新潮社

日本経済新聞 2022/05/07

2003:4./ 222p 978-4-10-610005-5 ¥836〔税込〕





首相官邸の 2800 日(新潮新書 943)

長谷川 榮一 著

新潮社

サミットや米中との首脳外交、ゴーン事件、コロナ対応…。第一次・二次安倍政権で計 8年余り内閣広報官を務め、総理補佐官としても日々様々な課題と向き合ってきた著者 が、憲政史上最長政権の内側を明かす。 2022:3./ 222p 978-4-10-610943-0 ¥880〔税込〕

日本経済新聞 2022/05/07



大統領とハリウッド~アメリカ政治と映画の百年~(中公新書 2527)

村田 晃嗣 著中央公論新社

1915年公開の「國民の創生」を皮切りに、アメリカ大統領を描き続けてきたハリウッド映画。全米が涙した「名作」から知られざる「迷作」まで 250 本以上の映画をもとに政治との相互関係を読み解き、アメリカの本質に迫る。

2019:2./ 5p,257p 978-4-12-102527-2 ¥946〔稅込〕

日本経済新聞 2022/05/07



中国哲学史~諸子百家から朱子学、現代の新儒家まで~(中公新書 2686)

中島 隆博 著中央公論新社

春秋戦国時代に現れた孔子や老子ら諸子百家に始まり、朱子学と陽明学に結実したのち、西洋近代と対峙するなかで現代の儒教復興に至る中国哲学。西洋を含めた世界史の 視座から、中国 3000 年の叡智を丹念に読み解く。 2022:2./ 3p,363p 978-4-12-102686-6 ¥1,155〔稅込〕

日本経済新聞 2022/05/07



年年歳歳

ファン・ジョンウン 著

河出書房新社

46 年生まれ、順子(スンジャ)。母は、日本語で「従順な子」という意味の名で育ち…。 韓国を代表する作家が描く、壮絶な人生を歩んだ母と、今を手探りで生きるふたりの娘 たちの物語。 2022:3./ 190p 978-4-309-20848-0 ¥2,145〔税込〕

日本経済新聞 2022/05/07



搾取都市、ソウル~韓国最底辺住宅街の人びと~

イ・ヘミ 著

筑摩書房

韓国の首都ソウルで、貧困層が住む最底辺の住宅「チョッパン」を取材する記者がたどり着いたのは…。チョッパン街住民の声、自身の貧困経験や徹底した調査をもとに、「見えない」富裕層による貧困ビジネスの実態を暴く。

2022:2./ 238p 978-4-480-83721-9 ¥1,870〔稅込〕

日本経済新聞 2022/05/07



チェルノブイリ~「平和の原子力」の闇~

アダム・ヒギンボタム 著

白水社

ソヴィエトで最も安全で進んだ原発と言われたチェルノブイリ。構造的な欠陥をはらんだ誕生から、1986 年 4 月の事故の経緯、未曾有の放射能汚染、人間の心身に残した傷まで、膨大な取材と調査を通じ、災厄の全体像に迫る。

日本経済新聞 2022/05/07

2022:2./ 465p,154p 図版 16p 978-4-560-09887-5 ¥5,720〔税込〕



リバタリアンが社会実験してみた町の話~自由至上主義者のユートピアは実現 できたのか~

2022:2./ 381p 978-4-562-07155-5 ¥2,640〔稅込〕



マシュー・ホンゴルツ・ヘトリング 著

原書房

ニューハンプシャー州の田舎町に集団で移住してきたリバタリアン(自由至上主義者) が、理想の町をつくろうとした-。米国で存在感を増すリバタリアンたちの思想と暴走 を、没入型取材で描き出したノンフィクション。

日本経済新聞 2022/05/07

彼方の悪魔(双葉文庫 こ-05-18)

小池 真理子 著

双葉社

海外からペスト菌に冒されていることを知らずにペットの死骸を持ち帰ってしまった男 子学生と、ある女性に一方的に歪んだ愛情を示す男。ふたつの"病"が交わる先には想像 を絶する恐怖が待ち受けていた-。

2021:6./ 385p 978-4-575-52477-2 ¥792〔稅込〕



日本経済新聞 2022/05/07



不易と流行のあいだ~ファッションが示す時代精神の読み方~

菅付 雅信 著

平凡社

ファッションは変化することで普遍を目指す。「物欲なき世界」の著者が綿密な取材で 描く、激変するファッションの現在とこれから。『WWD JAPAN』連載を加筆修正し、 オリジナルの対談2本を加えて単行本化。

2022:3./ 246p 978-4-582-62073-3 ¥1,760〔稅込〕



日本経済新聞 2022/05/07



映画はいつも「眺めのいい部屋」~政治学者のシネマ・エッセイ~(叢書・知 を究める 20)

村田 晃嗣 著 ミネルヴァ書房

政治との関わりを手掛かりに映画の楽しさと奥深さを伝える。新旧の映画を織り交ぜ、 権力と反権力の関係、家族や宗教、そしてスポーツも含めた社会、日米の銀幕を彩った エピソードから世界を見通す。『究』連載に加筆修正。

2022:3./ 12p,248p,12p 978-4-623-09394-6 ¥3,080〔稅込〕



日本経済新聞 2022/05/07



銀幕の大統領ロナルド・レーガン〜現代大統領制と映画〜

村田 晃嗣 著

有斐閣

ハリウッドからホワイトハウスに転じた、ただ一人の大統領ロナルド・レーガン。政治 に物語性を導入した彼の生涯を通して、20世紀アメリカにおける現代大統領制と映 画、また政治と文化の相互作用を分析・考察する。

日本経済新聞 2022/05/07

2018:3./ 4p.610p 978-4-641-14923-6 ¥4.290〔税込〕





「できる」と「できない」の間の人~脳は時間をさかのぼる~

樋口直美 著

晶文社

突然発症したレビー小体病という「誤作動する脳」を抱え、長いトンネルから這い出てきた著者が、老い、認知症、コロナ禍と向き合い、悪戦苦闘する日々を綴ったエッセイ集。『晶文社スクラップブック』掲載を加筆し書籍化。

2022:4./ 213p 978-4-7949-7308-5 ¥1,650〔税込〕

日本経済新聞 2022/05/07



よるのびょういん(こどものとも絵本)

谷川俊太郎 著

福音館書店

朝からおなかが痛いと言っていたゆたか。夜になって高い熱が出た。お父さんは夜勤で 勤め先の新聞社に行っている。お母さんは 119 番で救急車を呼び…。夜の病院の緊急手 術の様子を、写真と文章で描く絵本。

2022:4./ 32p 978-4-8340-0134-1 ¥990〔税込〕

日本経済新聞 2022/05/07



絵本の庭へ(児童図書館基本蔵書目録 1) 397p 2012

東京子ども図書館 編東京子ども図書館

東京子ども図書館でくりかえし読まれてきた、選りすぐりの絵本作品 1157 冊を紹介。 1950 年代?2010 年 12 月に刊行された中から物語や詩の絵本を中心に、書名等の情報を はじめ、あらすじや本の魅力などを記載する。 2012:3./ 397p 978-4-88569-199-7 ¥3,960〔税込〕

* 9 7 8 4 8 8 5 6 9 1 9 9 7 *

日本経済新聞 2022/05/07



物語の森へ(児童図書館基本蔵書目録 2)

東京子ども図書館 編東京子ども図書館

東京子ども図書館でくりかえし読まれてきた、選りすぐりの児童文学作品 1600 冊を紹介。1950 年代?2016 年に刊行された中から創作物語、昔話・神話を中心に、書名等の情報をはじめ、あらすじや本の魅力などを記載。

2017:5./ 400p 978-4-88569-200-0 ¥3,960〔税込〕

* 9 7 8 4 8 8 5 6 9 2 0 0 0

日本経済新聞 2022/05/07



オスマン帝国〜繁栄と衰亡の 600 年史〜(中公新書 2518)

小笠原 弘幸 著 中央公論新社

アジア・アフリカ・ヨーロッパを跨ぐ広大な版図を築いたオスマン帝国。王朝の黎明、 玉座を巡る王子達の争い、ヨーロッパへの進撃、近代化の苦闘など、滅亡までの 600 年 の軌跡を描き、空前の大帝国の内幕に迫る。

日本経済新聞 2022/05/07、朝日新聞 2022/05/14

2018:12./ 4p,319p 978-4-12-102518-0 ¥990〔税込〕





ハレム~女官と宦官たちの世界~(新潮選書)

小笠原 弘幸 著

新潮社

性愛と淫蕩のイメージで語られてきたイスラム世界の後宮・ハレム。奴隷として連れてこられた女官たちはどんな人生を送り、宦官はどのように権力を手にしたのか? オスマン帝国を支えた謎多き組織の全貌を最新研究で描く。

2022:3./ 296p 978-4-10-603877-8 ¥1,815〔税込〕

日本経済新聞 2022/05/07、毎日新聞 2022/05/07、読売新聞 2022/05/08、朝日新聞 2022/05/14



ドキュメント<アメリカ世>の沖縄(岩波新書 新赤版 1921)

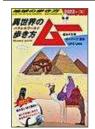
宮城 修 著

岩波書店

基本的人権が保障されない中で、人々は厚く巨大な壁にどのように立ち向かったのか。 『琉球新報』の大型企画「沖縄戦後新聞」を読み解き、日米琉の三者の視点を盛り込み ながら「軍事植民地」状態の沖縄の歴史を振り返る。

2022:3./ 11p,260p,27p 978-4-00-431921-4 ¥1,078〔稅込〕

日本経済新聞 2022/05/14



地球の歩き方ムー〜異世界の歩き方〜

地球の歩き方編集室 編

学研

モアイ像、ピラミッド、ナスカの地上絵…。世界を旅するガイドブック「地球の歩き方」が、ミステリーマガジン『ムー』的世界の舞台となった場所を紹介するガイドブック。折り込みマップ付き。データ:2022 年 1 月現在。

2022:2./ 416p 978-4-05-801716-6 ¥2,420〔税込〕

* 9 7 8 4 0 5 8 0 1 7 1 6 6 *

日本経済新聞 2022/05/14



ハイブリッド戦争~ロシアの新しい国家戦略~(講談社現代新書 2607)

廣瀬 陽子 著

講談社

執拗なサイバー攻撃、SNS を利用したプロパガンダ、暗躍する民間軍事会社…。正規と非正規を組み合わせた 21 世紀型戦争の実態と、ロシアの外交・軍事戦略の全貌に迫る。

2021:2./ 347p 978-4-06-522709-1 ¥1,320(税込)

日本経済新聞 2022/05/14



食卓の情景 改版(新潮文庫)

池波 正太郎 著新潮社

日本経済新聞 2022/05/14

2003:6./ 414p 978-4-10-115606-4 ¥781〔稅込〕





母親になって後悔してる

オルナ・ドーナト 著

新潮社

もし時間を巻き戻せたら、再び母になることを選びますか?この質問に「ノー」と答え た23人の女性にインタビュー。母親になることで経験する多様な感情を明らかにし、 社会に背負わされる重荷に苦しむ切実な思いを伝える。

2022:3./ 304p,10p 978-4-10-507271-1 ¥2,200〔稅込〕

日本経済新聞 2022/05/14



君たちはしかし再び来い

山下 澄人 著

文藝春秋

腹が破裂して、死にますよと言われた。3度の入院、飼猫の手術、コロナ-痛みは私を歴 史や宇宙の謎へ導き...。分断と混乱の時代に、あらゆる束縛を小説で超越してきた著者 の渾身の一作。『文學界』『三田文學』掲載を単行本化。

2022:4./ 252p 978-4-16-391525-8 ¥1,980〔稅込〕

日本経済新聞 2022/05/14



わたしたちの登る丘(文春文庫 コ 22-1)

アマンダ・ゴーマン 著

文藝春秋

米・バイデン大統領就任式で朗読された詩は、分断を乗り越え、団結することを呼びか け、その力強い言葉は困難に立ち向かう多くの人の背中を押した。その日本語訳と訳者 による詳細な解説、英文原詩を収録する。

2022:5./ 55p,23p 978-4-16-791885-9

¥792〔稅込〕



日本経済新聞 2022/05/14



現代ロシアの軍事戦略(ちくま新書 1572)

小泉 悠著

筑摩書房

ロシアはなぜ世界的な大国であり続けられるのか。ドローン、サイバー攻撃などの最新 の戦略を駆使し、ハイブリッドな戦争観を磨き上げて返り咲いたロシアの「新しい戦 争」を読み解き、未来の世界情勢を占う。

2021:5./ 300p,12p 978-4-480-07395-2 ¥1,034〔稅込〕

日本経済新聞 2022/05/14



パンデミック監視社会(ちくま新書 1639)

デイヴィッド・ライアン 著

筑摩書房

監視技術が広範に活用され、監視によるデータ収集や人々の行動追跡・制御がスムーズ に受け入れられたパンデミック。「コロナ前」に戻ることは可能か。監視研究の世界的 権威が、新型コロナウイルスがもたらした真の脅威に迫る。

日本経済新聞 2022/05/14

2022:3./ 249p 978-4-480-07468-3 ¥924〔稅込〕





中東体制の生態学~集権的中東と分権的日本~

立花 亨 著

日本経済新聞出版社

なぜ中東で民主体制が根づかないのか。なぜ日本の権力者は決断できないのか。先史時代にさかのぼる比較によって、対照的な中東と日本の権力構造の違いを環境と人間の相互作用から解明する、比較文明論。

2022:3./ 283p 978-4-532-17719-5 ¥2,970〔税込〕

日本経済新聞 2022/05/14



「無人戦」の世紀~軍用ドローンの黎明期から現在、AI と未来戦略まで~

セス・亅・フランツマン 著

原書房

ドローン戦争は世界のパワーバランスの変化の問題。冷戦期から実戦投入の時代、そして AI 化・群体化したドローン戦の未来まで、データに裏付けられた情報をもとに軍用ドローンによる無人戦時代を包括的に紹介する。

2022:3./ 321p 978-4-562-07160-9 ¥3,080〔税込〕

日本経済新聞 2022/05/14



薬草ハンター、世界をゆく~義足の女性民族植物学者、新たな薬を求めて~

カサンドラ・リア・クウェイヴ 著

原書房

ベトナム戦争で父が浴びた枯葉剤のために、右足を切断した少女が医学を志し、研修先のアマゾンで薬草に魅せられ、やがて新薬を求めて世界を飛びまわり…。科学者として母として苦闘する半生を自ら語る。

2022:3./ 388p 978-4-562-07163-0 ¥2,530〔稅込〕

* 9 7 8 4 5 6 2 0 7 1 6 3 0 *

日本経済新聞 2022/05/14



プーチンのユートピア~21 世紀ロシアとプロパガンダ~

ピーター・ポマランツェフ、池田 年穂 著

慶應義塾大学出版会

21 世紀のロシアでは、独裁さえもリアリティー・ショーである-。ロシアのテレビ業界 に潜入した TV プロデューサーが、クレムリンに支配されたメディアの内側から、21 世 紀のロシア社会とプロパガンダの実態を描く。

2018:4./ 1p,315p 978-4-7664-2512-3 ¥3,080〔稅込〕

* 9 7 8 4 7 6 6 4 2 5 1 2 3 *

日本経済新聞 2022/05/14



地下出版のメディア史~エロ・グロ、珍書屋、教養主義~

大尾 侑子 著

慶應義塾大学出版会

近代日本の誇る教養主義の「裏通り」とは-。非公刊の軟派出版(性風俗、猟奇、犯罪を取り扱った刊行物)とその版元に注目し、教養主義の言説空間との関係性から捉え返すことで、地下出版界をメディア史的に体系化する。

日本経済新聞 2022/05/14

2022:3./ 465p,22p 978-4-7664-2803-2 ¥4,950〔稅込〕





古代インカ・アンデス不可思議大全

芝崎 みゆき 著

草思社

古代文明界の重鎮「インカ文明」と、そのもとである古代アンデス文明の歴史の舞台におもむき、実際に見て触れた体験を、熱量たっぷりのイラスト&エッセイで愉しく紹介。「アンデス・マチュピチュへっぽこ紀行」も同時刊行。

2022:2./ 333p 978-4-7942-2560-3 ¥1,980〔税込〕

日本経済新聞 2022/05/14



プーチン~人間的考察~

木村 汎 著藤原書店

「プーチンって、一体、誰?」「プーチンは何を欲しているのか?」 世界がその思惑や 出方を固唾をのんで見守るロシアのプーチン大統領。ロシア学の権威である著者がその 実像に迫る野心的労作。 2015:4./ 622p 978-4-86578-023-9 ¥6,050〔税込〕

日本経済新聞 2022/05/14



プーチン~内政的考察~

木村 汎 著 藤原書店

長期政権を継続中のプーチン。「強いロシアの再建」を掲げ、国内には苛酷な圧政を敷く一方、経済は低迷、内政の矛盾は頂点に達している。ロシア研究の碩学が、"プーチンのロシア"の舞台裏を詳細かつ多角的に検証する。

2016:10./ 620p 978-4-86578-093-2 ¥6,050〔税込〕

日本経済新聞 2022/05/14



プーチン〜外交的考察〜

木村 汎 著 藤原書店

プーチンは世界をどう捉えているか? 世界を相手に危険な外交攻勢を続けるロシアのプーチン大統領。ロシア研究の碩学が、膨大な資料と事例をもとにその真意を読み解く。「人間的考察」「内政的考察」に続く3部作完結。

2018:2./ 693p 978-4-86578-163-2 ¥7,150〔稅込〕

日本経済新聞 2022/05/14



ミイラの地下墓地から大脱出~生死を決める 130 の分かれ道~

フィリップ・スティール 著

ライツ社

地下墓地で宝の山を見つけた! かばんにつめる、それとも、そのままにしておく? 魔法、罠、神々の呪い…。古代エジプトを舞台にした、読む人自身の選択で脱出ルートや結末が変わる、ゾクゾク&スッキリの「脱出ゲーム」本。

付なし)

2022:4./ 1 冊(ページ

978-4-909044-35-8

日本経済新聞 2022/05/14



魂の声をあげる~現代史としてのラップ・フランセ~

陣野 俊史 著 アプレミディ

郊外の貧困、移民、宗教、暴動、テロ…世界を取り巻く問題に対して声をあげずにいられなかったフランス語ラッパーたち。現代のフランスのラップ・カルチャーを徹底解説。アーティストの楽曲が聴ける QR コードつき。

2022:4./ 365p 978-4-910525-01-3 ¥2,420〔税込〕

日本経済新聞 2022/05/14



Y字橋

佐藤 洋二郎/佐藤 洋二郎 著

鳥影社

忘却の淵から濾過されてくるものは苦く、また愛おしい。歳月に隠された傷から、生きて在ることの秘密が明かされる-。表題作をはじめ、各文芸誌に掲載された全6編を収録した至極の作品集。

2022:4./ 246p 978-4-86265-959-0 ¥1,760〔税込〕

日本経済新聞 2022/05/14、東京・中日新聞 2022/05/15



ベリングキャット~デジタルハンター、国家の?を暴く~

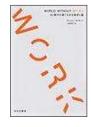
エリオット・ヒギンズ 著

筑摩書房

ロシアの暗殺者の身元を特定し、シリアの戦争犯罪を暴き出す。大手メディアもかなわぬスクープを続々とあげ、世界中から注目を集める調査報道ユニット<ベリングキャット>。その活動の実態を創設者みずから語る。

2022:3./ 366p 978-4-480-83722-6 ¥2,090〔稅込〕

日本経済新聞 2022/05/14、東京・中日新聞 2022/05/15、朝日新聞 2022/05/21



WORLD WITHOUT WORK~AI 時代の新「大きな政府」論~

ダニエル・サスキンド 著

みすず書房

迫り来る驚くべき技術革新によって、人間がする仕事の足りない世界が来たら、その先はどうするのか? イギリスの新進気鋭の経済学者が、21世紀の<所得分配国家><資本分配国家><労働者支援国家>を描き出す。

2022:3./ 19p,298p,73p 978-4-622-09070-0 ¥4,620〔税込〕

日本経済新聞 2022/05/14、読売新聞 2022/05/29



世界の中心で馬に賭ける~海外競馬放浪記~

須田 鷹雄 著

中央公論新社

「全レースが2頭立て」「ローカル色たっぷりの競馬場メシ」「馬がバテる急坂コース」「失格連発の速歩競馬」「馬ではなくラバ」…。訪れた海外競馬およそ 150 場から、記憶に残る 63 場を紹介する。

日本経済新聞 2022/05/14、毎日新聞 2022/05/14

2022:4./ 285p 978-4-12-005525-6 ¥1,980〔税込〕





引力の欠落

上田 岳弘 著 KADOKAWA

行先馨は、マミヤと名乗る弁護士と出会い、奇妙なペントハウスに招待される。そこには中国を統一した「始皇帝」や、水からガソリンを精製した「本多維富」を自称する者たちがいて…。『小説野性時代』掲載を単行本化。

2022:3./ 269p 978-4-04-109988-9 ¥2,090〔稅込〕

日本経済新聞 2022/05/21



里山資本主義〜日本経済は「安心の原理」で動く〜(角川 one テーマ 21 C-249)

藻谷 浩介、NHK広島取材班 著

角川書店

休眠資産を再利用することで、原価 0 円からの経済再生、コミュニティー復活を果たす「里山資本主義」。安全保障と地域経済の自立をもたらし、不安・不満・不信のスパイラルを超えるバックアップシステムを提言する。

2013:7./ 308p 978-4-04-110512-2 ¥859〔稅込〕



日本経済新聞 2022/05/21



新型コロナの不安に答える(講談社現代新書 2657)

宮坂 昌之 著

講談社

ワクチンが普及しても感染が収束しないのはなぜ? どうしてデルタを制圧した日本で第6波の感染爆発が起きた? 最新の科学的エビデンスをもとに、新型コロナに関する疑問や不安に答える。

2022:3./ 268p 978-4-06-527720-1 ¥990〔稅込〕



日本経済新聞 2022/05/21



木に学べ~法隆寺・薬師寺の美~(小学館文庫)

西岡 常一 著

小学館

法隆寺金堂の大修理、法輪寺三重塔、薬師寺金堂・西塔などの復元を果たした最後の宮大工棟梁・西岡常一氏が語り下ろした、1988年発刊のベストセラー、待望の文庫化。宮大工の祖父に師事し、木の心を知り、木と共に生き、宮大工としての技術と心構え、堂塔にまつわるエピソード、そして再建に懸ける凄まじいまでの執念を飄々とした口調で語り尽くす。

2003:11./ 283p 978-4-09-405851-2 ¥607〔稅込〕

日本経済新聞 2022/05/21



飲むぞ今夜も、旅の空(小学館文庫 お 3-9)

太田 和彦 著

小学館

町を歩こう。町にはいろんなものがある。居酒屋に入ろう。うまい酒と肴が待っている。旅に出よう。ひとり旅だ。そうして、居酒屋に入ろう。至福の時間のはじまり、はじまり…。居酒屋を文化にまで高めた太田和彦の旅エッセイ。

2022:5./ 253p 978-4-09-407146-7 ¥682〔稅込〕



日本経済新聞 2022/05/21



キャッチ・アンド・キル

ローナン・ファロー 著

文藝春秋

キャッチ・アンド・キル(捕えて殺す)とは何か。スパイの暗躍、大手メディアの裏切り。ハーヴェイ・ワインスタインの性的虐待疑惑をスクープした著者が、政界・司法界に及ぶアメリカの巨大な闇を暴いたノンフィクション。

2022:4./ 493p 978-4-16-391526-5 ¥2,530〔税込〕

日本経済新聞 2022/05/21

清貧の思想(文春文庫)

中野 孝次 著

文藝春秋

日本はこれでいいのか? 豊かさの内実も問わず、経済第一とばかりひた走る日本人を立ち止まらせ、共感させた平成のベストセラー。富よりも価値の高いものとは何か? (内橋克人) 1996:11./ 269p 978-4-16-752303-9 ¥759〔税込〕

* 9 7 8 4 1 6 7 5 2 3 0 3 9 *

日本経済新聞 2022/05/21



新・ラグジュアリー~文化が生み出す経済 10 の講義~

安西 洋之/中野 香織 著 クロスメディア・パブリッシング

歴史を振り返ってみると、歴史・美術・文学など人文系の分野が起点となったラグジュ アリーが、新しい文化をつくる先導役を果たしてきた。社会の先頭を走るラグジュアリ ーの現在の動向を、多角的な視点から伝える。 2022:3./ 319p 978-4-295-40663-1 ¥2,068〔稅込〕

日本経済新聞 2022/05/21



人は 2000 連休を与えられるとどうなるのか?

上田 啓太 著

河出書房新社

仕事のない解放感を味わう、将来への不安を感じはじめる、昔を思い出して鬱になる、図書館に通って本を読む…。2000 連休したことのある人気ブロガーの、衝撃の体験談。『ジモコロ』連載をもとに書籍化。

2022:4./ 189p 978-4-309-03034-0 ¥1,628〔稅込〕

日本経済新聞 2022/05/21



下山の思想(幻冬舎新書 240 い-5-2)

五木 寛之 著

幻冬舎

敗戦から見事に登頂を果たした今こそ、実り多き「下山」を思い描くべきではないか。 諦めの行動でなく新たな山頂に登る前のプロセスとして「下山の思想」を説き、未曾有 の時代にどう生きていくか、究極のヒントを示す。

日本経済新聞 2022/05/21

2011:12./ 223p 978-4-344-98241-3 ¥814〔稅込〕





渾沌の恋人~北斎の波、芭蕉の興~

恩田 侑布子 著

春秋社

十七音の芸術表現・俳句を起点に、芸術表現の諸相をダイナミックに往還し、日本人の 美意識の深遠に迫る斬新な芸術評論・日本文化論。詩歌の全貌を知るための視角と新し い道筋を、鮮やかに描く。『墨』連載を大幅加筆し書籍化。

2022:4./ 249p 図版 7 枚 978-4-393-44423-8 ¥2,530〔税込〕



日本経済新聞 2022/05/21



北朝鮮外交回顧録(ちくま新書 1638)

山本 栄二 著

筑摩書房

1990年の金丸訪朝、朝鮮労働党との日朝国交正常化に向けた 3 党共同宣言署名、小泉首相による 2 度の訪朝、拉致被害者帰国…。北朝鮮外交に従事していた外交官によるメモワール。

2022:3./ 294p,8p 978-4-480-07466-9 ¥1,012〔稅込〕

* 9 7 8 4 4 8 0 0 7 4 6 6 9 *

日本経済新聞 2022/05/21



国民のための「食と農」の授業~ファクツとロジックで考える~

山下 一仁 著

日本経済新聞出版社

国民のために必要な食料・農業のあり方とは。それを実現するための政策とはどのようなものであるべきか。日本の食料、農業、農村について、重要なイッシューと政策検討に関するファクツと考え方を解説する。東大講義を書籍化。

2022:3./ 390p 978-4-532-35916-4 ¥2,970〔稅込〕



日本経済新聞 2022/05/21



絵画は眼でなく脳で見る~神経科学による実験美術史~

小佐野重利 著

みすず書房

人間の視覚および記憶の生物学的しくみには普遍性がある。美術作品に肉薄する方法を、美術と科学あるいは科学画像との親密性から説き起こし、分析化学、ひいてはニューロサイエンスとの協働という観点から解き明かす。

2022:4./ 155p,13p 978-4-622-09080-9 ¥5,280〔稅込〕



日本経済新聞 2022/05/21



ジェンダーで読み解く男性の働き方・暮らし方~ワーク・ライフ・バランスと 持続可能な社会の発展のために~

多賀 太著

時事通信出版局

なかなか進まない男性の家事・育児参加。男性稼ぎ手社会を壊すことは、男性の生きづらさも解消する。ジェンダー平等に向けた、本気の働き方・暮らし方改革について考察する。

日本経済新聞 2022/05/21

2022:3./ 11p,254p 978-4-7887-1806-7 ¥1,980〔稅込〕





日本語名言紀行

中村明 著

青土社

カーンと冴えわたる比喩、はっと驚くオノマトペを発見し、締め付けられるような悲哀 やほのぼのとおかしいユーモアに心を?まれる…。清少納言から小川洋子まで、日本語 学の第一人者がめぐりあった数々の名言をふりかえる。

2022:4./ 304p 978-4-7917-7463-0 ¥2,420〔稅込〕

日本経済新聞 2022/05/21



わたしの学術書~博士論文書籍化をめぐって~

春風社編集部 編

春風社

研究テーマと出会ったときの胸のときめき、調査での悲喜こもごも、博士論文執筆時の 苦労、博論を書籍化する際の醍醐味、刊行後の世界の広がり方...。さまざまなジャンル の研究者 58 名による博士論文書籍化体験記。

2022:4./ 493p.6p 978-4-86110-761-0 ¥2,200〔稅込〕

日本経済新聞 2022/05/21



ジョイスの挑戦~『ユリシーズ』に嵌る方法~(Japanese James Joyce Studies)

金井嘉彦、吉川 信、横内一雄/新井 智也・岩下 いずみ・河原 真也・小林 広直・田 多良 俊樹・田中 恵理・戸田 勉・平繁 佳織・ 南谷 奉良・桃尾 美佳・山田 久美子・ 湯田 かよこ 著

言叢社

植民地主義・文化・教育・世界大戦との関わり…。最新研究を踏まえた7つの精選され た論考により、世界文学の金字塔を気鋭の研究者が読み解く。作品の構造・背景を知る ための、初心者向けコラム 27 編も収録。

2022:2./ 336p,16p 978-4-86209-086-7 ¥2.999〔稅込〕

日本経済新聞 2022/05/21



セルタンとリトラル~ブラジルの 10 年~

三砂ちづる/三砂ちづる 著

弦書房

独特の自然観を示す<キントゥラ>とは何か。1980年代のおわりから2000年まで、ブ ラジル北東部(セルタンとリトラル)で暮らした公衆衛生研究者の眼がとらえた、土着文 化のゆるがぬ「深さ」と「潔さ」を軽快に描く。

日本経済新聞 2022/05/21

2022:4./ 290p 978-4-86329-249-9 ¥2,200〔稅込〕





百年目の『ユリシーズ』

下楠 昌哉/須川 いずみ/田村 章/伊東 栄志郎/岩下 いずみ/岩田 美喜/小田井 勝彦/小野瀬 宗一郎/桐山 恵子/小島 基洋/新名 桂子/田多良 俊樹/中尾 真理/ 深谷 公宣/南谷 奉良/宮原 駿/横内 一雄 著



2022:2./ 427p

2022年に原著刊行100周年を迎えるジェイムズ・ジョイスの傑作「ユリシーズ」。ジ ョイス研究の枠を越えて気鋭の論者が結集し、多様な視点から「ユリシ-ズ」の百年目 にふさわしい読み方を提示する論考集。

日本経済新聞 2022/05/21



《伊東マンショの肖像》の謎に迫る~1585 年のヴェネツィア~

小佐野重利 著

三元社

ヴェネツィア元老院が発注した資料が伝わりながら、その存在が見失われていた天正遣 欧少年使節の記念肖像画。400年を経てついに発見されたこの少年像の制作プロセス を、世界初公開に関与した美術史家が解明する。

2017:4./ 146p,12p 978-4-88303-436-9 ¥1,980〔稅込〕

日本経済新聞 2022/05/21



気候変動と「日本人」20万年史

川幡 穂高 著 岩波書店

日本人の祖先は、いかにして日本列島にたどり着いたのか? 大規模寒冷期は日本社会に 変革をもたらしたのか? 古気候学や古環境学、分子人類学、考古学などの研究成果を駆 使して大胆考察。「日本人」のルーツの定説が覆る!?

2022:4./ 14p,227p,8p 978-4-00-061530-3 ¥2.200〔稅込〕

日本経済新聞 2022/05/28



人外

松浦 寿輝 著

講談社

アラカシの枝の股から滲みだし、四足獣のかたちをとった「それ」は、荒廃した世界の 風景を横切り…。ゆくてに待ち受けるのは、いったい何か?世界のへりをめぐるよるべ ない魂の旅を描く小説。『群像』連載を単行本化。

2019:3./ 269p 978-4-06-514724-5 ¥2,530〔稅込〕



日本経済新聞 2022/05/28



すべての月、すべての年~ルシア・ベルリン作品集~

ルシア・ベルリン 著

講談社

魂の作家ルシア・ベルリン。表題作をはじめ、「掃除婦のための手引き書」の底本であ る短編集より、同書に収録しきれなかった「失われた時」「情事」など 19 編を収録す る。

978-4-06-524166-0 ¥2.640〔稅込〕

2022:4./ 373p

日本経済新聞 2022/05/28



名誉と恍惚

松浦 寿輝 著

新潮社

日中戦争中に上海の工部局警察官の職を追われた芹沢は、潜伏生活を余儀なくされ…。 彼に生き延びる術は残されているのか。祖国に捨てられた男の転変の生を卓絶したスケールで描く傑作長篇。『新潮』連載に加筆して単行本化。 2017:3./ 765p 978-4-10-471703-3 ¥5,500〔税込〕

日本経済新聞 2022/05/28

円安が 野田本を 滅ぼす

円安が日本を滅ぼす~米韓台に学ぶ日本再生の道~

野口 悠紀雄 著

中央公論新社

国が行うべきは、変化を阻害している諸要因を除去することだ-。経済発展を遂げている米・韓・台との比較から、日本の問題を炙り出す。『ダイヤモンド・オンライン』ほか掲載をもとに書籍化。

2022:5./ 237p 978-4-12-005538-6 ¥1,870〔税込〕

日本経済新聞 2022/05/28



幻獣辞典(河出文庫 ホ 5-1)

ホルヘ・ルイス・ボルヘス 著 河出書房新社

一角獣、セイレーン、ゴーレム、八岐大蛇…。豊かな想像力が産みだした奇妙な存在たちを、知の怪物ボルへスが集成した異世界案内。「イーリアス」から C・S・ルイス等の著作まで、古今東西・森羅万象 120 項目を収載。

2015:5./ 329p 978-4-309-46408-4 ¥1,210〔稅込〕

* 9 7 8 4 3 0 9 4 6 4 0 8 4 *

日本経済新聞 2022/05/28



ダーク・ヴァネッサ<上>(河出文庫 ラ 6-1)

ケイト・エリザベス・ラッセル 著

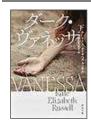
河出書房新社

寄宿学校に通う 15 歳のヴァネッサは、42 歳の教師・ストレインの"恋人"だった。しかし 17 年後、彼を性的虐待で告発するという女性が現れる。混乱するヴァネッサの記憶の底からは、やがておぞましい過去が浮かびあがり…。

2022:5./ 318p 978-4-309-46751-1 ¥990〔稅込〕

* 9 7 8 4 3 0 9 4 6 7 5 1 1 *

日本経済新聞 2022/05/28



ダーク・ヴァネッサ<下>(河出文庫 ラ 6-2)

ケイト・エリザベス・ラッセル 著

河出書房新社

未成年への虐待で訴えられたストレインのニュースはまたたく間に燃え広がり、ヴァネッサの心をも焼き尽くす。残酷な過去と向き合わざるを得なくなったとき、彼女の世界は足元から崩れてゆく...。

日本経済新聞 2022/05/28

2022:5./ 337p 978-4-309-46752-8 ¥990〔税込〕





個人金融資産 2000 兆円 山は動くか

高田 創著 きんざい

銀行に預金をしておけば資産形成ができた時代は終わり、これからはお金に働いてもら う必要がある。40年間、金融機関の現場に身を置く著者が資産運用の重要さを伝え る。岡三証券の定期レポートにおける議論をベースに書籍化。

2022:5./ 215p 978-4-322-14156-6 ¥1,980〔稅込〕

日本経済新聞 2022/05/28



不自然な死因~イギリス法医学者が見てきた死と人生~

リチャード シェパード 著

大和書房

9.11 テロ事件、バリ島テロ、ダイアナ元妃の事故など、2万3千人の検視・解剖を手掛 けた法医学者が見てきた「死」とは-。ミステリーを超える究極のノンフィクション。

2022:4./ 493p 978-4-479-39388-7 ¥2,970〔稅込〕

日本経済新聞 2022/05/28



離婚の文化人類学~現代日本における<親密な>別れ方~

アリソン・アレクシー 著

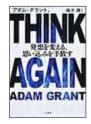
みすず書房

変わる家族規範、熟年離婚、婚活...。アメリカ気鋭の人類学者が 2000 年代初頭の日本 でフィールドワーク。現代日本の離婚について人類学的観点から考察し、日本社会の姿 を現実の複雑さのままみずみずしく描く。

2022:3./ 14p,361p,45p 978-4-622-09084-7 ¥5,280〔稅込〕



日本経済新聞 2022/05/28



THINK AGAIN〜発想を変える、思い込みを手放す〜

アダム・グラント 著

三笠書房

知識をリセットし考え直す力とは。なぜ考え直すことが大切なのか。思考の柔軟性を獲 得するには。他者の見解を受け止めるには...。思い込みを手放し、発想を変えるための 「知的柔軟性」を、心理学の研究成果に基づいて解説する。

2022:4./ 422p 978-4-8379-5812-3 ¥2,200〔稅込〕

日本経済新聞 2022/05/28



「安いニッポン」が日本を大復活させる!(WAC BUNKO B-360)

武者 陵司 著

ワック

ポスト GAFAM のフロンティアは日本の「人間中心イノベーション」だ! 1 ドル 130 円 を見据え、円安、物価安、賃金安で日本はメガ景気になる! 日本経済の"嬉しい真実"を データ満載で解説する。

日本経済新聞 2022/05/28

2022:3./ 230p 978-4-89831-860-7 ¥990〔稅込〕





親鸞と道元(新潮新書 939)

平岡 聡 著

新潮社

ともに斬新かつ独創的な教えを展開した親鸞と道元。だが「念仏と坐禅」「救いと悟り」など、両者の思想は極めて対照的である。なぜかくも違うのか。多様で寛容な日本 仏教の魅力に迫り、宗教の本質を問う。 2022:2./ 221p 978-4-10-610939-3 ¥880〔税込〕

毎日新聞 2022/05/07



知の生態学の冒険 J・J・ギブソンの継承<1> ロボット

岡田 美智男 著

東京大学出版会

人間との関係やインタラクションに焦点を合わせ、<お掃除ロボット>や<ゴミ箱ロボット>といった「関係論的なロボット」の具体事例を紹介。生態学的な観点からその実相を記述し、人間とロボットの共生の可能性をさぐる。

2022:3./ 10p,197p 978-4-13-015181-8 ¥3,520〔稅込〕

毎日新聞 2022/05/07



わたしたちが描いたアニメーション「平家物語」

高野 文子/山田 尚子 著

河出書房新社

山田尚子が監督したアニメーション「平家物語」。歴史ものの範疇を超越した作品が生まれるまでを、キャラクター原案を手掛けた高野文子とともに語らい、綴ったメイキング・ブック。描き下ろしイラストや絵コンテなども収録。

2022:3./ 109p 978-4-309-29187-1 ¥2,200〔稅込〕

* 9 7 8 4 3 0 9 2 9 1 8 7 1 *

毎日新聞 2022/05/07



現代建築宣言文集~1960-2020~

五十嵐 太郎/菊地 尊也 編

彰国社

1960年代の「メタボリズム」から、2010年代の磯崎新によるザハ・ハディドへの追悼文まで。およそ60年間におよぶ現代の建築概念を揺るがしてきた建築家や批評家による50の言説を再録し、解説を付す。

2022:2./ 429p 978-4-395-32173-5 ¥3,300〔稅込〕

* 9 7 8 4 3 9 5 3 2 1 7 3 5 >

毎日新聞 2022/05/07

実存主義とは何か 増補新装版

Jean Paul Sartre 著

人文書院

実存主義への非難に応えた講演と、これに関する討論からなる本書は、実存主義の本質を伝え、その思想がヒューマニズムに直結することを明快に説く。初期作品を増補した、サルトル哲学理解への新たなアプローチとなる書。

毎日新聞 2022/05/07

1996:1./ 178p 978-4-409-03042-4 ¥2,090〔稅込〕





辺野古入門(ちくま新書 1650)

熊本 博之 著

筑摩書房

普天間基地移設問題の最前線、名護市辺野古。キャンプ・シュワブとどのような関係に あるか、普天間基地移設の候補地としてなぜ浮上したのか。社会学者が、20年にわた るフィールドワークをもとにその歴史と現在を描き出す。

2022:4./ 221p 978-4-480-07476-8 ¥880〔税込〕



毎日新聞 2022/05/07



メトロの民族学者(<叢書>人類学の転回)

マルク・オジェ 著

水声社

日々なにげなく通り過ぎる地下鉄は、いかなる場=空間なのか。車内の様子や駅の情 景、人々の動きの具体例をさまざまに取り上げ、パリのメトロを契約的かつ経済的な空 間として読み解く。見返しにメトロの路線図あり。

2022:3./ 147p 978-4-8010-0632-4 ¥2,200〔稅込〕



毎日新聞 2022/05/07



意識はなぜ生まれたか~その起源から人工意識まで~

マイケル・グラツィアーノ 著

白揚社

生命進化の過程で「意識」はいつ生まれたのか? 「機械」に意識を宿らせることは可能 なのか? 神経科学の第一人者が、ユニークな工学的アプローチで、脳が心を生むメカニ ズムを描き出す。視覚的意識の作り方も収録。

2022:4./ 299p 978-4-8269-0235-9 ¥3.300〔稅込〕



毎日新聞 2022/05/07



橙が実るまで

田尻久子 著

スイッチ・パブリッシング

幼い頃に拾った猫、大好きだった祖父との思い出、家族の死-。熊本「橙書店」店主・ 田尻久子の自伝的エッセイに、写真家・川内倫子が自身の撮影した写真で応えていく写 文集。『SWITCH』連載を加筆修正し単行本化。

2022:3./ 253p 978-4-88418-587-9 ¥2.970〔稅込〕



毎日新聞 2022/05/07



かくも甘き果実

モニク・トゥルン/吉田 恭子 著

集英社

ラフカディオ・ハーンの生みの母ローザ・アントニア・カシマチ、最初の妻アリシア・ フォーリー、2番目の妻小泉セツ。ハーンを愛した3人の女性たちの「声」を、繊細か つ鮮やかに描いた伝記的フィクション。

毎日新聞 2022/05/07、産経新聞 2022/05/15、朝日新聞 2022/05/28

2022:4./ 317p 978-4-08-773517-8 ¥2,640〔稅込〕





バレエ王国ロシアへの道

村山久美子 著

垣内出版

世界を虜にする魅力の秘密とは**?** ロシアがバレエ王国を築くことになったいくつかのターニングポイントとしての振付家たちの芸術を、先行者の影響も論じながら時系列でつなぐ。

2022:3./ 315p 978-4-7734-2046-3 ¥2,860〔稅込〕

毎日新聞 2022/05/07、読売新聞 2022/05/22



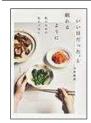
無月の譜

松浦 寿輝 著 毎日新聞出版

戦死した天才駒師が遺した傑作はどこへ?棋士の夢破れた青年が、再起をかけてその行方を追う!幻の将棋駒をめぐる希望と再生の物語。『毎日新聞』連載を単行本化。

2022:3./ 461p 978-4-620-10856-8 ¥2,420〔税込〕

毎日新聞 2022/05/07、日本経済新聞 2022/05/28



いい日だった、と眠れるように~私のための私のごはん~

今井 真実 著

左右社

鯛と生ハムちらし、ナンプラーバター枝豆、砂肝のコンフィ、柿モッツァレラ春菊、牡蠣のパスタ…。ふだんの生活の中で生まれた、旬の食材を使った四季の料理と、1年間を通した食卓まわりの話を紹介する。

2022:3./ 157p 978-4-86528-071-5 ¥1,870〔稅込〕

* 9 7 8 4 8 6 5 2 8 0 7 1 5

毎日新聞 2022/05/08

大転落(岩波文庫 赤 277-1)

イーヴリン・ウォー 著

岩波書店

「あなたも学校の先生におなりで。猥褻行為で退学の学生さんは大半がそうですから」。学友の乱痴気パーティに巻きこまれ、あげくに放校処分をくらってしまったポール・ペニフェザー君。わけ知り顔の門番の言葉におくられ、教職斡旋所の門をくぐるが…。かくして我らが主人公の多事多難な人生航路が始まる。抱腹絶倒の滑稽小説。

1991:6./ 325p 978-4-00-322771-8 ¥924〔稅込〕



毎日新聞 2022/05/14



二本の棘〜兵庫県警捜査秘録〜

山下 征士 著

KADOKAWA

未解決の「グリコ・森永事件」と「朝日新聞阪神支局襲撃事件」。兵庫県警には、絶対に忘れてはならない"棘"が刺さったまま残っている。「グリコ・森永」「少年 A」等を担当した元捜査一課長が、捜査の舞台裏を初めて明かす。

毎日新聞 2022/05/14

2022:3./ 271p 978-4-04-111945-7 ¥1,870〔稅込〕





パンとサーカス

島田 雅彦 著

講談社

不正隠蔽の犠牲となった父親の復讐を果たすため、CIA エージェントになった男は、日・米両政府を巧みに欺き、日本国民の仇をとる。諦めの横溢する日本で、サーカスの幕が上がる! 『北海道新聞』など各紙連載を加筆・修正。

2022:3./ 557p 978-4-06-526874-2 ¥2,750〔稅込〕

毎日新聞 2022/05/14



怪物

東山 彰良 著

新潮社

広東省上空で撃墜された台湾空軍の偵察機に乗っていた叔父をモデルにした小説で、高い評価を受けた台北出身の作家・柏山。故郷に凱旋した彼は、同行した編集者と関係を持ち…。『北海道新聞』ほか連載を加筆修正し単行本化。

2022:1./ 425p 978-4-10-334653-1 ¥2,860〔税込〕

毎日新聞 2022/05/14



評伝宮田輝

古谷 敏郎 著文藝春秋

「のど自慢」「ふるさとの歌まつり」「紅白歌合戦」の名司会で日本中を熱狂させた、 昭和を代表するアナウンサー、宮田輝の初の評伝。宮田家から提供を受けた膨大な資料 をもとに、その生い立ちから参議院在職中の死までを追う。 2022:3./ 382p 978-4-16-391512-8 ¥2,420〔稅込〕

* 9 7 8 4 1 6 3 9 1 5 1 2 8 *

毎日新聞 2022/05/14



飾らない。~76歳、坂井より子の今をたのしむ生き方~

坂井 より子 著

家の光協会

笑顔の秘訣、変化する家族の姿、元気をつくる日々の暮らし、これからの生き方…。主婦歴 50 年の経験から生まれた暮らしの知恵、人生を軽やかに生きるコツなどを、やさしい言葉で綴る。「家族からひと言」も収録。

2022:2./ 175p 978-4-259-56716-3 ¥1,540〔稅込〕

* 9 7 8 4 2 5 9 5 6 7 1 6 3 *

毎日新聞 2022/05/14



楽園図鑑~日本の絶景無人島~

清水 浩史 著

河出書房新社

輝く太陽、澄みわたった空と海、真っ白な砂浜やサンゴ礁、誰もいない静けさ…日本の無人島は楽園そのものだ。低潮高地から小さな無人島まで、神秘的な無人島 37 島を厳選して紹介する。データ:2021 年現在。

毎日新聞 2022/05/14

2022:3./ 190p 978-4-309-28973-1 ¥1,650〔稅込〕





沖縄にどう向き合うか

豊里友行 著

新日本出版社

米軍基地の重圧にあえぐ故郷を記録し続けてきた気鋭の写真家が、今の沖縄と沖縄戦の 時代に共通するものを見据えたモノクローム写真集。戦時下に起きた強制集団死に注目 し、戦争と軍隊の本質をすべての日本人に問いかける。

2022:3./ 127p 978-4-406-06669-3 ¥2,640〔稅込〕



毎日新聞 2022/05/14



日本でわたしも考えた~インド人ジャーナリストが体感した禅とトイレと温泉 ح ع

パーラヴィ・アイヤール 著

4年に及ぶ東京暮らしのなかで、インド人作家が驚愕と新発見の日常を描くユーモアあ ふれる日本滞在記。生活習慣の違いから日本語習得の難しさ、伝統文化、政治・社会問 題まで、鋭い洞察に母親としての視点を交え綴る。

2022:3./ 246p,13p 978-4-560-09891-2 ¥2,530〔稅込〕



毎日新聞 2022/05/14



スマート物流〜物流サービスのスマート化が社会と経済を変える〜

藁谷 友紀 著

毎日新聞出版

物流のスマート化は、社会基盤のスマート化-。スマート物流の基本的な考え方と社会 実装のあり方、そしてその意味について論じる。福島県や北九州・小倉で開催された全 3回のシンポジウムをもとに加筆。

2022:4./ 253p 978-4-620-55001-5 ¥1,650〔稅込〕



毎日新聞 2022/05/14



道徳教室~いい人じゃなきゃダメですか~

高橋 秀実 著

ポプラ社

小・中学校の正式教科となった「道徳」。いったい何を学ぶの? 独特の視点とユーモラ スな文章で日常に光を当てるノンフィクション作家が、「ニッポンの道徳」を考察する エッセイ。『WEB asta*』連載他を書籍化。

2022:3./ 326p 978-4-591-17326-8 ¥1,760〔稅込〕



毎日新聞 2022/05/14、読売新聞 2022/05/22



ネットで故人の声を聴け~死にゆく人々の本音~(光文社新書 1190)

古田雄介 著

光文社

恐怖、後悔、家族への思い…。故人が生前残したブログや HP 等からは死に際しての本 音が見え隠れする。故人がインターネットに残した足跡とどう向き合うべきかを 15 の 事例から探る。『東洋経済オンライン』連載を基に書籍化。

2022:3./ 428p

978-4-334-04598-2 ¥1,232〔稅込〕

毎日新聞 2022/05/14、読売新聞 2022/05/29



13 枚のピンぼけ写真

キアラ・カルミナーティ/古山 拓 著

岩波書店

第一次世界大戦時の北イタリア。男たちが戦場へ行ったあと、母とはぐれたイオランダは、妹とともに旅を重ね、思いがけない人々と出会い…。13歳の少女が、自分の手で生きる力をつかみとっていく感動の物語。

2022:3./ 238p 978-4-00-116036-9 ¥1,870〔税込〕

毎日新聞 2022/05/21



イタリア人マッシがぶっとんだ、日本の神グルメ

マッシミリアーノ・スガイ 著

KADOKAWA

「サイゼリヤ」の最強においしい食べ方、イタリアと日本の郷土料理の共通点…。日本食をよりおいしく楽しむための視点、文化的背景、イタリア人マッシ流の食べ方なども詰め込んだ、とっておきのグルメエッセイ。

2022:3./ 207p 978-4-04-681300-8 ¥1,430〔税込〕

* 9 7 8 4 0 4 6 8 1 3 0 0 8 *

毎日新聞 2022/05/21



恋じゃねえから(1)(モーニング KC)

渡辺 ペコ 著

講談社

40歳の主婦・茜は、ある日、中学時代に通った学習塾の講師・今井が彫刻家になったことを知る。彼が発表した「少女像」は、かつての親友・紫の姿によく似ていた。蘇る26年前の記憶、封印していた1枚の写真。そして私の犯した罪と願い。過去をひもとく現在の3人の運命が動き出す——。紙+電子累計135万部を突破した『1122(いいふうふ)』の渡辺ペコが描く、創作と性加害をめぐる問題作!!

2022:4./ 192p 978-4-06-527544-3 ¥726〔稅込〕



毎日新聞 2022/05/21



夏が破れる

新庄 耕 著

小学館

いじめをきっかけに不登校となっていた中学生の進は、親の勧めで夏の2ヶ月を沖縄の離島で過ごすことになる。大人たちの恐ろしい素顔を目の当たりにした進は、命がけの脱走を図るが...。『WEB きらら』連載に加筆・改稿。

2022:4./ 235p 978-4-09-386643-9 ¥1,650〔税込〕



毎日新聞 2022/05/21



野村萬斎〜なぜ彼は一人勝ちなのか〜(新潮新書 944)

中村 雅之 著

新潮社

多くの伝統芸能の役者の中で、なぜ野村萬斎だけが誰もが名を知る、群を抜く存在になれたのか。萬斎個人の軌跡や華麗なる家系、能・狂言の歴史を丁寧に紐解きながら、天才の誕生の必然と偶然に迫る。

毎日新聞 2022/05/21

2022:3./ 254p 978-4-10-610944-7 ¥924〔稅込〕





コロナと創薬~なぜ日本の製薬企業は出遅れたのか~

橋本 宗明 著

日経BP社

なぜ国内製薬メーカーは新型コロナウイルスのワクチンと治療薬開発で出遅れたのか。 「コロナ敗戦」と世界的な創薬競争における日本勢の奮闘をベテランジャーナリストが描く。 菅義偉前首相のインタビューも収録。 2022:4./ 254p 978-4-296-00064-7 ¥2,420〔税込〕

毎日新聞 2022/05/21



世界の美しい灯台(フォトミュージアム)

デイヴィッド・ロス 著

原書房

海の旅の安全を守るため、世界各地の海岸に古代から存在する灯台。強風や荒波に耐え、光を投げかけ続ける世界の灯台 200 基以上を美しい大判写真と簡潔な解説で紹介する。

2022:3./ 222p 978-4-562-07147-0 ¥4,180〔税込〕

毎日新聞 2022/05/21



これから詩を読み、書くひとのための詩の教室

松下育男 著

思潮社

定年後、横浜と東京で小さくてあたたかな「詩の教室」を始めた。新型コロナが蔓延してからはネットでの通信教室に切り替えて、今も続けている。2017?20年に語られた講義の記録。

2022:4./ 429p 978-4-7837-3826-8 ¥3,520〔稅込〕



毎日新聞 2022/05/21



核兵器禁止条約は日本を守れるか~「新しい現実」への正念場~

佐野 利男/佐野 利男 著

信山社出版

核軍縮・軍備管理をめぐるこれまでの歩みを振り返りながら、核の廃絶と主権国家が抱えている安全保障上の要求との相剋について、外交官の視点から分析。今後取るべきアプローチについて見解を述べ、提言を行う。

2022:4./ 12p,191p 978-4-7972-8153-8 ¥2,200〔稅込〕



毎日新聞 2022/05/21



現代東南アジアにおける…ラーマーヤナ演劇〜インドネシア・カンボジア・シンガポール・タイ〜

福岡まどか/青山 亨/平松秀樹/梅田英春/サムアン・サム/竹村嘉晃/日向伸介/ 福岡正太 著

めこん

東南アジアに広く伝わり、独自の発展を遂げたインドの叙事詩ラーマーヤナの、多元的な意味と表象を考察する。多彩な表現を探究するオリジナルの創作作品も収録。動画が視聴できるQRコード付き。

毎日新聞 2022/05/21

2022:3./ 253p 978-4-8396-0330-4 ¥2,970〔稅込〕





左川ちか全集

島田龍/島田龍 編 左川ちか/左川ちか 著

書肆侃侃房

詩人・翻訳家として将来を嘱望されたが 24 歳で亡くなった左川ちか。萩原朔太郎や西 脇順三郎らに激賞された現代詩の先駆者のすべての詩・散文・書簡、翻訳を収録。編者 による年譜・解題・解説を付す。

2022:5./ 414p 978-4-86385-517-5 ¥3,080〔稅込〕

毎日新聞 2022/05/21



瞬間

ヴィスワヴァ・シンボルスカ、沼野 充義 著 未知谷

「未来」と言うとそれはもう過去になっている。「静けさ」と言うと静けさを壊してし まう。(「とてもふしぎな三つのことば」より) ノーベル文学賞受賞後初、最晩年の詩 集。全23篇に解題を添えて収録。

2022:4./ 111p 978-4-89642-659-5 ¥1,540〔稅込〕



毎日新聞 2022/05/21



何が記者を殺すのか~大阪発ドキュメンタリーの現場から~(集英社新書 1110)

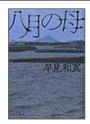
斉加 尚代 著

集英社

大阪の地で孤軍奮闘するテレビドキュメンタリストが、「毎日放送」が制作した4つの ドキュメンタリー番組の取材舞台裏を明かし、いま切迫して感じられる社会が抱える問 題と「ドキュメンタリーの可能性」について語る。

2022:4./ 302p 978-4-08-721210-5 ¥1,034〔稅込〕

毎日新聞 2022/05/21、朝日新聞 2022/05/28



八月の母

早見 和真著

KADOKAWA

街から出る機会が訪れるたびに立ち塞がる母。そしてエリカも予期せず娘を授かる。八 月。人間の内に秘められた負の感情が一気にむき出しになり...。連綿と続く、女たちの "鎖"の物語。『小説野性時代』連載を書籍化。

2022:4./ 428p 978-4-04-110907-6 ¥1,980〔稅込〕



毎日新聞 2022/05/28



エンドロール

潮谷 験 著

講談社

202X 年、若者の自殺が急増。早世したベストセラー作家・雨宮桜倉を姉に持つ雨宮葉 は、姉の遺作が自殺する若者を肯定していると受け止められているという思いから、自 殺を阻止しようとするが...。

978-4-06-526205-4 ¥1,870〔稅込〕

2022:3./ 275p



毎日新聞 2022/05/28



サン=テグジュペリの世界~<永遠の子ども>の生涯と思想~(講談社選書メチエ 760)

2022:3./ 394p 978-4-06-527133-9 ¥2,365〔税込〕

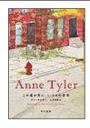


武藤 剛史 著

講談社

<目に見えないたいせつなこと>とは何か。文明の復興と人間の復活のために、子ども時代の世界のヴィジョンを練り上げた作家サン=テグジュペリの波乱の生涯をたどり、彼の苦悩に寄り添い深い思索の跡に光を当てる評伝。

毎日新聞 2022/05/28



この道の先に、いつもの赤毛

アン・タイラー 著

早川書房

ボルティモアの郊外で、コンピューターの便利屋をしながら独り暮らす **43** 歳のマイカ。ある日、マイカの息子だと名乗る青年が彼の元を訪れる。さらに、恋仲の女性には別れを告げられ…。不器用な中年男性のやり直しの物語。

2022:3./ 239p 978-4-15-210091-7 ¥3,190〔稅込〕

* 9 7 8 4 1 5 2 1 0 0 9 1 7 7

毎日新聞 2022/05/28



イニシエーション・ラブ(文春文庫)

乾 くるみ 著

文芸春秋

僕がマユに出会ったのは代打で出た合コンの席。やがて僕らは恋に落ちて.....。「必ず 2回読みたくなる」と評された驚愕のミステリー 2007:4./ 271p 978-4-16-773201-1 ¥693〔税込〕



毎日新聞 2022/05/28



うみとりくのからだのはなし(性とからだの絵本)

遠見才希子 著

童心社

双子のうみとりくはそっくりだけど、ぜんぜんちがう。おたがいの体を大切にすること、体をさわるときには「同意」が必要なこと、そして「プライベートパーツ」について、うみとりくといっしょに考えよう。

2022:3./ 32p 978-4-494-01866-6 ¥1,430〔稅込〕

毎日新聞 2022/05/28



あかちゃんがうまれるまで(性とからだの絵本)

遠見才希子 著

童心社

お母さんのおなかに赤ちゃんがきたんだって!でも、どうやって?「ぼく」の目を通して、生命が芽生え、育ち、誕生するまでの過程を伝えます。帝王切開や不妊治療なども紹介。

2022:3./ 40p 978-4-494-01867-3 ¥1,650〔税込〕

毎日新聞 2022/05/28



おとなになるっていうこと(性とからだの絵本)

遠見才希子 著

童心社

生理ってなんだろう? 男の子は泣いちゃだめ? 思春期に起こる心と体の変化や性の多様性を紹介。ちがいを認めあうことの大切さを、姉と弟のきょうだいの成長を通して伝える。

2022:3./ 40p 978-4-494-01868-0 ¥1,650〔稅込〕

毎日新聞 2022/05/28



ウクライナ戦争における中国の対ロシア戦略〜世界はどう変わるのか〜(PHP 新書 1306)

遠藤 誉 著

PHP研究所

習近平は一体どのような姿勢でプーチンに接し、プーチンが引き起こしたウクライナ戦争にどう対処しようとしていくのか。カオスな国際情勢を、中国を中心に読み解く。

2022:4./ 222p 978-4-569-85232-4 ¥1,078〔税込〕

毎日新聞 2022/05/28



世界少子化考~子供が増えれば幸せなのか~

毎日新聞取材班 著

毎日新聞出版

少子化が進む韓国と中国。支援の充実で少子化を防ぐヨーロッパ諸国。世界各地を取材 し、少子化社会の課題や、子どもを持つ意味、家族の幸せとは何かを考える。『毎日新 聞』掲載に書き下ろしを加え単行本化。 2022:4./ 285p 978-4-620-32738-9 ¥1,320〔稅込〕

* 9 7 8 4 6 2 0 3 2 7 3 8 9 *

毎日新聞 2022/05/28



日本人とエベレスト~植村直己から栗城史多まで~

山と溪谷社 編

山と渓谷社

「女だけで」という試み、無酸素登頂、バリエーションの成果、悪夢の大量遭難…。日本人による初登頂から 50 年、エベレストにまつわる出来事を俯瞰したノンフィクション。重廣恒夫、川村晴一らのインタビューも収録。

2022:2./ 446p 978-4-635-17210-3 ¥2,200〔稅込〕

* 9 7 8 4 6 3 5 1 7 2 1 0 3 *

毎日新聞 2022/05/28



少年時代~飛行機雲はるか~

塩野米松 著

理論社

小学 5 年の明夫は友人と「三銃士」を結成し互いの忠義を誓う。そんな矢先、川遊び場を巡って隣町との争いが起き…。昭和 30 年代、東北の町に住む少年たちが過ごしたかけがえのない 1 年を、春夏秋冬に分けて描く。

毎日新聞 2022/05/28

2022:3./ 413p 978-4-652-20480-1 ¥1,980〔稅込〕





ギリヤーク尼ケ崎という生き方~91歳の大道芸人~

後藤 豪 著

草思社

「投げ銭」に支えられて半世紀-。万策尽きて 38 歳で路上に立ってから今日まで、唯一無二の存在感で観衆を魅了しつづける「伝説の大道芸人」の不器用でひたむきな軌跡をたどる。

2022:3./ 237p 978-4-7942-2571-9 ¥1,980〔稅込〕

毎日新聞 2022/05/28



カルチャーセンター

松波太郎 著

書肆侃侃房

カルチャーセンターで共に過ごしたニシハラの未発表小説が収録され、作家や編集者たちからコメントが寄せられた。松波太郎の説明責任までもが生じる。文章と空白の連なり…これは小説なのかな? 『早稲田文学』掲載を書籍化。

2022:4./ 267p 978-4-86385-513-7 ¥1,870〔税込〕

* 9 7 8 4 8 6 3 8 5 5 1 3 7

毎日新聞 2022/05/28



生きつづける民家~保存と再生の建築史~(歴史文化ライブラリー 548)

中村 琢巳 著 吉川弘文館

庶民の住宅=民家は、いかにして今日まで受け継がれてきたのか。メンテナンスを繰り返し、部材がリサイクルされる民家の特性を解明し、間取りや構造、自然素材、伝統技術などからも、秘められた価値を見つめ直す。

2022:5./ 8p,243p 978-4-642-05948-0 ¥1,980〔稅込〕

毎日新聞 2022/05/28、産経新聞 2022/05/29